
三題嘶ざんまい

星野 零(Elwing)

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

三題斬ざんまい

【Zコード】

Z2622M

【作者名】

星野 雪（E1win）

【あらすじ】

三題斬スイッチといつページでもらえるお題で三題斬を書いて行くというものです。第90話までは、<http://soda.h-hp.info/seek.co.jp/sandai.htm>のページで貰えるお題で書いてましたけど、ある日、突然そのページが無くなってしまって、探しなおして、第91話以降はhttp://www.ktrmagician.com/cgi-bin/sandai_banashic.cgiからお題を貰っています。

私自身が貰つたお題以外にも、最初の数話は抹茶小豆さんがやつてたお題も載せて見ました。（やつぱり、一度見たお題は、自分で何かを作りたくて…）一日一題、と行けばいいですが、時として時間が開くかも知れません。各話200文字にしようと思います。つまり【ジャスト200文字の連作】です。そして、基本的にコメディ路線で行こうと思つてます。

それでも、時として、ふらりと甘いお話を作つてしまつています。結構「なんじゃこれは？」言いたくなるようなものも多いかも知れません、そんなお話にはビシビシ指摘を、そして、感想等いただけると大変幸せです。

よろしくお願ひいたします。

Wikiで仕入れた蘊蓄について追記しておきます。

三題漸（さんだいばなし。三題話、三題咄とも書くそうです）とは、落語の形態の一つで、寄席で演じる際に観客に適当な言葉・題目を出され、そうして出された題目を折り込んで即興で演じる落語のことだそうです。

元来、トリを取れるような真打ちだけがやつたもので、密席から3つ「お題」を出してもらい即席で演じたといつことです。さらには、出して貰う「題」にも決まりがあつて、「人の名前」「品物」「場所」の3つで、どれかを「サゲ（落ち）」に使うとこう決まりだつた様です。

（これは、ほぼWikiからの引用です）

煙突、唐辛子、男

江戸っ子つてのは、粹な生き物だ。

男の癖に甘いものが好きだなんて言つてたらなめられる。

ピリッと辛いものを好む男が尊敬されるつてもんだ。

だから、うどんでも蕎麦でも、必ず唐辛子をふりかけ、ズツとかっこむ。

そして、銭湯。

夕暮れ時、煙突から煙が立ち昇る頃、手ぬぐい片手に下駄を履いて風呂に行く。

もちろん、お湯は熱々だ。

お湯から出たら体重計に乗り、最後はコーヒー牛乳で決まりだ。

うーん。この甘さがたまんないよね。

煙突、唐辛子、男（後書き）

唐辛子をどう使うか、で悩みました。抹茶さんが既に、作られていて、その銭湯にちょっと引っ張られたかも知れません。うーん。

新聞、タブ、HIN

立派な国王を育てる為、今日も教育係は懸命に働いていた。
「どうぞ新聞をお読みください」

「どうして私が？」

「立派な国王になる為です」

「私は国王にはなりません」

「何を仰いますか！ その様なわがままは許されませんぞ」

「…」

教育係は一日中つきつきり。食事の時も一緒に。

「イカはお嫌いですか？」

「私はタコの方が好きです」

「国王は好き嫌いをしてはなりません」

「何度も言つたら判るのかな。 私は王女。 王子はとなりです」

アレ？

新聞、タ「」、HIN（後書き）

タ「」がちょっと強引かなあ？新聞もなんだか…。まあ、全体の調子としては、まあまあ、な気はしてるのですが、やはり、お題の絡みが弱い感じがしてます。

薪、太陽、結婚式

それは太陽が輝く夏の日だった。

晴れ渡る青空の下、ガーデンチャペルで私たちは結婚式を挙げた。
みんなの祝福を受け、私たちは幸せいっぱいだった。

その後の披露宴は、一風変わつていてキャンプファイヤーだった。
そのキャンプファイヤーは一晩中続いた。二次会も三次会もなかつた。

私たちは飲み、食べ、そして歌つて踊つた。

あくる朝、私たちの家は跡形もなかつた。

昨夜、薪だと思って燃やしたのは私たちの新居だった。

ガチヨーン

薪、太陽、結婚式（後書き）

えへへ。これは、以前、抹茶さんの活動報告に落書きしたものです。それを200文字になる様に調整しました。最後のガチャーンは文字数合わせの感じが…。

畑、種、神

神様の種つてのをジャパネットタカタで買つた。

これはいい物を手に入れた！ そう思い、もちろん畑にまいた。
そのまま順調に育てば楽だけど。
だが、自然の猛威はすさまじく、日照り、大雨、カラス…。散々な
目にあつた。

それでも、この種が芽を出せば、そして実を付ければ！
そう考え頑張つた。
とにかく一生懸命に世話をした。

そして、とうとう花が咲き、実が生つた。
だが、世の中つて思う様にはいかない。

実つたのは、貧乏神だつた。

畠、種、神（後書き） (書き)

これも、以前、抹茶さんの活動報告のコメントを汚したものの焼き直しです。神様の種にするか、畠にするか、で種にしました。畠は通販で買えないのです。^ ^ ;

鏡、鷹、男

今日はピーカンに晴れで絶好の狩日和だ。僕は鷹を狩に来ていた。

どうしてって、この間、彼女が言つてたんだ。

「鷹ってすごいよね！ 捕まえる様な男の人憧れちゃう！」

判りやすくていいでしょ？

でも、どうやつて捕まえるかって？

この鏡で太陽光を「ピカッ」と反射させて目潰しをすれば鷹が落ちる。

どう？簡単でしょ？

ほら、言つてる傍から鷹が飛んできた。見ててね？

ピカッ

ちょっとずれたかな？

おかしいな。 飛行機が落ちちゃった。

鏡、鷹、男（後書き）

鏡の使いみちに悩みました。後は『男』の使い方も…。『おとこ』つて読ませるのには『漢』つてのもありますよね。そっちだつたら別の使い方かなあ。あ、どっちかつていうと、第一話の江戸っ子は『漢』ですかねえ？ちょっと甘党だつたけどね。

弁当、日向、魔法

今、私の田の前に弁当が置かれていた。食べたい…。
とても、とてもお腹が空いていたから。
けど、怪しい。

毒入りの可能性が高い。だが、魔法遣いの私は簡単には罠にはまらない。

私は魔法を使って、丹念にその弁当を調べた。
すぐに食べたいのを我慢して、十分に調べた。

結果、毒が仕掛けられている可能性は無いと判断した。
「いただきまーす！」

三十分後、私は食中毒で緊急入院した。

夏の日向に何時間もさうされた弁当は腐っていた。

弁当、日向、魔法（後書き）

このお題からは、私が『三題斬スイッチ』から直接もらったお題になります。魔法の使い方がどうでもいい使い方になってるかなあ？まあ、何とか！

眼鏡、アリ、肉

僕はオタクだ。

オタクって言つと、眼鏡をかけ、太ってるイメージがある様だ。
けど、僕の視力は1・5だし、あまり肉を食べないせいか痩せ氣味
だ。

そのせいか、僕が自分の事を『オタク』だと自己紹介すると、みんな驚く。

で、何のオタクか?って言つと、その時によるけど、今はアリだ。
アリって言つのは実際に面白い生き物だ。

まず、土の中に住んでいる。

そして鋭い爪で穴を掘り進む。
主にミミズを食べる。

え? それはモグラ? うそ…。

眼鏡、アリ、肉（後書き）

アリと肉が中々繋がらせませんでした。今でも、その二つが繋がってる訳じゃないんですけど、それでも、お話としては何とかつながったかな。オタクが登場するまでは、お題が絡まず、その後も、オチが中々出てきませんでした。ちょっと強引かな?とは思いますが、よろしくお願ひします。

合図、島、心臓

この島の秘密は、国際救助隊の秘密基地つて事だ。隊員は世界各地からの合図で救助に出掛けしていく。

そして、救助した人達を連れ帰ってきて、島の病院に収容する。小児科から癌治療まで、先進の病院だ。心臓移植だって出来る。

だが、秘密の島では保険がきかない。

「お密さん。この薬いくらだと思つてるの？」
「で、でも、頂かないと死んでしまいます」
「そうだね。じゃ、ここにサインしてね」
「オー……」

救助隊の経営はとても順調だ。

合図、島、心臓（後書き）

国際救助隊。サンダーバーズ、アーゴーちゃんちゃんやらしゃーん
懐かしいです。南の島に住む大富豪が、様々なピンチに駆けつける
正義のヒーロー集団。カッコよかつたなあ……。これは、そのサンダ
ーバードとは関係はありません。何となく、国際救助隊って名前は
使っちゃいましたけど……。うーん、これから医療、どうなるのか
なあ……。

弁当、喋る鳥、呪文

弁当を食べてこないと、鳥が寄つて來た。

「なんだ、腹でも減つてゐるのか？」

そう思い、卵焼きを投げてやつた。鳥はニテニテと近付いてついばむと

「ペペペ 超甘いじゃないか！」

そう言つた。

鳥のくせに贅沢な。 そう思つた。

けど…あれ？あの鳥しゃべつた？

パツと手を伸ばして鳥を捕まえる。

「離せよ～」

そつ言いながら、羽や足で僕の手を叩く。まだ喋つてゐる。

「今夜は鶏肉だ！」

「え… せめてサークスに売つてよ」

やつぱり贅沢だ。

弁当、喋る鳥、呑く（後書き）

喋る鳥、生意氣ですねえ。でも、やっぱり卵焼きは、葱入りがおい
しいですよね？まあ、たまには砂糖入りの、あまいのもいいけど
…。さて、この後の喋る鳥の運命はどうなったんでしょうね？ 意
外と、この男の人と一緒に住んで、卵焼きの焼き方に文句をつける、
そんな生活になつたんじゃないかな？なんて『想像』しています。

工場、刺、小さな

私は下町の工場に勤めている。

どいつも言ひ事の無い、ごく普通の町工場だと思つた。

けど、最近まで知らなかつたのだが、ここで作つてゐる小さな部品
はすゞいらしい。

その事を知つたのは、テレビがこの工場の事を特集したからだつた。
その放送以来、社長はいつも二口二口している。今にも浮かび上が
りそうだ。

「風船みたい」密かにそう思つた。

パンツ

と音がして振り向くと、社長が居なかつた。

ふと見ると、社長の机に刺が生えていた。

工場、刺、小さな（後書き）

パンツと破裂するのは、工場の方が良かつたかなあ？最初はそんな話にしようと思つたんですけど、小さな、の使いどころに困つて、日本の下町の工場つて結構すごい製品を作つてるんだよ～ってテレビを（何かで見た気がします）思い出して、それだ～。つでしたら、破裂するのは得意満面の社長になつてしまひました。

本、煙、脂肪

一生懸命に火熾しを続けた甲斐があり、煙に続いて、小さな火が熾つた。

その火を使って、僕たちは料理を始めた。

ウサギの肉から脂肪がしたたり、ジュウジュウと音を立てた。自然とお腹がなつた。

以前は、僕の生活とは暖かな部屋で本を読むことだった。こんな生活を始めるとは、夢にも思わなかつた。

けど、後悔はしていない。

生きる実感を味わつてている。

となりでは逞しくも可愛い妻がもりもりと食べている。

僕は自然と笑顔になつた。

本、煙、脂肪（後書き）

うーん。これは、書き始めてすぐに、コメティにするのを諦めてしましました。イメージは森薫先生の『乙嫁語り』に引っ張られていると思ってます。『逞しくも可愛い妻』はもちろんアミルのイメージ。『僕』はスミスさんが2／3で、残りがやはりカルルクですね。以前は想像すらしていなかつた生活。生きていく事 자체が大変な事。ある意味、死は日常に隣り合わせ。そんな生活の中できらめく命と想いを鮮明に感じる。ってイメージかな？

家畜小屋、木のつる、馬飼

僕は馬飼だ。

お世話しているのは、お姫様の馬だ。ほら、あの立派な栗毛の馬がそうだ。

お姫様がお出かけの時は、僕が馬を引いて歩く。

でも、実はそれだけじゃない。

僕とお姫様はお互いに好きあつてるんだ。

時として、この木のつるに手紙を潜ませて、想いを伝えあつてるんだ。

実は、これからお姫様がやつてくる事になつてる。

「あ、姫様！」

こんな家畜小屋でも、とてもきれいだ。

けど、お姫様の言葉は…

「ああ！ 私のハイセイコーー！」

家畜小屋、木のつる、馬飼（後書き）

このお題は、馬飼って何？？つて処から始まりました。まあ、結局は字のまんま、馬の世話をする人、という事らしいですが…。お嬢様と、召使の恋！許されない恋に燃え上がる一人の心！「お嬢様！愛しています！」「私もよ、ハイセイコー！！」あれ？ナンチャッテ。

鍋、谷、天上界

僕たちのサークルの新人歓迎会は、泊まり込みでの闇鍋大会だ。当然、味は最低だ。いや、味以前に本当に食べ物なのか？ 食べても大丈夫なんだろうか？

今年も、鍋はほとんど手付かずで残った。

例年同様、残った鍋を近くの谷に捨てに行つた。

どういう訳か、そこには神様たちが待ち構えていた。
彼らは争う様に、鍋をあつという間に食べてしまふと、少し不満そうに

「今年は意外と平凡だったね」

天上界の美食家たちはかなりの悪食だった。

鍋、谷、天上界（後書き）

鍋、と言えば闇鍋かな?と考えると、谷は残り物を捨てに行く、で簡単に繋がるかな、と思いました。けど、天上界つてどうしよう?時として、至高の天上の味になる事がある、つて事にしようかなあ?とも思いましたけど、それでは落ちにつながらないので…。まあ、ゲテモノ好きがいる、という事で…。

置物、暗闇、殴る

暗闇には何かがいる。

それが何かは分からない。 けど絶対に何かがいる。

それは、幼い頃からの確信だった。

その、正体の分からない何か、が怖かった。

睨み付ける。怒鳴りつける。もしくは殴る。

そんな事は無駄だと判ってる。

だから、置物のように固まって、じっとしているしかない。

そうして、やり過ごすしかなかつた。

けど、もうやり過ぎじゃない。

そばにいる。

近づいてくる気配が分かる。

僕は動けない。

「ねえ、あなた…」

ほらいた

置物、暗闇、殴る（後書き）

これも、どうしたらいいのかさっぱり判らずに、ただとにかく、暗闇に何かがいるんだ。それを殴るんだ。と思いながら書き始めました。けど、いつの間にか暗闇にいるものを殴るのは止めになり、あれ？なんでこんな落胆に？ブラックのつもりがピンク？あれれ？？

城、音、語る

聞きなれない音に振り返った瞬間、信じられないものを見た。音の正体は、城が歩く音だった。

城が歩いていた。

そして、どうやら僕を追いかけてくる。

僕は一目散に逃げ始めた。

走りながら必死に考えた。 僕は何かしただろうか？

自分で語るのも何だが、そんな覚えはなかった。

けど、みんなが指差していた。
追いかけてくる城と、僕も。

歩く城だけじゃなく、僕もそんなに珍しいのか？

え？ 僕が誰かつて？

僕は金の鯱だけど、何か問題でも？

城、音、語る（後書き）

えー、歩く城、イメージとしてはハウルですね。少なくとも最初は…。『語る』が弱いかなあ、とは思いましたが、他も思いつかず、仕方が無いって感じです。あと、追いかけられる僕、どうして追いかけられるんだろう？それは、最初は考へませんでした。そして、結局、僕は金の鯱、つて事に。だから、お城は名古屋城！ ひゃー大変。

砂糖、洪水、盗む

私は、じつと師匠の手元を見つめていた。
じつじつて、もちろん、師匠の技を盗むため。
この世界では、師匠は手取り、足取りは教えてくれない。
ただ、田の前でやってみせるだけ。

初めは、一生懸命に覚えたはずの事も、いざ自分でやるといふと
その記憶は洪水にあつたかの様に消え去り、何も出来なかつた。
なるほど、砂糖を入れるタイミングは今なのね。

と云ひ事は、上から三段田のあれが砂糖だ。

つまり、あれがサトウと読むのね

砂糖、洪水、盗む（後書き）

うーん。洪水が微妙な感じ……。一生懸命に師匠の技を受け継いでいた、
がんばる弟子。一生懸命に師匠の手元を見て、その技を……。でも、
この弟子が見ていたのは手元だけじゃなかつた。
脳みそが洪水になるこの弟子は、調味料のラベルが読めないのでし
た！ナンチャツテ……。

港、モグラ、料理人

今日、この国の港には料理人が大勢到着した。なぜか?と言えば、この国で料理コンテストが開催されるのだ。しかも、優勝すると国王より褒美がもらえる。

そんな料理人の中の一人が俺だ。

俺の作る料理は調理方法は普通だが、食材がちょっと違う。食材はモグラだ。

まず俺は最高のモグラを捕まえる事に専念した。

そしてコンテスト当日。

俺が作った、最高のモグラの丸焼きを見て、皆が息を呑んだ。

「王様!」

国王はモグラだったらしい。

港、モグラ、料理人（後書き）

さあ、国王を料理してしまった彼はどうなったんでしょうねえ。それでも、彼は国王を一体どこで捕まえたのやら…。判らないことだけですが、まあ、ファンタジーって事で！ファンタジーなモグラの丸焼き！（うひ、超意味不明）

盆、雨、叫ぶ

静まり返った部屋の中、男たちが集まっていた。

「時間だ」

リーダーらしき男の言葉に、全員が一斉に立ち上がり、気合を入れ始めた。

「行くぞ！」

「やるぞ！」

「おー！」

男たちが口々に叫ぶ。

盆が配られ、男たちはそれを一気にあおると、そのまま床に吊きつけた。

かなりの覚悟が必要らしい。

男たちは雄叫びを上げ、雨の中をバシャバシャと走り出していった。

一人だけ残つた男がぽつり、と言つた。

「靴下、濡れると気持ち悪いんだよな」

氷、霜、雪ふ（後書き）

雨をどうじよつかな、と函んで、函の中で叫ぶかなあ？とも思いましたけど、それも何だかありきたりだなあ、と嫌いました。そして、盆と叫ぶを使つた後、この後はどうなるんだうつ？なんて思いながら書いてこむ内にふと思つた事が『濡れた靴下って気持ち悪いよね』でした。

オルガン、蜂、魚屋

僕は魚屋だ。それはずっと変わらない。

向いの楽器屋では、幼馴染がオルガンの先生をしている。

たまたま家が近く、同じ年だった事もあるだろう。

近所の公園や、ちょっと遠くの花畠。

よく一人で走り回った。

蜂に追われた事もあつたけど、楽しかった。

魚の捌き方は知ってるが、音楽つてのはてんで分からぬ。
けど、彼女のオルガンは好きだ。

これまで楽器屋まで聞きに行つた。

けど今度、僕たちの部屋にオルガンを置く事にしたんだ。

オルガン、蜂、魚屋（後書き）

これは「コメディになるかなあ？」と思いながら書き始めたら、やつぱりコメディにはなりませんでした。幼馴染の一人は、お互いの目指すものは違うけれど、それでも、お互いを応援することが出来る。そして二人でいると嬉しい。だから、これからも一緒にいる事に決めた。ちょっと蜂が強引だったかなあ？まあ、ほのぼの、という事で～。

ストーブ、光、夢

私には夢があつた。

それはささやかな夢、暖かな家庭がほしい。

灯油の切れたストーブは、火が消えていた。

ほのかに光が差込んでいるけど、部屋は寒かつた。

ちらりと、となりの、まるで熊の様な何かを見る。

「はあ」

私はため息をつくと炬燵から這いだし、ストーブからタンクを取り出した。

その時

「貸しな」

突然、熊はそう言つと、タンクを片手に、ゆっくりと外に出て行つた。

一瞬触れた手の温もりに、私は夢が叶つている事を思つた。

ストーブ、光、夢（後書き）

これ、コメティに出来るかなあ、難しいなあ、なんて思いながら書いたら、やっぱりコメティになりませんでした…。冬のコタツは中々出たくないですよねえ、何か用事があつても、出来るだけコタツから出たくない、そんな時に、その嫌な用事を代わってくれる、とっても些細な事ですけど、でも、嬉しいなって。

ストーブ、光、夢 - その二

私の夢は、暖かな家庭だった。

さつき、ストーブの灯油が切れてるのに気が付いた時、私が灯油を補給しようとした。

けど、夫はそんな私に気が付き、寒い外まで行つてくれた。

その時、夫は照れくさそうだったけど、私には光輝いて見えた。

夫は私を大事にしてくれる。

そんな優しさを感じ、私の夢は叶つている事を実感していた。

けど…。

今、私には新たな夢がある。

次のボーナスでは、ストーブがほしい。

私たちのストーブは壊れていた。

ストーブ、光、夢 - その一（後書き）

ほのぼのが一連続になつたまま、といつのも…、と思つて、強引にもう一つ作りました。（まあ、別に構わないっていえば、そんなんですけど、一応、コメディ主体にしようと考えているので、なんとかその方向に！）で、登場キャラ、状況はそのまま、その直後を取り上げてみました。ちょっとキレがイマイチかなあ…。

道、灰、偽もの

交差点には出会いがある。
道と道との交わりは、出会いもあり、数多くのロマンスも生まれた。
はずだ。

だが、僕が出会ったのはロマンスとは程遠かった。
神様を名乗る老人と口論になつた。

「わしは本物じゃ！」
「証拠は？」

「偽ものを、灰に変える力を『えよう』

その力は確かに本物だった。

多くのものが触れた瞬間に灰になつた。

「最近、偽ものが多いのぉ…。嘆かわしい事じゃ」

そう言う老人と握手した瞬間、彼も灰になってしまった。

道、灰、偽もの（後書き）

これも、どうしよう…。そう思いながら、とりあえず、交差点でぶつかる処からお話が始まる、それだけ考えて書き始めました。なんとか形にはなったかと思いますが…。でも『偽もの』っていうのは何でしょうねえ？そして『本物』っていうのも…。まあ神様の偽ものは多そうですね。

戸、鯨、息子

チャイムの音に玄関の戸を開けると、田の前に不思議な生き物がいた。

大きな身体で、全体に濡れた感じの皮膚で、手足は無くひれがついていた。

それは鯨だった。

「え？」

潮を吹く鯨を見ながら思った。

どうして鯨が？

けど、その鯨が壱つの

「先日、息子さんにお世話をなりました、その、」恩返しがいきました

「それはそれは……では、」

そう言い、その鯨を案内する。

「では、まずは、全身にこの塩をつけて頂けますか？」

戸、鯨、息子（後書き）

ええと、注文の多い料理店ですね…。鯨、昔は普通に食べてたけど、最近は少ないです。鯨に乗って息子を捜しに行こうかな、とも思つたんですけど、戸の使いみちが思いつかず、かなり苦し紛れになつてしましました…。

弁当、砂漠、料理人

私は食にうるさい。

家にいる時はもちろん、出掛けっていても、たとえ旅をしている時でも。

今は砂漠を旅している所だ。

それでも、食事の為に十分な食材を持ち、料理人も連れている。

「そろそろ昼食ね」

料理人たちがせつせつと料理を作り、やがてテーブルに料理が並べられる。

ナフキンの包裝をほじき、小粋な金属ケースの蓋を開ける。

「白身魚のフライに、トッピングはおかかと海苔でござります」

今日のメニューは私の好物、海苔弁当だ。

弁当、砂漠、料理人（後書き）

弁当は三回目だし、料理人も二回目だなあ……。ちょっとお題が被るなあ……。でも、お話自体は比較的自然にまとまつたかな？なんて思つてます。まあ「結局弁当かよ！」って事で……。でも、お弁当つて、冷めてるところがまたよかつたりしません？作りたてのお弁当つて、ちょっとイメージがちがうつかない？なんてね。

影、怒る、缶

昔からゆずれない事がある。それはサケ缶の骨だ。

煮とろけた骨が口の中でボロッと崩れる食感がたまらない。

骨を食べられないと、ものすこに勢いで怒るので、その骨は私のものだった。

夫とも、この骨を巡つては喧嘩をした。
バカみたって言つかも知れないけど、食べ物の恨みはオソロシイのだ。

今、夫とは協定を結び、骨は半分ずつ分け合つていた。

が、小さな影がせまり、骨が掠め取られた…。

最強の敵、それは私たちの息子だった。

影、怒る、缶（後書き）

みなさん、サケ缶の骨つて好きじゃないですか？ でも、やっぱり争いになります。ボロッと崩れる瞬間の食感がいいですね？ ぐしゃぐしゃと身を崩して、先に骨だけ食べちゃうのは反則！ ちゃんと回つも食べて、そして出でた骨を「パク」とするのがサイコ。

うーん。あああ、サケ缶、欲しくなつてました…。

胡麻、肉、杓文字

今日は早起きをした。
杓文字でぼくぼくの「」飯をとりだし、一つ、また一つ、とおにぎりを作った。

人気の鮭ワカメ、外せない梅干、そして、押さえの胡麻塩。
おかげは定番は卵焼き、がつつい食べる子供向けには肉だ。
鶏肉の唐揚を山ほど。

最後は、出来上がったバスケットを布巾で包み完成だ。

その頃になつて、やつと皆起きてくる。
私の苦労も知らないで、いい気なもんね。

けど、開口一番、息子は言つた。

「あれ？ 運動会は来週だけど？」

胡麻、肉、杓文字（後書き）

食べ物ネタが続きます。運動会のお弁当と言えば、おにぎりですよ
ね！そして、しなつとなつた海苔がまたまらない。うーんイイ！
そして、おかげの定番は唐揚ですよね！ハイハイハイ、そこ、反論
は聞きません！ほーほほほ！（狂った？）
いや、でも、やっぱり海苔弁も捨てがたいかなあ？？

じつめいじ、汗、風呂敷

僕は畠の真ん中で、とうもろこしを刈っていた。

汗が噴出したけど、一生懸命に仕事するのは気持ち良かつた。

やがて、僕が持ってきた風呂敷は一杯になり、僕は風呂敷を抱き、歩きだした。

慎重に歩き、畠から道に出る。田の前に僕のバイクがあった。そのままバイクに跨りエンジンをかけた。

その時、田の前に男が現れたが、一気に加速し男を振り切った。

背後で男が叫んでいた。

「どうぼー！」

仕事は、最後まで気を抜いてはいけない。

ハサウエイ、汗、風呂敷（後書き）

あはは、これ、最初は泥棒の話じゃないつもりだったんだけどなあ…。けど、どう落とそうか、そう思つて書いてるうちに、風呂敷でとうもろこしを包むなんて、きっと泥棒！なんて思いついて、そういう事にしました。いやー、人の畑でとうもろこしを盗みながらいひ汗搔くなんて、心臓に毛が生えてますね！

姫、肖像

弟が訳の分からぬ事を言い出した。

「ねー、肖像写真、撮らせてよ」

肖像なごと、もつと一々口ひき、などと変な事を言ひ。お姫様なんだから、へラへラ笑つてたらバカみたいじゃない。

何か企んでるに違いない。

ひとつそり弟を尾行したら、姫の奥に入つていった。

そこでは、隣国の王子達が集まつて、いそこの話を合つていた。

「うわ、おまえの妹かわいいな
「水着の写真ないのかよ」

エロガキどもが天誅を受けたのは言ひまでもない。

姫、肖像（後書き）

最初、ラストは「このH口親父！」って台詞のつもりだったんですけど…。だとすると、そんな事をするのは王様で、とすると、お姫様の写真を、つまり自分の娘の写真をそんな風な場所に持ち出すかなあ？なんて考えてしまって、王様は王子様になりました。まあ、姉と弟ならありかなあ、なんて…。

ちょっとスムーズさに欠けたかなあ、まあ、でも、こんなもんでしょうか…。

霞、王子、夜店

この街では、今週末に七夕祭りが行われる。

夜店はたくさん出るだろうし、パレードもあるはず。

最後に行つたのはいつだらう? もしかしたら、中学生以来?
そんな霞の向こうの様な、遙かな昔だったろうか?
でも覚えてる。

あの日、悪戯仲間だつたあいつと私は、飾りに悪戯しそぎて怒られた。
でも楽しかった。

あの日の出来事は偶然だった。
でも、今日は待ち合わせてる。
私の王子様になってしまったあいつと。
だから、今日も楽しいはず。

電、王子、夜店（後書き）

ちょっと半端なお話になってしまったかなあ、コメディにはならなくて、幼馴染は悪戯仲間だった。その昔、七夕祭りで偶然に出会つて、勢いで悪戯した。あの時は本当にただの悪戯仲間、悪友だったけど、久しぶりに出会つたあいつは男だった。そして、私は女なんだ。そう気が付いてしまった。

そんな一人がちょっととした共通の思い出のイベント、地元の七夕祭りに行く。そんなお話です。つて説明しないとわからないですよねえ…。うーん。まだまだです…。

落果、漸家、靴

漸家になりたい。一生懸命に練習するけど、中々上達しない。

「おめえ、このままだと落果するだ」

落果。それは元々は成熟前の果物が樹から落ちてしまう事だ。けど、ここでは別の意味で、デビューする前に部屋から出されてしまう事だ。

今、私はその危機にある。

ガラスの靴なんかない。だから、自分の力で頑張らなきや。

「よー、ねさん!」

「何がねさんだ! がつぶり四つに組め!」

四つに? ?

「ここ、漸家養成講座じゃ?」

「それは隣だ!」

落果、嘶家、靴（後書き）

えー、嘶家になりたくて、地方から出てきた。そして、入門して必死に修行するけれど、何だかうまく行かない。それでも、頑張ろう。そう決意したけれど…。入門したのは嘶家の師匠ではなく、相撲部屋の親方だった…。うーん。訳判らないですねえ…。

油菜、金持ち、計算機

計算機つていうのは実際にトリケートだ。

ちゅうとおかしなソフトを入れると、途端に動きがおかしくなる。

そうなつてしまつと、金持ちなら専門家に頼んで修理できるだらうけど。

俺には油菜の様にだらだらと油汗を垂れ流して見ていろしかできない。

あ、また動きがおかしくなつた。

どうして？ あー！ もう訳わかんない！ 勘弁して！

やめた！ 俺、もう計算機なんて知らない！

あら、ダメでしょゲーツくん。

早くウインドウズのバグを取つてね？

油菜、金持ち、計算機（後書き）

あはは。ウインドウズ、まあ、大体動いてるから良いんですけど。
でも、何だか時々おかしいよねえ？子供が色々なソフトをインターネット
からダウンロードしてインストールしちゃうから、訳わから
なくなつた事もあつたけど‥。さあ、ゲーツくん、なんとかしてー
！

夏、夢、網

夏が来て、先輩と海水浴に来た。
砂浜を歩いてくと、砂の上に網が広げてあった。

その網目は結構大きくて、細身の人なら通り抜けそうだった。
お約束だから…、そう思いながら、先輩に言った。

「こんな大きな網、先輩だと引っ掛かる様な凸凹がないですね」
「そ、そんなことないもんつ 相変わらず、尊敬の念がたりない
！」

尊敬の念はあつたし、他の想いもあつた。

それに、夢だつて。

先輩と二人きりで海に来る、それも大きな夢だつた。

はい。困った時の文学少女だのみです……。そして、あの一人の鉄板ネタです。やっぱり、キャラが定まると、展開が楽です。ちゃちゃっと書いて、字数調整すれば出来上がるから……。自分のキャラとして、そういうコンビを作つとかないといけないなあ……。
それにもしても、これ、文学少女を読んでないと、分からぬ？まあ、理解は出来るかもしだれだけど、それが単にあの一人にとってはじやれる為のネタにすぎない、ってそこが重要なだけなあ……。
あはは、ぐちぐち書きました。要は、三題嘶、むずかしー。整いません～。散らかりつぱなし～。って感じです。（あ、何だか、後書きの方が字数が多いですね）

氷、軍人、はたき

私はこの基地の司令官だ。

最近は経費節減で、清掃業者もまともに雇えないから、基地司令の
今まで掃除だ。

どんな事でも、命令とあれば実行する。

それが軍人だ。

だから、掃除が命令ならば、掃除を間違いなく行うのが、私の使命
だ。

と言つてもねえ、あー疲れた。はい、後はあんたやつて。
はい、これがはたき。

私はアイスティー持つてきて！ 氷をたっぷりね。

なにつつたつてんの？ はやく！
つて、あんた見ない顔だね、誰？

え？ 司令長官？

氷、軍人、はたき（後書き）

掃除だって、立派な仕事ですよね！ 自分の机くらい、自分で掃除してね！ なんちゃって。それにしても、最近、はたき、使わないですねえ。家ではウェーブですね。シュシューってね。

えーと、自衛隊で一番偉い人は？ 幕僚長？ 総理大臣が最終的に命令するんだったかな？ でも、テンポとして、そのどっちも合わないなあ、と思って、司令長官つて言葉を持ってきました。…。
あはは、テキトー。

沃地、盗む、南瓜

この辺は、あの川が作る大きな沃地になつてて、色々な野菜が採れる。

有名なのは、スイカ、レンコン、南瓜だ。

それだけに、警備を強化しないと盗まれてしまふ事がある。

今日も見回りだ。怪しいやつがいるのか、よそ者がいるのか。

ああ、もう最高気温38度とか言つてゐるのに。
やつてらんない。

ヤメヤメ、泥棒だつて休業だよ。

さあ、スイカでも食べよつ。

え？ どこかつて？

誰かが川で冷やしてゐのを、ちょいと盗むんだ。

んー、んまい！

沃地、盗む、南瓜（後書き）

書き始めはどうしようか分からなくて、ただ肥沃な土地で、野菜泥棒が出るから、警備しなきやつて話を書いていたんですけど、もー、最近、暑くて、暑くて…。急にスイカが食べたくなりました。で、まあ、コメディとしては、の一捻りかな?というオチのつもりです。

木の実、黄泉の国、幻燈

今年は、あの人の一回忌。法事にはみんなが集まってくれた。

「まだつらいだろ？」

みんなが私を慰め、励ましてくれる。

けど、実は私はそれどころじゃない。すぐいものを手に入れたから。

なんと、黄泉の国と会話できる幻燈だ。

今日も栎の実、銀杏、色々な木の実を用意した。
どれも、あの人気が大好きだったものだ。

「よー、ばあさん。元氣かい」

「ん？ 何だ、栎の実か。わしはマスクメロンがいいのお

うーん、すっかり贅沢になってる。

木の実、黄泉の国、幻燈（後書き）

幻燈つてなんだっけ…。つてぐぐつたら、Wikipediaでは北冬書房の発行する不定期の漫画評論雑誌…、なんてのや、あとはその名前を一部に使ったHPばかりが引っ掛かつて、あれ?と思つてしましました。それで、うーん。でも、幻を移す機械に違いない!と決め付けて、じゃあ、あの世の様子がわかる機械という事にしよう!としました。木の実、使い道にすごく困りました。リストじゃないんだから…。なんて思いながら、なんとか…。です。

雷、見えない、文字

雷の光に、文字の様なものが浮かぶ。

ミリィズが這つた様なこの筆跡は、あいつに間違いない。
が、問題は「来て」以外は全く読めない事だ。
こんな天氣だが、行くしかない。

到着すると、田の前にあいつがいた。

「來た！」

笑顔で叫び、さらに言葉を続けた。

「じゃ、お願
い」

何を？　話が見えない。

「えー、書いたでしょ？『プロポーズして欲しいから来て』って

頭を抱えたが、やつと叫んだ。

「結婚してくれ。　だが、字は丁寧に書いてくれ」

雷、見えない、文字（後書き）

この彼女、この大胆さは一体何なんでしょうね？ プロポーズしに来い、だなんて…。そして、そんな突然の事にも動じないで、はつきりとプロポーズしてしまう、この彼つて…？ んー。自分で書いていて、意味不明です。でも、きっとお互いに大好きなんですよ。

それにしても、字はきれいに書きましょうねえ、私も他人の事はいえませんが…。

秋風、下男、天井

最近、秋風が堪える様になつてきた。

体が弱つてきたのだろうか？ それとも、もつ冬^{モツトキ}が近いのだろうか？

下男を呼んで、修理をせるべきだろうか？

いや、気のせいだ。そもそも、この家は隙間風などが吹き込むよう

なボロじゃない。

なんと言つても、私が自ら設計し、建築の指揮もとつたのだから。

壁と柱の間、ドアや窓の縫隙^{ミヅキ}、隙間など無い。

隙間風などとんでもない。

ふと、天井を見上げる。

藁葺きの隙間から見える太陽がまぶしかつた。

秋風、下男、天井（後書き）

いやー、意外なところに直点が！でも、本当のわらぶきの屋根では、雨も通らないし、こんな風に太陽が見えたりはしないはずですが…。それに、換気ていつの空気の通りはあるでしょうけど、隙間風、というレベルの事はないでしょうけどねえ…。でも、落ちがちょっとわかりにくいかなあ…。

秋、看護師、蓮根

秋の頃は月見。そして続いて冬はクリスマスやお正月。
憂鬱な季節だ。

え？ どうして？

私は看護師だ。それも救急病院の。

おせち料理を何度も病院で食べた事か…。
病院でぽりぽり食べるおせちの蓮根。 わびしいよ？
いや、蓮根は好きだけどね？

みんなしてお正月気分で酔っ払って、はい、救急病院。
あー、もー。勘弁して欲しいよね？

ね！ そこがあんたも、そう思つでしょ？
ほら、ほらー。ご一緒に！

まったく、素面でなんかやつてらんないよ！

あはは。酔っ払いの看護師です。一応、酔っ払つてるのは非番の時
だつて事で。そして、それはもちろん、病院じゃなくて、近くの居
酒屋とかです。そして、ぐだぐだ文句を言つてます。文句たらたら
です。まあ、でも、それでも、彼は病院を逃げ出さない。つて事で！

沢、大臣、桶

今日、久しぶりに故郷の沢を訪れた。

昔はこの沢でよく遊んだ。

桶に果物を入れてきて、この沢で冷やし、食べた。

今、この下流にダムを作る計画が進行中で、完成すれば、この沢はダム湖に沈む。

私はその計画を担当する大臣だ。

その時、子供が何人か沢に降りてきた。

今でもここは子供の遊び場なんだな……。知らなかつた……。

だから計画は中止、は単純だ。

だが、きちんと一から考え直してみよう。
沢で遊ぶ子供達を見ながら、そう考えた。

沢、大臣、桶（後書き）

何でか、こんな話になつてしましました。うーん。ダム、本当に必要なら作るべき。でも、じつは最初に計画を立てた時から状況が変わつてゐるのに計画だけはそのまま、何て事もあるんですね。きちんと見直して、そしてやはり必要だ、っていうなら、きちんと作りますよ。いらないなら、きっと止めましょう。うーん。今日は何だかエラソーです。えっへん。

夏、母、消しゴム

何かが足りない。

そして、どうも母の態度がおかしい。何かを隠している。

「ねえ」

「な、なんだい??」

ほら。ちょっと声をかけただけで、すぐへこつたえてる。
絶対に何かをしでかしてる。

「なにを隠してるの?」

と、うろたえた母が何かを落とした。 とっせに拾つ。

「消しゴム?」

「「めん!」

「つっかり、カレンダーに消しゴムかけたら、夏が消えちゃったの

!」

それで、春の次が秋だつたんだ! これだから魔法遣いは始末に出来ない。

夏、母、消しゴム（後書き）

夏を普通に使えば、もつちよつと簡単だつたかなあ、とは思いましたけど。でも、そのまま使いつと何だか楽な感じがして、捻ろう。そう決めました。何とか一捻りの使い方かなあ、とは思いますが、でも、妙なお話で、お話としてのまとまりがイマイチかも知れません。それについても、はた迷惑な魔法使いです。とはいえ、うーん。まだまだです。

俺は心底困っていた。

「だから…やめろ！ やめてくれ！」

「だーって、あなたと一緒に海に行くのが夢だったのよ？」

彼女がそんな事を言しながら、俺のほうに向かってウインクする。
カワイイ。

おっといかんいかん。 惑わされりゃいけない。

「ほひー、ほひー」

ここぞとばかり、彼女が迫ってくる。

俺は鼻血が出そつになり、慌てて逃げ出す。

必死に欲望と戦う。

これは洒落にならない。

このままでは、紐パンツのジンジャーに凶殺されてしまつー。

海、幽霊、紐（後書き）

紐、使い方に困りました。で、苦し紛れの使い方に…。一緒に海に行くのが夢だった、そんな事言つなんて、幽霊の癖にちょっと可愛いですね。でも、彼の方は、この幽霊の事をどう思つてるんでしょう？あまり本気で嫌がってる訳じやない感じだし、幽霊の彼女も、その口ぶりからは元は恋人なのかなあ？何ともしますけど…。深く考えると訳が判らなくなるので止めておきます。（なんて、自分のキャラなのになえ？）

火事、見習い、紋

私たちは見習いの精靈だ。
きちんと修行して、試練をくぐり抜けば、晴れて一人前になれる。
神様の許、私たちは一生懸命に修行した。

今日、無事に修行を終え、私たちは神様から精靈の紋をもらえた。

「おまえは水の精靈だ。 水を司り、世界を潤すように」
「きみは火の精靈だ。 世界を暖めるように。 が、火事には気をつけなさい」

そして、いよいよ私の番。

「きみは、物語の精靈だ。 人々に夢を与えて、豊かな世界を創るよう」
「はい！」

火事、見習い、紋（後書き）

最初は、消防士の見習い？とも思いましたけど、それじゃ芸が無いなあ、と考えました。魔法使いだと、このラストには出来なくて、精霊になりました。妖怪でも一緒ですね。さあ、物語の精霊は、今、どこにいるんでしょう？

はい、ここにいます。ナンチャツテ。

地震、盗賊、枕

アリババにしる、アラジンにしる、盗賊つて言つのは、洞穴に盗んだお宝を隠すものだ。

だから、地震情報はチェックを欠かせない。

どこかで地震があつたと聞く度に、その地方の山の中に隠したお宝は埋まつてやしないか？

心配で仕方が無い。

心配ばかりしていても仕方がないので、お宝が埋まつてないか見に行くことにした。

着いてみると、お宝はひと欠片も無かつた。ビックやら盗まれたらしい。

「良かった。」これで枕を高くして眠れる

地震、盗賊、枕（後書き）

もう、物持ちは心配で心配で、夜も眠れません。無くなってしまえば心配の必要はありませんから！いやー安心安心。ナンチャッテ。

今度は盗んだほうが心配してるのでしょうか？

盗んだお宝、ただ隠しておくだけじゃつまんないですよねえ？ 売り扱うのか、時として眺めて楽しむのか、たーだ置いておくなんてモツタイナイですねえ。

ジャングル、羊飼い、小刀

俺はジャングルの王様だ。

小刀を持ってジャングルの中を走り回り、木の実や果実を探つて食べる。

どんな猛獸にだって負けた事はない。

その生活に不満があつた訳じゃない。

けど、悩みぬいた末、俺はジャングルの生活を捨てた。

どうして？

羊飼いの娘に恋したから。

あの子にジャングルでの生活は無理だから。

俺はジャングルの王様だった。

「あなた！ 夕方までに、毛刈りやってね！」

今は、牧場で羊飼いだ。 これも悪くない。

「はいよー

ジャングル、羊飼い、小刀（後書き）

ジャングルと羊飼いの関係に悩みました。ジャングルの奥地に伝説の羊飼いが！なんて書き始めて、何度か挫折して、次はコンクリートジャングルは！？と思いましたが、これは一つもお話になりませんでした…。結局、コメディ路線を諦めて、ちょっとほのぼのに…。

虎、与太郎、包帯

生まれ変わつたら、今度は虎になりたい。
そして、早く生まれ変わりたい。 僕はそう思い続けた。

僕はとろくて、怪我すると包帯どころか絆創膏すらうまく貼れない。
だから、幼稚園の頃についたあだ名は「与太郎」だ。

でもとにかく、一生懸命に、真面目に生きて來た。
幸い、そんな僕に好感を持つてくれた女性がいた。
彼女といふと二人とも笑顔になれた。

人生つて長いようで短い。
そろそろ、生まれ変わる時だ。

今度も与太郎になりたい。

虎、与太郎、包帯（後書き）

あはは。コメディーになるかなあ、と最初は思つたんですけど、なりませんでした。結局、ほのぼのになつてしましました。まあ、人生、一生懸命に、真面目に生きるのが一番！つて事で！そんな人生に悔いは無い。生まれ変わつても悔いの無い人生を！つて事で！

川、占い師、風呂場

今日、僕はかなり緊張している。
占い師に言われた。

「今日は、水に気をつけなさい」

橋を渡る時は川を見下ろしてビクビクした。

ホテルに帰つてやつと一安心した。

風呂場でも溺れない様に、シャワーを浴びる時も注意した。
ずっと緊張してた。

寝る前に、緊張してのどがカラカラで、蛇口からゴップに水を注いで飲んだ。

冷たい水があいしかった。

翌朝、僕は高熱を出した。

この国の水道水は煮沸しないと飲んではいけないのを忘れていた。

川、占い師、風呂場（後書き）

ちょっとテンポが良くなかった。何だか、ほのぼのが連續したので、なんとしてもコメティーを！と意気込んだのですが、ちょっとテンポが良くない感じが…。やっぱり、川も風呂場もかなりおざなりかなあ、っていうかお題が全部おざなりな感じが！－はう…。

火事、家主、照る照る坊主

本格的な夏が始まった。

暑い上に、雨が降らずに乾燥した天気が続いている。

私が家主をやっている木造のアパートなんか、もちょっと暑くなれば火がつきそうな感じだ。

大した収入じゃないけど、燃えたら困る。

けど、本当に困る？

アパートの火災保険を確認した。

うん。火事で燃える分には保険はおりる。

私は照る照る坊主を作り始めた。

「雨なんか降るな！ もつと暑くなれ！」

その時、私自身がそのアパートに住んでるって事は忘れてた。

火事、家主、照る照る坊主（後書き）

おバカな家主が、保険金ほしさに、アパートが火事になる事を望む。けど、直接火をつけるほどには度胸がない……。でもねえ、さすがに、暑いだけで火事にはならないですよねえ？何かしらの不注意が重なるとあ！つとい間かもしれませんけど……。
でも、自分も住んでるのに、一生懸命なにやつてるんでしょうね？
けど、抜けてますねえ。

湖、鳥飼い、眼鏡

私は森の中で、鳥たちと住んでいた。

朝は、枕の脇でさえずる小鳥の声で目覚め、昼は、近くの湖で水鳥たちと遊ぶ。

きっと、鳥飼いの人たちからすると、夢のような生活だらう。

鳥以外には、時として近くに住む男性がやつてきた。
どの男性も、多分魅力的なのだろうけど……。でも、私の心には届かない。

ある日、見知らぬ男性が私の家を訪れた。

レンズ越しの知的な眼差し……。出会った瞬間、瞳にハートマーク。

そう。私は眼鏡属性だった。

湖、鳥銅い、眼鏡（後書き）

鳥とか、湖とか、もう完全にじつかりつけてしますね…。うーん。
お題が使えてない感じで、お題の使い方、つて点ではイマイチ感が
漂いまく…。それに、お題を知っていると、オチのパターンも予
測可能かもしません。どつか途中で一邊眼鏡を使つべきだったか
なあ？うーん。難しいです…。

洞窟、金色、人参

この地方には、昔から、ある言い伝えがあつた。
「金色の人参を食べると不老不死になる」

金色の人参を見つけた、という話は聞いたことがない。
が、それでも、毎年、金色の人参を探しに行く者は後を絶たない。
俺も、そんな冒険心溢れる男の一人だ。

そして、ある洞窟で、金色に輝く人参を見つけた。
「これで俺は不老不死だ！」
迷わず人参を食べた。

確かに、俺は不老不死になつた様だ。

だが代わりに、俺は金色の人参になつてしまつた。

洞窟、金色、人参（後書き）

不老不死、なつたら何するのかなあ、三題廻書いても、書いても、永遠に書き続けるのかなあ？それは楽しいような、苦しいような…。まあ、でも、こういうおいしい話には何か裏がある、という事で。その裏を何にしようかなあ？と思つたんですけど、結局。安易に食べたら人参になってしまつ、という事で…。

「ああ、あの、なぜ

あれかと思えば、魚の干物だ。

はい、今、私の皿の前に出されたのは何のじだつた。

何のじのやせ?

誰? こんなものを奢るの? そして、本当に作つたやうなん? 一

でも、味見する。もう約束しちゃつたんだよな? 。

やめておけばよかつた。

でも、ホント、後悔先に立たず、だよね? 。

仕方がない。皿をつぶつて、鼻をつまんで、一気に飲み込む。

ん? もう一つもいれる?

やめておけば良かつた。

あのじのやせ? あいつはしなつた。ひきつけられた。

Twitterの診断メーカーのダイイングメッセージについてので、出てきました。見た瞬間に三題嘶？？と思つてしまつたので、考えてみることにしました。やめて、の使い方をちょっとだけ一工夫したつもりです。ぐわやのきのこはあまりにストレートかなあ、とは思いましたけど、まあ、他にも思いつかず、そういうことをしました。

津波、割る、瓶

「雷」「津波」などのラベルが貼られた瓶が並んでいる。私は魔法使いで、瓶には魔力の素が入っているのだ。

ふと、覚えの無い瓶がある事に気がついた。
ラベルは「」怪しい。夫に違いない。

「あなた！ これ何！」

「えーと…。 その…」

全く要領を得ない事に苛立つた私は、瓶を床に叩きつけて割る。
その一部が私にかかつた途端に、視界がピンク色になつた。

「しまつた…。 ほれ薬ね…」

これじゃ、今夜は夫の言い成りにされてしまうわ

津波、飄る、瓶（後書き）

津波を普通に使いたくない、その思いだけで、とにかく、津波をどうしようか…。そう考えた結果が、魔法の技にすることでした。結局、その魔法は使いませんけど。でも、ラスト、うーん。なんだかんだで、まだまだ…。うーん。可愛い魔女って事で！（え？）

噴火、弟子、養老院

僕は考古学者だ。

それも、ただの考古学者じゃない。インディージョーンズの弟子だ。
世界中の遺跡を巡つて、隠された秘密を調べている。

噴火している火山だつて怖くない。そんなもんが怖いんだつたら
養老院に行つてしまえ！

ジヨーンズ教授にもそう言われている。

今日も十分働いた。憩いの我が家へ帰ろう。

「ただいまー」

「あなた！」

「これ！ 何ですか！」

なんと、僕の秘密を発掘した超特大火山が大噴火中だ。

この火山だけは怖い…。

噴火、弟子、養老院（後書き）

可愛い魔女の次は、恐妻家の考古学者です。でもでも、恐妻家つて
いうのは、奥さんを嫌いな訳じゃないんですよ？好きだからこそ、
怖いんですよ。ね、ね？ そうですよね？
けど、そんな風に奥さんのことを怖がるなんて、ちょっと可愛いかも？あはは。

雪崩、叩く、ダンス

僕は、ダンスを畠つ事にした。 だって、カツコいいでしょ？
ダンス教室に通つむ姉さんは関係ない。

靴で床を叩くタップダンスは無理だし、それじゃペアには…あれ？
と、とにかく、ワルツ始めた。

ワルツの競技会では、踊り始める位置がとても重要だ。

競技開始前には静かに、それでも雪崩をうつて移動する。

今、競技会は遠い夢で、まだターンの練習だ。

けど、うまく出来ない。

「軸足を中心回り回る」と回る。」

僕、幽霊なんですけど…。

雪崩、叩く、ダンス（後書き）

これも、単なるお話を作るなら「ダンスで床を叩くと雪崩が起きる」でおしまいなんんですけど、その延長じゃつまらない。そう思つて、「何とか雪崩を別の形に。そう思いました。結果として、雪崩がなんだか意味不明な使い方になつてしましました。

それにも関わらず、この幽霊。惹かれた相手は人間？それとも、やっぱ
り幽霊だつたりして！

星座、投げる、洗面器

星座がきれいな、星に手が届かない、そんな口は…。石を拾い夜空に向かつて投げる。普通は何も起きない。

けどその口は、投げた石が「コンッ」と星に当たたり、その星が落ちてきた。

僕は慌てたけど、何とか星を洗面器で受け止めた。

その星は、とてもきれいだった。
迷わず、その星を飲み込んだ。

それが魔法遣いになつた夜…。

いや、僕はハウルじやなかつた。

僕は魔法遣いではなく、星になつてしまつた。

さあ、誰か石を投げないかな？

星座、投げる、洗面器（後書き）

イメージとしては、ハウルがカルシファーと出会った時のシーンなんんですけど、ハウルは石なんか投げてないし、ねえ？何ででしょ…。まあ、星を飲み込んだら、星になっちゃう。そういう呪い、という事で…。次の人呪いを移すまでは、夜空で輝く星になってしましました。って我ながらよく分からない…。

火、消える、制服

私の心には消えることのない火が燃えている。

その炎が命じるままに私は、今日も彼に会いに行く。
誰が止めても無駄だつた。 私たちは、もうお互いの虜だつた。

今日もいつもの店で待ち合わせ。 ほら彼がやつて來た。

私たちの視線が空中で絡み合い、お互いの全身を舐め回す。
既に、身も心も溶け出している。

一人でいつもの部屋に行き、私は制服を着替えた。

今日は白衣。 昨日はセーラー服だつた。

私が鞭で打ち、彼が叫ぶ。

「女王さま！」

火、消える、制服（後書き）

ま、まあ、これは、いわゆる、そのSMの人ですね。実際のところがどんなのか知らないので、なんとなくの想像でのお話です。途中までは、そんな事は分からぬように、とちょっと誤魔化しながら書いたつもりですけど……。ばれてるかなあ？やつぱ、火、と制服がこの方向にする決め手だったかなあ？ それにしても、やっぱり、こういうの、書いて恥ずかしいですね……。

茸、幽霊、コート

僕は茸農家だ。 茸を売つて暮らしてゐる。

あの日、それはとても寒くて、僕はコートを着てマスクも着けていた。

大切な茸たちは、コートの中に持つていた。

みんな、何故か幽霊でも見るかの様な嫌悪の眼差しで僕を見ていた。

茸を買つてくれそうな奥さん達の前に行き、笑顔で言った。

「僕の茸を見て下さい」

そう言いながらコートを広げたら、叫び声があがつた。

「キヤーー。」「変態。」

今、僕は留置場だ。

茸を売るのは犯罪なのでしょうか？

茸、幽霊、コート（後書き）

幽霊が難しかつた。今の使い方も、イマイチかなとは思いますが…。茸は売つても別に犯罪じやないですよね。けど…、ねえ？この主人公にはあくまでオトボケで通してもらいましたけど、マスクを着けた人が、「コココ」もしくは「タタタ笑いながら、「僕の茸を…」なんて言いながら、コートの前を開けたら、やっぱり逃げますよねえ？あははは。茸退散！ナンチャツテ

陸、嘘、定規

嘘か真実かを判別する確かに定規なんて存在しない。

どうして？

それは、真実が時と場合で違うから…。

私たち人間だつてそう。

遠い昔、祖先が海から陸に上がり、進化を繰り返して人間になった？

それが真実？

それとも、最初から人間として生まれた？
これが真実？

決められないでしょ？

つまり、私とあなたの間では、何が嘘で何が真実か。
それを決めるのは私たちなの。

だから、ね？ この指輪、私 欲しかったんだもん！
それは私の真実よ？

結局、彼女は夫に内緒で指輪を買った事を言い訳してるんですね。進化論まで持ち出して、本当に欲しかったんだから、いいでしょ？って言つてるんですね。いやあ、もう、きっと見事に論点がずれる気もしますが…。まあ、それでも、きっとそんなことをするのはまれなんでしょうから、許して欲しいですよねえ？　でも、幾らの指輪だったのかなあ？

草むら、王子、僕

王子様とは幼馴染だ。

けど、私はお姫様じゃない、だからいつかは離れ離れになる。

だから、せめてそれまで…。

私たちは毎日一緒に草むらを走り回って遊んだ。
お互いの笑顔が嬉しかった。

その日は、荷車に積まれた僕に隠れて遊んでいた。

荷車が動き出した時、慌てて降りようとしたけど、王子が私を止めた。

やつと荷車から降りた所は知らない土地だった。

私たちは国を離れてしまった。

けど、私たちはもう離れない。それが嬉しかった。

最初は、僕を作ってる王子様とそれを見ているお姫様、ってスター
トで書き始めましたが、全然オチに結びつかず、僕の中に王子様を
入れてみました。そして、一緒にお姫様も入れてみたんですけど、
やはりオチが思いつかず、じゃあ、お姫様は止め！と仕切りなおし
て、幼馴染だけど、身分違いで、いざれは別れないといけない、け
ど、お互いにそれは嫌、そんな展開にしてみました。

火山、飛ぶ、母屋

情報によれば、この敵基地で、空飛ぶ機械が作られている。

命令を受け、その機械を破壊する為、俺は敵基地に潜入した。だが、機械らしきものは何一つ無かつた。

何か情報が無いか、危険だけど、母屋に接近した。そして、部屋にいる将校の会話を聞いた。

「（）は火山の中で、何かを隠すのに最適だな」「空飛ぶ機械を作るのに最適だ」

その話に思わず身を乗り出した…。 けど…
え？

「だが、今、最高の秘密は、そんなものは無いって事だ」

火山、飛ぶ、母屋（後書き）

母屋に集まつていたら、真下から火山が出てきて、母屋」と吹き飛ぶ、そんなお話はちょっとまとまりませんでした。だからって、これは何？って感じですけど、せつかく、秘密情報として得た敵の新兵器を破壊しに行つたのに……。って事で……。いやー情報戦ですね！ナンチャッテ。

太陽、贈り物、はたき

ある日、郵便受けを開けると、はたきが入っていた。
同封の説明書によると。

『神様よりの贈り物。 万能はたき。 何でもはらえます!』

なんじゃコリヤ?

神様の贈り物? 何が出来るつていうんだ?

試しにその辺を払つてみると、見事に埃が払える。
面白くなり、外に出て道を払う。
一振りで車が消え、次には道が消えてしまった。

驚き、間違つて空を払つたら、今度は太陽が消えてしまった。

そして僕は、うつかり自分自身をはらってしまった。

太陽、贈り物、はたき（後書き）

神様のはたき、払ったものはどうなるんでしょう？　はたきにくつ
付く？　どつかに飛ばされてしまう？　いえいえ、実ははたきを持つ
ていた方が異世界に飛ばされるんですよ…。なんちゃって。最後、
自分をはらつてしまつて、どうなつたのかなあ？　どっちにしろ、異
世界にとばされそうですね…。

藪、笑う、銅鑼

「一ノの藪が！」

特大の銅鑼声が、その主が、そう叫びながら階段を追いかけてくる。

「數つてなによ？ そもそも私は医者じゃないわ？」

そう言いながら、スピードをさらに上げ、階段を駆け上がる。屋上に出て「ビリッシュ！」そう考へていたが、銅鑼声の主はすぐについで追いついてきた。

「もう逃がさないわ」

そう言ふ、懲りしくも可愛く笑つ。

「ああ、ちやんと貼れ」

「文句言つべからなら自分でやつてよー 指先に絆創膏貼るの、難しこのよー？」

藪、笑う、銅鑼（後書き）

結局、この一人は仲がいいんですね。銅鑼、鳴らす事にしようか、どうしよう、どんな使い道が？なんてぐぐってたら、銅鑼声ってのがひつかかって、あ、それでも良いんだ！って思つたら、こんなジャレアイが思いついてしまいました…。

夕、宝物、ベランダ

この家のベランダには宝物があるの。
それが何か？ 分かるかしら？

今日も夕暮れの時間。

ほら、ここから見える夕の空はとてもきれいでしょう？

え？ その夕空が宝物なのかって？
ええ、もちろんそれも大切よ？

でも、ちょっと違つのよね……。

「おーい」

あら、主人が呼んでるわ。

「おーい、おまえ……。 あ、またこんな所にいたな？」

「お、夕焼け、きれいだな」

一人で一緒に夕焼けを見る。

この、ゆつたりとした二人の時間、この瞬間が宝物なの。

夕、宝物、ベランダ（後書き）

ベランダから二人できれいな景色を眺める、その穏やかな笑顔が、ほつとした、優しい時間を共有できる、そんな場所、一瞬現実が遠のいて、一人だけの夢の時間に入り込んでしまう。そんな宝物のようないい時間が持てる。って言うのは素敵だな。って言う事で。なんか、こいつお詫びして、意外と照れますね。アセアセ。

春、貧乏、胡瓜

この春から、ちよつとだけ生活が変わった。

夜はまともに眠れないし、色々な出費もかねむようになった。
まあ、貧乏って言つてほどの感じじやないけど。

え、愚痴を聞こながう。ヤシクん、僕こいつ。
仕方が無いじやないか、ほりほり見てよ。

可愛いでしょ？ 二ヶ円の息子と奥さん。

どつちの方が可愛いかつて？

そりゃー、奥さんだよ。

プルル！

おひとい、尊をすれば……。

「あなた！ 早く胡瓜買つてきてー。」

うーん。 可愛いけどちょっと怖い、かな？

春、貧乏、胡瓜（後書き）

あはは。怖いのは、好きだからですね？なんて、思いながら書きました。コメディというとちょっと違つタツチで、ラブコメという範疇なら入るかな？くらいでしようか…。でも、三ヶ月の子供、うーん、可愛いけど悪魔ですよ。いっちの都合なんてお構い無しですからね、H.H. あはは、なんの話でしょう。

荒れ地、一年、印 章

今はまだ山奥の荒れ地だけじ、一年もすれば、このすぐ近くに国道が通る。

そう言われて、この土地を買って、早、二十年。

未だに、一番近いのは自動車がすれ違つ事も出来ない砂利道だ。

氣の毒に、騙されたのね、つて？

いやいや、あの書類に印章をついた瞬間、それは未だに勝利の瞬間だ。

何でつて？

俺達は、悪の秘密結社だ。

目の前が国道なんかじゃ、見つかっちゃうでしょう？

バラバラバラ…。

警察のヘリだ！ しまった！

逃げ道がない…。

荒れ地、一年、印章（後書き）

いざれ近くに国道が通つて便利になる、そんな売り文句が本当になつたら困つたんでしょうか？まあ、いつまで経つても、不便な場所のままのはず、その予想は見事にあたるけど…、でも、間抜けな悪の秘密結社つてことで…。それにしても、この秘密結社、何をしてたんでしょうね…。『悪の秘密結社』を名乗つただけじゃ、警察も捕まえにはこないですよね。

甜菜（てんさい）・菓子屋、カメラ

家は菓子屋だ。

新しい事に挑戦する為、砂糖の代わりに甜菜糖を使つ事にした。購入した甜菜糖は、区別の為か、今までとは袋が違つ様だった。

今日は、新しい菓子が完成し、発表の日だ。

新しい菓子が店頭に並び、マスクミミがカメラを向ける。

けど、違和感がこみ上げる…。 何かが変だ…。

振り返り、よく見ると、未開封の甜菜糖に、空っぽの塩の袋…。

「げ！」

お菓子を食べたレポータの顔が歪んでいく…。

その日、菓子屋は閉店となつた。

甜菜（てんさい）、菓子屋、カメラ（後書き）

甜菜って何？から始まりました。どうもサトウダイコンとも呼ばれる、砂糖の原料の一つの様でした。一般的な砂糖はさとうきびからで、その砂糖よりは、オリゴ糖が多いらしいです。
お話としては、恐ろしく間抜けな誰かが、砂糖と間違えて塩をしてお菓子を作ってしまった。それを取材に来たレポーターが食べて、評判がガタ落ち、というお話でした…。
いやー、それにしても、途中で味見はしなかつたのでしょつかねえ？（なんて自分で言ってたらいけないですね）

山、見えない、表具屋

今日も、表具屋が激しい売り込みだ。

買う気はない、何度も言つても頬張しない。

恐ろしい形相で睨んでやつても、まるで私など見えないかの様だ。

「この屏風、時々、描かれた虎が出てくるんですよ」

「そんな危ないものいらん！」

「では、この掛け軸…」

そこには、リアルに山が描かれていた。

「いいな…」

山は大好きだった。

なので、その掛け軸は買つてしまつた。

その山は、とてもリアルだった。

翌日、掛け軸の山は、轟音と共に噴火した。

山、見えない、表具屋（後書き）

えー、あまりにリアルな火山の絵が噴火した、という事で…。それにしても、これは、表具つて何？から始まりました。ぐぐつたら、掛け軸とか屏風とかを表具つて言うつて事で…。こんな難しい（私が知らないだけ？）言葉で三題廻、どうしよう…、と思いました。まあ、なるようになれ、と書きました。何回か書き直すうちに、何とか形にはなつたでしょうか？ちなみに、書き終わつてから、噴火じゃなくても、毎日山登りを楽しむ、つてオチもありかなあ？でも、ちょっとインパクトに欠けるかなあ？なんて思いました。

牛、歳の暮れ、屋根裏

今、この屋根裏では魔法使いの世界一を決める大会が開かれていた。みんな必死で戦っている。誰だつて勝ちたい。いや、負けると大変だから…。

今年のルールはかなり危険だ。

戦いに敗れると牛にされ、一階に落とされる。

そんなの嫌だろ？だから、みんな必死だ。

歳の暮れもせまり、戦いもそろそろ大詰めだ。

「モー」と鳴きながら、誰かが落ちていく。

やがて、牛丼の美味しそうな匂いが漂ってくる。

そう。ここは吉野家の屋根裏だった。

牛、歳の暮れ、屋根裏（後書き）

うーん。吉野家の屋根裏って何でしょうね…。最初は屋根裏に住む牛の話にじょりと思つたはずでしたが…、いつの間にか牛にされるところお話に…。まあ、どちらにしても、牛が美味しく食べられてしまふ、といつお話には違ひありませんけどね？しかし、このルールでは、大会が終わると、世界一の魔法遣い以外は全員が牛丼ですね…。うう、「コワ。

念のため…、吉野家さんが屋根裏から落ちてくる怪しい牛で牛丼を作っている噂は聞いたことがありません！ あはは！

枯れ木、女、花籠

花籠って何だか知ってるかい？

「いやねえ、竹とかで作る、お花を生ける籠でしょ？ 女をバカにしないで？」

あはは。馬鹿にしてなんかいないぜ。でも、違うんだな…。

「じゃあ、なんだつて言つのよ？ まさか、枯れ木でも生けるの？
それじゃ盆栽よ？」

違う違う。花籠ってのは、相撲協会の年寄名跡の一つで、
今度、俺が16代目の花籠に決まったんだよ。

「あーり。じゃあ、私、その花籠で咲く花になりたいな？」

え…。

先に言われちゃった。

枯れ木、女、花籠（後書き）

うーん。ちょっと意味不明？　お相撲さんが、仲のいい女の人と話していて、二人とも想いあつてているのに中々勇気が出せない、そんな状態だつたけど、彼の年寄襲名をきっかけに、想いを告白する。そんな話になればいいなあ、と思いましたけど‥。でも、何だか、唐突な感じで、ちょっと雰囲気が出てないなあ‥。と反省中。花籠、現在は15代だつたかな？Wikiに出てました！

鉱脈、神、昆布

僕は、山で鉱脈を掘つてゐる。

朝早くから夜遅くまで、一生懸命に働いてゐる。
けど、生活は樂じやない。

妻は、そんな僕を心配してくれてゐる。

だから、お弁当には色々な工夫があつた。

「昆布はカルシウムがいっぱいあって、健康にいいのよ。」

今朝はそう言つていた。

そのお弁当を美味しく食べ、また一生懸命に働く。

お。何かが出てきた。今度は何だらう?

丁寧に土を払いのけた。

「ちえ、また貧乏神だ…」

そう。ここは神様の鉱脈だ。

恵比寿様を掘り当てれば、億万長者になれる…けど、出てくるのは貧乏神やら疫病神やら…。まあ、埋められてしまった神様なんだから、ろくなもんじやないかも？（なんていつたら罰が当たりますかね？）それでも、夫婦で一生懸命に生きている。そんな人でした。うーん。コメディなのか、ほのぼのなのか、イマイチはつきりしませんね…。

猫、汚す、弁当

お弁当を作っていると、近所の猫が寄ってくる。

「あんた達の好物なんて入つてないから！ あつち行つてー！」
だからって、猫が言う事を聞く訳も無い。

「でも、このお弁当だけは邪魔しないでー！」

そう。今日はデートなんだから。

相手は後輩だけど…。

べ、別に、いいでしょ？

え、先輩命令で誘つたんでしょ、つて？

そんな、心を汚すような事はしなかつたわ？

ちょっと、魔法を使つたけどね？

え、どんなつて…。

「好き」って言つただけよーー！

猫、汚す、弁当（後書き）

あはは。これは、慌てて書いたんで、オチが全く分かりませんでした。つていうか、これ、落ちてる？ちょっと微妙…。デートに持っていくお弁当を、早起きして作ってる女の子。お弁当持つてどこにいくんでしょうね？ 映画じゃないですね。遊園地？ どつかの公園かなあ？いいな…。ちよつと照れまくってるイメージで書きました。

光、赤ん坊、テープ

「はい。おみやげ」

母親が、その包みのテープを切り、中身を取り出した。

中から出てきたのは、一枚のディスクだ。

「何これ？」

「DVDよ？」

リビングを見回し、プレイヤを見つけると

「ほら、これで見るのよ」

電源を入れ、ディスクをセットする。

やがて、私の赤ん坊、母親にとつては初孫の顔が大写しになる。

「あなたそつくりね……」

いつか、私もこの子の子供を見て同じ事を言ひつかな……。

光にあふれるリビングでそんな事を思った。

光、赤ん坊、テープ（後書き）

いやー、そなんですよ。子供って、そつくりなんですよー！その昔（うう、今はもう、それなりにその昔、になってしましましたが…）子供が生まれた少し経った頃、両親に子供を見せに行つた時なんですけど、とある写真を見せられて、なんと、どう見ても、私の子供が両親に抱かれてる写真。しかも、両親はそれなりに若い。「え？」と言つたら、何の事は無い、私の子供だと思つたのは私自身だった事でした。いやー、子供って親に似るんですねえ…。

島、幽霊、胡瓜

「こりは東京だよ。

そつ言つても、誰もが最初に言つた葉は
「嘘でしょ？」

だ。

まあ、それも仕方が無い、離れ小島とまでは行かないけど…。
それでも、南海の孤島、やう言わると否定は出来ない。

やつ。こりは島だ。

家は、代々をこりの島で暮らしてきた。こりの島に根付いた生活をして
いた。

職業は農業で、裏の畑で胡瓜を作っていた。

最近、その畑に幽霊が出るとの噂がたった。

やつと氣付いてもひつた！

一体、私は戸籍上は何歳なんだろう？

島、幽霊、胡瓜（後書き）

えー、最近、各地で明らかになつてている。戸籍上…、って話。仕方が無い、そんな部分もあるんでしょう。それでも、何で放置してたの?と言いたくなるような事が多すぎるような気がします。報告する機会が無かつたから…。そんな報道もありますが、本当にそんな理由なんでしょうか?本当にお役所つて、そこまでバカなの?（処によるのかもしれないけど…）

ああ、愚痴なうへりでも出しますね。（ああ、年寄になつたなあ…）

そうです。幽霊の使い方を考えていって、そんな事を思いました。

氾濫、家来、湯飲み

僕の家には湯飲みなんてない。

びひして?つて、お茶を飲む」となんて無いからだ。

僕が強引にアタックしての恋愛結婚。 僕は妻の家来みたいなものだ。

そして、奥さんはお茶なんかより断然ビールだ！

台所に氾濫するビール瓶を見れば分かるでしょ？

でも、僕にはひとつおきの秘策があるんだ。

まず、コップにお茶のティーバックを入れる。そこにビールを！

これなら…

え?飲んでみるつて? 分かつたよ。

じゃあ、正露丸を飲んでからでいい?

氾濫、家来、湯飲み（後書き）

うぐ。よく分からぬお話をなつてしまひました。ビールでお茶をいれたら、いつたいどんなものになるんでしょう？何だか支離滅裂で、うううん。はらほろひりはれ……。

薬草、死人、管楽器

管楽器の華と言えば、トランペットよね？
ぱいっぱいぱいぱーい、ぱいっぱいぱいぱーい。

そう、この軽快なリズムが樂しいのよね。
たとえ死人でも踊りだしちゃうでしょ？

音楽つてさ、好きな人はホントに好きだよね？
バカにつける薬はないって本当だよねって感じ。

だから、毎日毎日。

ぱいっぱいぱいぱーい、ぱいっぱいぱいぱーい。

あーあ、でも、何だか氣分がのらないなあ。

夏もそろそろ終わりだし。

そろそろ、お墓に帰らなきやね。

薬草、死人、管楽器（後書き）

音楽好きの幽霊、という事で！
幽霊かな？もしかしたら、ゾンビ
？踊りだした死人だもんね…。
あはは、これも続けて意味不明だ
ああ。

虹、食べる、マヨネーズ

私は料理研究家。

最近、すごい噂を聞いたの。 虹のマヨネーズ。
そのマヨネーズでサラダを食べると、おいしさのあまりに虹が見えるって話。

でね。 実は今日、そのマヨネーズを手に入れたの。

見た目はありきたりね。七色のマヨネーズだったわ。

ちょっと、がっかりしたけど、気を取り直して、サラダにかけたの。

でも…。

虹どじろか、お星様になるかと思つたわ？

赤は唐辛子、黄色は練り辛子、緑はわさび…。
マヨネーズなんて入つてない！

虹、食べる、マヨネーズ（後書き）

虹のマヨネーズ、ちょっと安易だつたかなあ……。結局、マヨネーズなんか入ってない！って事だし！？ 七色の成分、全部は思いつきませんでした……。

毬、軍人、港

今日、私は上陸する。

上陸と言つても、普通に港に入るだけで、戦つ訳じやないけどね。ん？ 変な事言つてるかしり？ これでも軍人だし、今、秘密の任務もあるから、ちょっと緊張してるのであるのかも。

任務は、この毬の中にある、秘密の手紙を本国の司令に渡すこと。
まあ司令と言つても、私の幼馴染で、悪ガキだけどね？

あ、いたいた。

はい、これ。

あ、間違えた！ それは……！

ああ、にやけながら読んでる……。

私の最重要機密。ラブレターを……。

毬、軍人、港（後書き）

そりゃー、ラブレターは最重要機密ですよねえ？ うつかり渡す相手を間違えるなんて事はしないですよね？ まあ、渡す相手を間違えたわけじゃないけど、その時に渡すつもりじゃなかつた、って事で焦つてるんですよ。あはは。 ああ、苦しい…。

夢、王子、煙草

ねえ、煙草つて体に悪いのよ？

「ああ、判ってるさ。 けど…」

けどはナシ。 止めなさい？

「まったく、王子様に命令するなんて、いい度胸だよな？」
ダメなものは、だーめ。

「はいはい」

それが小学生の頃なんだから、悪ガキよね。
けどずっと好きだった。

でも私は使用人…。 夢は見ない様にしていた。

けど大逆転。 私たちは、結婚することになったの。

実は…、 彼はもう、隣国のお姫様では満足できなかつたの。

ビシッ！

「女王様！」

ほらね？

夢、王子、煙草（後書き）

何だか、最初は別のお話を思いついた様な気がするんだけど……。あとで……、と思っているうちに忘れちゃった……。王子様は夢。だつたかな？ それとも夢の煙草？ まあ、結局、これは、夢は叶つたけど、でも、思ったのとは違った形だった。って事でしょうか？ ちよつと何かがずれてる気もしますけど^ ^ ;

太陽、曲芸師、ルーレット

私は曲芸師。

その日の曲芸に何をするのか、それはルーレットで決める。ルーレットには色んな事が書いてある。

空中ブランコ、玉乗り…。とにかく、色々ある。

けど、実はどれも、ある法則があるのよ？

まあ、こんな曲芸ショーとしては、割と普通のことだから、とても自然なはず。

なにかつて？

内緒よ？

それは、夜にやるって事。ね？ 普通でしょ？

でも、とても大切なことなの。

私は吸血鬼だから、太陽なんて見たら、灰になっちゃうもん。

太陽、曲芸師、ルーレット（後書き）

最初、太陽をどう使うのかなあ、と悩みました。けど、使い方を決めてみると、今度は、あの二つがいい加減になつてしましました。何だか、構成がいまいちかなあ？ そういえば、吸血鬼って、栄養バランスはどうするのかなあ？ うーん。それをネタに一本かけるかな？

台風、通勤電車、双子

僕たちは双子だ。

生れた時からずっと一緒に暮らしてきた。これからも一緒に暮らす。
そう思つてた。

もちろん、結婚する、なんて事になれば話は別だらうけど。

けど、そんな事はまだ先のことだった。

今日も台風の中、一人でそろつて通勤電車に乗り、一緒に会社に向かつた。

けど、その台風はとんでもない威力で、ものすごい突風が吹き、電車は横転した。

その日から、僕たちは別々になる事はなくなった。

僕たちは双子の幽霊になつたから。

台風、通勤電車、双子（後書き）

幽靈になつても双子。これは、ブラックジョークでしょうか？ホラーではないですねえ。このお題は、三題断スイッチからではなくて、日下部さんから頂いたお題です。まずは、こんなのが思いつきました。けど、これだけじゃ何か物足りないので、もう少し考えてみる事にしました。

台風、通勤電車、双子 その一

台風の為か、朝から天気が悪かった。
それでも、今日は外せない用事がある。

出社するのはいいが、途中、せめて座りたかった。

けど、おかしな事になっていた。

やつて来た通勤電車には

『双子キャンペーン。双子の方に席をお譲り下さい』
なんて垂れ幕が掛かり、全ての座席は一人ずつ同じ顔をした人間で
占領されていた。

ひとつ電車をやりすぐしたが、次の電車は

『一人つ子キャンペーン』

だった。

「俺達、三つ子はどうすればいいんだ?」

台風、通勤電車、双子 その一（後書き）

もう一つ、どうしても通勤電車は乗るしかないかなあ？ あ、このお話では乗ってはいないですけど、基本的な使い方が一緒だなあ。コメディーになってるでしょうか？ ちょっとオチが説明不足な感じが拭えないかなあ？

台風、通勤電車、双子 その三（前書き）

台風、通勤電車、双子 その三

台風、通勤電車、双子 その二

駅に向かう途中、声をかけられた。

「望。おはよー」

私は恵美よー 双子だからって、皆で間違えないでー。
満員の通勤電車を考えるだけで憂鬱なのに…。

その上、台風のせいかすゞい風で、駅に着く頃には、もう髪はまぼさ
ぼせ…。

自分が誰なのか、分かる訳も無いって感じだった。

そこに、聞き慣れた声がした。

「恵美ー おはよー」

また！ だから私は！ …

あれ？ 合ってる？ 和也、じつしてあなたは、間違えないの？

「俺、おまえが好きだから

え…

台風、通勤電車、双子 そのII（後書き）

ちょっと恋愛噺に…。ちょっと、わざとらしかつたかなあ?ついでいうか、台風も通勤電車も使い方がぐだぐだになつてきてるかも…。うーん。三題噺としては、どうなんだろう…。といつか、そもそもお話として、尻切れトンボな感じもするし…。

ネズミ、職人、米屋

職人には大抵こだわりがある。

そのこだわりこそが、技を磨くために必要な要素なのかもしれない。

家は、代々の米屋で、お米に關係する色々な事の職人がいた。
お餅をつく職人。 お酒を作る職人。
他にも、お煎餅を作る職人など。

そんな中で異彩を放つてているのは、ネズミだ。
ネズミのこだわりはすごいんだ。

決して隠れない。堂々とみんなの前で食べる。
そして…

「やや塩辛い。 けど、概ね良い味だね」
思いつきり上から目線のコメントだ。

ネズミ、職人、米屋（後書き）

あれ？ネズミは職人？ただの偉そうな蘊蓄をたれる盗み食い野郎です。けど、そのコメントは結構あたるんです！！だから、新しい何かを作ると、ネズミのコメント聞きに行くんです。「これ、おいしいですかね？」って…。ちょっと流石に変かなあ？

密林、母、手紙

私の家は密林の中だ。

移動は木から木に伝つて行くしかなくて、交通の便はよくない。
当然、近くにポストはなく、手紙も届きはしない。

けど、最近はとても便利になつた。

なんと、インターネットが接続されたんだ。しかも最新の光イン
ターネットだ。

手紙なんか来なくて、電子メールであつといふ間に連絡がとれる。
それに携帯だつてバリ3だ。

けど、母は不満のようだつた。

「P-H-Sが圏外なの……」

母の携帯はちよつとタイプが違つ……。

うはは。PHS、って言つか、WILLCOM、スマートフォンは
WILLCOMからだつた様な気がするなあ。W-ZERO3、欲
しかつたなあ。今となつては…。って感じもありますけどねえ。ス
マートフォン、ほしいなあ。ソフトキーってどうなのかなあ？文章
を打つのには物足りなそうだなあ…。それが踏み切れない理由です
…。

草地、逃げる、雑貨屋

僕は懸命に走っていた。

何かから逃げるために、捕まらないために…。

けど、逃げることで精一杯で、なぜ逃げているのか思い出せなかつた。

もつ足が動かない…。

立ち止まつた僕の目前に、雑貨屋があつた。

こんな草地の真ん中に店があるなんて変だな、とは思つたけど、無性にのどが渴いていたので、何か飲みたくて店に入つた。

店番をしていたのは、なんと妻だった。
全てを思い出したが手遅れだった。

「あなた。アケミつてだれなの！」

草地、逃げる、雑貨屋（後書き）

何から逃げてたんだしじょうねえ、奥さんの追及から逃げよつとしてたのかなあ？ふふふ。逃がしませ～～んって感じ？あはは。

星影、間違える、踏み台

夜の高原を一人で歩いていた。

天体観測マニアの彼女は、様々な星や星座について溢満話を語り続けている。

間違える事など無い。まあ、間違えても僕には判らないナゾ。

近くの石を踏み台にちょっとした岩に上り、満天の星の光を浴びる。

普通だつたら、様々なロマンティックな想像に胸をときめかせるだらう。

だが星影の中、振り向いた彼女は満面の笑みで宣告した。

「天体望遠鏡を買つわ」

「だから、あなたのお小遣いはゼロ」

やはりか…。

星影、間違える、踏み台（後書き）

「メテイになつたかなあ？ 踏み台が不自然な感じが拭い切れませんが…。私の王道パターンとしては、これは告白シーンだよねえ、と思いましたけど、踏み台が使い難かったのと、何とか、別の形を…。と考えたのですが…。あまりに強引なオチに、あれ？って感じです。

焼け野原、校長、柱

この学校のスタートは焼け野原に並べた机と椅子だったそうだ。最初は、ボランティアだけで始めたと聞いている。

けど、いつの間にか、この辺の人間には無くてはならない物になつた。

学校に通つてゐる頃、よく柱に落書きしてたな。
あ、これがそうだ。

昔はここで学んだ僕が、今はこの学校で教えていた。
そして、なんと新学期からは僕が校長になるんだ。

僕が誰で、何を教えているか、つて？

僕はオーワで、教えるのは『選挙と金』だ。

焼け野原、校長、柱（後書き）

むー。何でこんな事になつたんでしょう？「焼け野原にかつての学校の柱が残つていた。その学校を再建して校長に…」なんて、方向で考えていて、でも、何だか当たり前でつまんないなあ、など思つてゐるうちに、こんなラストに…。我ながら行き当たりばったりだなあ…。

小川、白、鍵

丘の上の木蓮。その白い花。それが何の記憶なのか？全く判らなかつたけど、それが、優しく大切な何かだと感じていた。

だから、ずっと探しっていたが、とうとう見つけた。

小川の向こうの丘は記憶通りだった。

鍵が外れたかの様に、思い出がよみがえった。
けど、それは、取り戻せない事の確認になつた…。

木蓮の下、愛する人に良く似た少女が答えた。

「お母さんのお墓なの…」

そして不思議そうに僕を見上げた。
「どうして泣いてるの？」

小川、白、鍵（後書き）

何かの都合で愛する人を置いて故郷を離れた彼。行つた先で記憶を失い、戻るべき場所を見失つてしまつた。けど、断片的に覚えてい る記憶を頼りに、あちこちを探し回つた。そして、やつと見つけた 場所。記憶の欠片と一致する風景。堰を切つたかの様に溢れる思い 出。けど、既に愛する人は失われていた。それでも、自分と愛する 人を受け継ぐ存在に出会えた。

つらいけど、新たな生きる理由を発見することが出来た。そんなつ もりです。

虹、男、ヘルメット

私には夢があるの。

ある日、男の人が、そう、私の王子様が虹を渡つて、私を迎えて来る。

そして、私に愛の告白をするの。

え？ 寝言は寝て言えって？ まあ、確かに現実的じゃないわね？

でも、信じてる。

実はね、私の彼はマッドサイエンティストなの。

でね、最近、彼は渡れる虹、虹の橋を研究してるのよ？

だから、その研究が完成して、彼が迎えに来ないかなって。あ、このヘルメットが何かなって？

だって、彼の発明は失敗が多いから…。

虹、男、ヘルメット（後書き）

王子様はマッドサイエンティスト。うーん、ちょっとヘンテコリンな設定ですね。いつか彼が人が歩いて渡れる虹を作り出す。そうしたら、まずは彼は私を迎えて来る。そんな事を夢見てる（？）女の子。けど、彼の発明は信用していない。きっと、これまでにも色々酷い目に合わされたんですよ。だから、発明自体はどうでもいいけど、でも、そんな事に没頭している時の彼は、その事について熱く語る彼は、好きだなあ…。そんな感じですーあはは。

枯れ草、一人っ子、古着

古着って言うのも結構いいものだ。
遠慮しないでやりたい事が出来る。

泥んこまみれで遊んでもそんなに怒られないって気がする。

でも、僕は一人っ子だから、お兄さんのお下がりなんてなかつた。

だから、僕は普段は大人しくしていた。
外で遊んでも、水溜りに突っ込んだりはせずに、枯れ草の上で寝転がる程度だった。

古着みたいに遠慮がいらないっていいよね？

「誰が古着だつて！」

あはは。奥さんに聞こえちゃった。幼馴染なんだ！

枯れ草、一人っ子、古着（後書き）

お下がり、つて初めからちょっとくたびれてて、少しくらい汚しても怒られないかな？なんて思いませんでしたか？これなら、ちょっと無茶してもいいかも？なんてね？

けど、ラストは突然の脈絡もない展開でした。遠慮がいらない、真っ直ぐにぶつかり合う幼馴染同士の夫婦。きっと、喧嘩が絶えないんでしょうけど、それでも、決して離れる事はないんでしょうね？なんて思っています。

闇、黒、醤油

出来た！ 僕は研究成果を手にキッチンに走りこむ。そして妻に向かつて、得意満面で自信作を披露した。

「出来たぞ！ 驚異の簡単調味料だ！」

「ふーん、ちょっと黒いのね」

「主に出汁だが、醤油もかなり入ってるからな」

「うどん用なの？」

「うむ。 だが、蕎麦でもOKだ！」

説明する前から使い方を理解してくれた妻に、僕は有頂天だった。けど、次の言葉で闇の底に突き落とされた。

「これは、めんつゆね。 何年も前から売ってる物よ？」

闇、黒、醤油（後書き）

どれも黒いなあ、なんて思いながら考えました。でも、醤油だけは、こげ茶かなあ？でも、見た目としては十分に真っ黒だし…。とにかく、周囲の事なんかまるで目に入らない人が、ふと思いついたことを一生懸命に追い求めて、出来た！と思ったら、もう、とっくに一般にあるものだつた。うーん、周りが見えてないって怖いですねえ…。

何ていうか、パターンとしては、王道の一つですね。むー、修行が足りない…。

アイス、炎上、人力車

お祭りのメインイベントは、アイス運搬レースだ。

歩きでも自転車でも、何でもいい。

とにかく、一時間の内にどれだけのアイスを神社まで運べるか？つて事だ。

夏だし、途中でアイスが溶けてしまう事もある。

それに、他人の自転車とかを炎上させたりする過激な奴もいるから要注意だ。

僕は人力車で出走したけど、結局リタイアに終わった。

あんまり暑くて、途中でアイスを全部食べちゃつたら、お腹がね…。

グルグル…。うー ジャまたね！

アイス、炎上、人力車（後書き）

炎上が苦しかつたかなあ…。人力車もさして意味はないしねえ？
結局、アイスが全てな感じのお話かも…。ま、まあ、アイス食べ過ぎたらお腹壊しますよおつてね！

く、くるしー。えっと、このお題からは『三題嘶スイツチ』じゃなくて『三題嘶お題作成』からの出題（？）です。ちょっと、出てくる言葉が変わってる感じがしますね。

上り棒、討伐、臨海学校

今年の臨海学校では思わぬ事態が待っていた。

近くの海岸が虫だらけで、僕達は『虫討伐』を頼まれたのだ。

何でこんなに…、なんて考える暇はなかった。
虫はいくら倒しても、まるで終わりが見えなかつた。

砂浜に開いた穴にある、上り棒を登つて虫が次々と出現していた。
元を断つ為、上り棒を滑り降りた。

なんと、そこに居たのはプログラマだった。

「バグがとれない！」

彼はそう言つたが、実は簡単だった。

「そこ、仕様が間違つてゐる

これも、どうするのか分からず「こ、とりあえず臨海学校に行つたら、何かの討伐を頼まれた、つて事で書き始めて、最初はくらげ、いやカメでは？いやいやタコにしよう、と変えながら、上り棒の先に居る、その異常発生の原因をどうじょうか…。で、突然、こんなお話に…。

うーん、虫、バグ、くるしーかも…。しかも、仕様が間違ってる。とか、思いつきり楽屋落ちに近いかも…。

真実、アフリカ、排気ガス

アフリカってのは南の国だから暑いってイメージでしょ？だから、南アフリカなんて言つと、すぐ暑そうだよね？でも、実際はそんなに暑くないよね。

それにさ、東京っていうと、ビルばかりってイメージがあるでしょ？でも、実際は公園とかが結構あって、割と緑があるんだよ？

ね？ イメージと、真実の間にはずいぶん隔たりがあるんだよ。そう、排気ガスにだつて、中にはクリーンなものも…。

「だからって、あなたのオナラは臭いわ！」

真実、アフリカ、排気ガス（後書き）

無茶な言い訳を必死に正当化しようとする彼でした。でも、イメージも何も、ねえ…？クリーンなオ ラつてあるのかなあ？ いや、想像したくない、そして何より、絶対に確かめたくないですねえ。

鑑識、カーニバル、つむぎ

今年もカーニバルは大盛況だ。

通りをパレードが練り歩き、みんな浮かれてる。

僕は彼女と一緒に来ていた。

彼女は警察の鑑識で、科学捜査の最先端よ？なんて自慢している。
まあ、お祭りには関係ないけど。

今、屋台からは肉を焼くいい匂いが漂つてくる。
うさぎの肉が良いなあ。

あ、あつた。ラッキー。

…あれ？なんか違うような…。

「私が鑑識するわ」

彼女が色々と道具を取り出しそう。

「そー。当たるも当たらぬも八卦…」

占いじゃねーか！

鑑識、カーニバル、つやぎ（後書き）

あはは。彼女、警察でも占いで鑑識してるんでしょうか？大変だあ！ あ、もちろん、本当の警察の人気がそんな事をしている、なんて言つてる訳じやないですよ？

うさぎ肉かあ、普通はお祭りの屋台には出でないですねえ？ 牛串とかはよく見ますけどね？ あとは、唐揚、フランクフルト、そしてやつぱり焼きそばで決まりですよね！

雪女、かじめかじめ、アニメ

ふと、かじめかじめをして遊んだ頃を思い出した。
あの頃は良かつたな…。

「仕方ないでしょ？ 私は雪女、あんたは人間
俺達、一緒に暮らせないのか？
「アニメじゃないのよ？ 無理ね」
けど、俺はおまえが好きだ。

雪女が真っ赤になつて訴えた。

「私は『好き』なんて熱い気持ちを持つたら融けちゃうわー…」
なんで熱いつて知ってるんだよ。
泣きながら彼女は言つた。
「バカね…」

彼女は穏やかに微笑んだけれど、それが最後の言葉だった。

雪女、はじめかいめ、アニメ（後書き）

うー。何でこんな話になっちゃったんだろ？。雪女の彼女は、もう随分と前から覚悟していたけれど、でも、その想いを認めざるを得なくなつた瞬間。そして、自分だけの想いじやなかつた事を知つて、想いと一緒に運命を受け入れた。雪女の設定（？）にそんなのがあるなんてのは聞いたことは無いんですけど、書いているうちに、行ひひりのうまい話になつてしまつた…。

悲しいお話になつてしまつて、書きながら落ち込んでしまいましたけど、でも、お話としてはこいつせざるを得ないなあ、なんて思つてしまい、そう書いてしまいました。

昔だったら、そんなお話はイヤー！で書かなかつたかなあ？ むー

湯たんぽ、お化け屋敷、独奏

最近、お化け屋敷つて流行りないよね？

びひひてだと思つ？

あつとね、最近の子は、お化けを感じる心が無くなつたやつたんだ。

だつて、あの縦笛の独奏を聞いても、顔色ひとつ変えないんだ。
ひゅるる～って音で、昔はみんな震え上がつたのに…。

だから、お化けはみんな寂しがつてる。

そして、あつと涼つ間に夏が過ぎた。

湯たんぽが恋しくなる季節になると、お化けは休業だ。

「お疲れ～」

来年は、お化けを感じじる子がいるといこなあ…。

湯たんぽ、お化け屋敷、独奏（後書き）

湯たんぽは困りました。だって、季節的にもお化けとは被らないなあ、と。独奏も使い方は悩みましたけど、まあなんとかまとめられたかな、と思います。文明が発達しそぎて、みんなそんな事ばかりに目が行って、自然が目に入らない。だから、お化けを感じる事も出来ない。実はそれは結構寂しい事かな、なんて事を思いながら書きました。

だ、だからって、お化けを見たい訳じゃないですよー。お化けには出会わないに越した事はないです！（きつぱりー）

雨天中止、サックス、DVD

ね、サックスって良いと思わない?
僕は大好きだ。

自分で吹くのもいいけど、コンサートが大好きだ。
特に、野外のライブなんか最高だよね。

先週もそんなライブがあったんだ。

普通、野外ライブは雨天中止になる事が多いけど、そのライブは違
った。

雨の中、かまわず開催されて、ものすごく盛り上がった。
最高だった。

あの時のDVDを買ったんだ。

あの感動をもう一度…。

DVDプレイヤーは、と…。

雨天中止? このプレイヤー、何もの?

雨天中止、サックス、DVD（後書き）

あはは。うーん、オチはちょっと意味不明？ 雨を物ともしない、そんなライブの記録DVDを見ようとしても、プレイヤーが雨では動かない？まあ、電化製品、水には弱いですけどねえ。DVD、野外で見ようとしたのでしょうか？

ガウン、炎、内憂外患

静かな夜だ…。

ゆつたりとしたガウンを着て、穏やかに時間を過ごすと、嫌な事を忘れることができる。

けど、現実から田を逸らしてはいけない。

今、私が経営する鉄道会社は、あちこちで炎が上がっている。つまり、この会社は倒産寸前だ。

原因はよく判つてる。

周囲の好景気を実力と勘違いして、無茶な事業拡大をした結果だ。

まさに内憂外患だな。

いや、そんな生易しい状態じゃない。お終いだな…。

僕は静かに二コーゲームを選択した。

ガウン、炎、内憂外患（後書き）

ゆつたりとしたガウンを着て、グラスにはブランデー。そして、ネオンに輝く町を、その中心に立つマンションの最上階の自室から眺める。うーん、エクゼクティブの生活？（あはは、映画とかのイメージだけで、ゼンゼン自分では実感がなくて、意味不明ですが…）そして、事業に失敗して、会社は倒産寸前。夜逃げ、じゃなくて、じゃ、最初から…。はい、ただのゲームでしたー。イメージとしては『A列車で行こう』というゲームです。難しくてねえ、鉄道会社のゲームのはずなのに、工場作ったり、ホテル建てたり、ゴルフ場、スキー場、スタジアム…。なーんてやつてる内に、経営は行き詰まり、仕方が無い、やり直し、ヒューゲーム…。って…。うーん、苦しい…。

内憂外患つて…。難しい言葉ですねえ、でも、今の日本は正にそ
かもーですけど…。

メインステージ、長居公園、猫だまし

今日、僕は立会いがある。立会いは初めてって訳じゃない。

けど、これまでとは違うんだ。

どんな技がいいか、昨夜から考え続けていた。

意表を突くには、猫だましも悪くない。けど、それは諸刃の剣だ。

予測されていたら取り返しがつかない。

今日の試合場は、長居公園にある長居相撲場だ。

メインステージとは程遠いけど、僕の力士デビューだ。

僕は相撲で生きていく、その決意を込めた戦いをしたい。

そうだ。やはりがつぶり四つが良い。

メインステージ、長居公園、猫だまし（後書き）

このお題、何で特定の公園の名前が?とさうと戸惑いました。どうやら、大阪の南の方にある、割と大きな公園ですね。植物園とか、競技場とかもあるみたいです。けど、そこに相撲場がある事、そして、猫だましという相撲の技がある事から、お話の方向が大体決まりました。なので、意外性はないですし、一直線なお話です。まあ、そんなのもいいよね、という事で!

雪、マンガース、リストラ

長年勤めた警備会社をリストラされ、マンガースは路頭に迷っていた。

「最近、蛇も少なくて、どうしても君じゃなきゃって仕事がなくてね」

そう言われ、薄っぺらい退職金を渡された。

雪がちらりつゝ中、呆然と町を見上げた。

その時、暗がりから声がした。

「旦那。あなたの経験、活かしてみませんか？」

半年後、コブラ出版から出た本は、蛇たちに飛ぶように売れ、ベストセラーになつた。

タイトルは『マンガースから身を守る99の方法』

雪、マンガース、リストラ（後書き）

初めて？の動物もの（？）です！対ヘビの切り札として長年警備会社で働いていたマンガース。けど、不況のあおりでくびになってしまった。そして、コブラーの誘いで、作家になつたんです！それもいきなりベストセラー！（んな訳ないって？あはは）マンガースの華麗な転身！

影絵、人肌、携帯番号

焦点が定まらない……。

この酒、熱燗だつたはずなのに、今じやせいぜい人肌だ。

ぐい。と杯を乾し、周囲を見回した。
誰も居ない……。よし、誰か呼ぼう。

かけなれた幼馴染の携帯番号を押した。

「わたし。 げんきー？」

しばらく喋ったと思うけど、記憶にない。
けど、不思議と満足して電話を切つた。
あれ？ 呼ぶんだっけ？

ま、いいや。

「おかんじょー」

店を出ると、影絵の様に人が立っていた。

「やつぱここか」

人肌の温もりが嬉しかつた。

なーんで、こんなにべろべろになるまで飲んでたんでしょうねえ？

まあ、何かやな事があったのかも知れませんが、この瞬間にはもう、過ぎた事になつた。ふと気が付くと一人で飲んでるのがつまんなくなつて、慣れた相手に電話をかけて無理矢理相手をさせて、で、適当に喋つて、きっと愚痴も言って、でなんとなく満足して「や、かーえろ」になつた彼女。

それでも、やっぱり、ちょっとだけ一人で帰るのは寂しいかな、そう思つたら、店の前まで幼馴染が迎えに来ていた。そんな心遣いが、その暖かさが嬉しいな。と。

シルクロード、唐変木、水族館

「いい儲け話があるんだよ」

「奴の話はろくな事じやない。」

「信用ならんな」

「まあまあ…。 シルクロードに水族館を建てたら丸儲けだと思わんか？」

知らない内に、唐変木の度合いが上がった様だ。

「もちろん、水槽だけじやない。 イルカのショードってやるぞー。」

「そして…」

「奴の妄想は止まらない。」

馬鹿馬鹿しいけど訊いてみた。

「で、お土産は？」

「それは、俺の書いた一大ファンタジー小説だ！」

そうだ。奴の唐変木は根つからだつた。

シルクロード、唐変木、水族館（後書き）

シルクロードに水族館。儲かりますかねえ？色々と無理がある気はしますけど、まあ、お話ですから！ そんなファンタジーな事を考えるのは、唐変木なファンタジー作家でした。ああ、なんだか、楽屋落ちだあ。あ、でも、目的はお金儲けなんですよね？ うーん、でも、もしかしたら、自費出版で売れ残った小説を捌くためにこんな企画を？ あー怖い怖い…。

熱燗、シルクロード、蛸

シルクロードに蛸のお化けが出る。

最近帰ってきた友達が、そんな事を言い出した。

「あんな所に、蛸なんか居る訳無いだろ?」?

「そう言つても、弱々しく首をふる。

「だが、俺は見たんだ」

熱燗の酌をしながら彼をなだめた。

「まあ、飲めよ」

彼は杯をあおり、先を続けた。

「ぐねぐねして、足がたくさんある奴らが現れたんだ」

「奴らは牛や馬をさらいつと、円盤で飛んで行ったんだ!」

俺は眩暈を感じた。

「それは蛸じゃない! 火星人だ!」

熱爛、シルクロード、蛸（後書き）

何だか、シルクロードが連續してました。まあ、前回もシルクロードは結構おざなりでしたけど、今回はおざなり度がアップしてる気がしますね……。蛸のお化けが出る。そして、蛸のお化けは牛や馬を連れ去る。UFOがやるのって、キヤトルミコーティレー・ションって言うんでしたっけ。あれ、嫌ですねえ……。なんて言いながら使つてしましました……。

それにしても、やっぱり、火星人と言えば、蛸ですよね？ね？

草餅、半熟、小学生

ねえ。草餅って知ってる?

あはは、バカにするんじゃないうて?

まあ、そりゃそうだよね。小学生だって知ってるよね。

そう、あの蓬を混せたお餅のこと。

一昔前は、おやつの定番だったわよね?

でも、最近は、おやつはチョコレートだとクッキーとか…。

中でも最近、プリンとか、半熟、つまりふよふよなのが流行ってるみたいよ?

他にも、半熟カステラとかもあるみたいよ。ね、今度食べに行ってみない?

え?

そういう私が半熟? 失礼ね!

草餅、半熟、小学生（後書き）

草餅って、最近食べてないなあ。懐かしい感じです。で、で、草餅って言つと、中に餡子が入つてゐる、そう思ひますよね？ 私もそのイメージです。確かに間違ひじゃないみたいですけど、でも、本当は、餡子は『いれることが多い』であつて、必須じゃないんですね。ただ、蓬を混ぜたお餅なんですね。その蓬だつて、『母子草』つていうのだつたらしいです。

だから、今、一般的に草餅って言つてゐるのと、蓬餅とも言ひ合つてゐですね。

まあ、そんな事はともあれ、半熟、とうとう、ふよふよ、うー。そ、そんなにふよふよじやないもん！って事で…。

完ア、一富士一鷹三茄子、一田惚れ

メテタイ！ と言えば、昔から『一富士一鷹三茄子』だ。

けど、私の初恋が、その告白した結果が

「よろしくお願ひします」

だった事は、それ以上だと思わない？

彼は、一田惚れしたよ。なんて、どんな事も言つた。

あの恋を、良い経験になんてしたくなかった。

そつ、『あの頃、確かに彼を好きだった』なんて完ア形で語るのは
イヤ。

『あの頃から彼を好き』現在進行形がイイ。

「おーい。俺の下着、どう？」

あー、もう一、このバカ茄子！

完ア、一富士一鷹三茄子、一田惚れ（後書き）

完了がちょっと不自然かなあ…。あれ、普通は過去形って言いますよね…。でも、その初恋をきちんと育てて、色々なことを乗り越えての関係を作ってきた。きっかけは他愛もない事かもしれないけど、積み重ねてきた時間は、共通の思い出は本物。

何にしても、違う人間が一緒にいるためには、それなりの努力が必要なんでしょうね。そして、きっと、その努力に見合った喜びがあるはず。そう思います。

でも、このオチ、ちょっと飛びすぎかなあ？でもでも、きっと分かりますよね？状況設定、狭いですから！（あ、自爆？）

パフェ、ストライプ、同性愛

家に帰ると、黒・白・青のストライプの旗が掲げてあった。

また…。何度も言つても、勘違いは直らない様だ。
これは同性愛者のシンボルだ。私は違うのに…。

「ああいりつぐー… いこなめやけ食こね」

スカートを翻し、近くの喫茶店に行つた。

「ジャンボパフェ！ チョコとイチゴを一つづつ！」

やつてきたパフェにむしゃぶりついた。

ひげにクリームが付くけど気にしない。
そして、周囲を一喝した。

「見てんじやないわよ！ 私はただのオカマよー。」

パフェ、ストライプ、同性愛（後書き）

同性愛、どう使うんだろう。それを随分と悩みました。そして、訳も分からず『同性愛 ストライプ』でぐぐつて見たら、思わぬものを見つけて、そこに飛びついで、とりあえず、そのまま書き始め、パフェはノリで使いました。むー。何だか訳分からないものになつたかも…。

誓、戸籍、セレモニー

「おまえは俺達独身者の皆なんだ！」

そう言われても困るが、でも結婚出来ないカラダってのは確かだ。

遠い昔、想いを誓い合つた女性がいた。
けど、昔の話だ。

この間、独身を祝つセレモニーだから来い、なんて言つから行つて
みたら。

何の事は無い、ふられた奴を慰める飲み会だった。

いいよな。何度ふられたって、奴らには未来がある。
けど、俺には戸籍も未来もない。

どういつつとかって？

みんな気が付いてないけど、俺は「靈だから。

この彼、昔、将来を誓い合つた彼女がいたけれど、それは結ばれぬ恋で、結ばれないままに、死んでしまった。そして、その事が未練でずっと漂つている亡靈。そして、何故か彼を仲間と勘違いしている人たちと友達づきあい（？）をしている。どこで知り合つたのか、とか細かい事（！？）は判りません！ けど、その友達が「あの子が好き」とか「告白した」「ふられた」なんて、それでも一生懸命に生きているのをほろ苦い思いで見つめてる。そんな感じです。うーん。なんで、そんなお話になつたんだろう…。なぞだ…。

遭難、整形、税務官

僕は十年前に遭難した事になつてゐる。
だから、整形もしてゐる。

その昔、税務官をしていて、ある組織の秘密を知り、追われていた。

戻つてくるべきではない。それは判つていた。
今さら……。

僕の感傷以外には何もないのだから……。

だから、彼女が新しい生活を始めている事を確認したら去ろう、永遠に。

そう考えていた。

虚ろな瞳の彼女と目が合つた、その次の瞬間だつた。

「あなた！」

今は一人で逃亡生活だ。

けど、彼女の瞳は輝いてゐる。

うーん。ご都合主義の権化みたいなお話です。ある組織の秘密を知つてしまつて追われている彼は、彼女にも知らせることが出来ない内に逃亡せざるを得なかつた。彼女を巻き込むことを考えれば、彼女に知らせることが出来なかつた。そして始まつた逃亡生活。死んだことになつているはずだし、もう、戻つても見つからないかも…。そう思い、一瞬だけでいいから、彼女が無事なこと。自分以外の幸せを見つけて、新しい人生を始めている事を確認しよう。そうすれば、自分の想いは封印できる。そして、この街を訪れる事はもうないだろう。その決意をするため、そう考えて、彼女と暮らした街に舞い戻つた彼。そして、街中で偶然に出会つてしまつ。整形しているはずなのに、十年も経つてゐるのに、一瞬で自分を見抜いた彼女。運命は優しく残酷だつた。結局、彼女と一緒に街を去るしか出来なかつた。お互いの存在を確認してしまつた以上、もう離れる事は出来なかつた。当てはないけど、でも、彼女と一緒にいる事が出来る、それは嬉しい。彼女もそう感じてくれている、それだけが拠所。

ああああ。こんな長つたらしい解説を書きたくなる200文字つて
いつたい…。ぐあ！

匍匐前進、PSP、グミ

秋晴れの空が気持ちいい日だった。

「こんな日は、青空の下でPSPだよね」

なんて言つてたら背後から声がした。

「結局ゲームかよ」

振り返ると、匍匐前進しているバカがいた。

「ありや、バレタ」

そう言つと奴は立ち上がり、ポケットから箱を出した。

その箱を私に投げつけながら

「これ。こないだ探してたろ」

「あ、レモングミ…」

覚えてたんだ…。と、和んだ隙を突かれた。

「ひら。勝手にキスしないでよ」

声が上ずるの、気付かれた?

結局、仲のいい二人です。どうして外に居たのか、どうしてPSPなのか？それは不明ですけど…。何ていうか、今回は、お題の使い方が非常に甘い気がします…。それなりのお話にしようと思って、お話の筋は何とかつながったかな？と思いつつも、元のお題が、本当に単に言葉としてはめられてるだけで、どれも、意味が判らない…。

その内、また違う使い方を思いつくかなあ？ むー。

物見遊山、季節外れ、掌

たとえ季節外れだらうと、練習を怠つてはいけない。

そつは言つても、やはり氷の無い池ではスケートは出来ない。

だから、練習はいつも寒い。

寒いはずだけど、それでも、掌の汗は途切れない。

設定された課題にそつて、正確に、寸分の狂い無く氷上を舞う為に練習する。

それはとても過酷な練習だ。

だから、物見遊山な気分で練習を見学にくる人には腹が立つた。

そう思つてた。 けどそれは、余裕が無かつたからだ。

楽しむ心は大事だよね。

物見遊山、季節外れ、掌（後書き）

何事も初心を忘れないように、というか、やはり打ち込む為には、その理由が自分の中に必要かな、と。その理由を見失った状態で頑張ると、とっても辛い。だから、自分がどうして頑張っているのか、それを常に忘れないようにしたいな。割と難しいけど、でも、それが日々の頑張りを支えてくれるはず。そんな気持ちで書いてみました。

ミカエル、蚊取線香、スレート

今日は駅前のスーパーで特売。あのスーパーは家から近くて、何でも売ってるから便利なんだ。夕食の材料を買いに行つた。

玉ねぎ、ニンジン、その先を見ると、屋根瓦が売っていた。

『極上スレート。お買い得』

あ、そう言えば、瓦が一枚なかつたかも、なんて思つて一枚買つた。その向こうに在つたのは、悪魔の蚊取線香。

さつそく点けてみる。

何かがミエル、そんな気がした。

「あ！ ミカエル様？」

やはり、力取線香！

「ダジャレかよ！」

ミカエル、蚊取線香、スレート（後書き）

あははは。超苦し紛れです。随分悩みましたけど、やはり書き始めないとどうにもならない、とスレートと蚊取線香はスーパーで買う事にして書き始めました。ミカエルは…。うーん、ここまでぐだぐだなのは初めてかも…。

スケート、浪人、再会

今年こそ！ そう考えて、必死に勉強してきた。

思えば去年は悲惨だった。

もう、大スケート大会だった。受ける大学、受ける大学、全て滑つた。

だから、今年は第一志望の大学に合格するために。

そして、その大学に通う、幼馴染の彼に再会するために！

動機が不純？ 頑張るための理由はなんだつていいじゃない！

そして春。 見事に桜が咲いた。

念願の、彼と同じキャンパス。

けど、彼は私なんか眼中にはない様だ。

恋愛は、まだ浪人中みたい…。

スケート、浪人、再会（後書き）

あはは。いやー、私も現役では全て落ちました。一浪して、やっと合格しました。まあ、一浪くらいなら、たくさんいますから！でも、好きな人は同じ大学には通つてませんでしたねえ、一年目は落ちちゃったし。二年目は、受かったけど、結局は他に落ちちゃったしね。

え、その後は…。えへへ。ナイショ。

七草粥、冷静、マヨネーズ

今日は一円七日、朝食は七草粥の予定だ。

けど、朝起きると、冷蔵庫の中にはマヨネーズしかなかった。

落ち着いて……。まずは冷静にならなき。

そうよー買ってくればいいのよー。れひとパンドリード売ってるわー。

ひょええ！ お財布には十円しかないし！

「おはようー」

あなた、「めんなさい」、七草が……。

「ん？ やはり出でるのやつ？」

あれ？ どうして？

「昨夜、今年は本格的にとか言ひて、包丁で呑いてなかつたっけ？」

うーん。大変よろしい。

七草粥、冷静、マヨネーズ（後書き）

ラストはブリジット・ジョーンズ風（？）のつもりです…。あはは、
訳判りませんね…。

で、書き終えてからふと思いついて、もう一つ作りました。

七草粥、冷静、マヨネーズ（不思議編）

「どうして？ 昨日は確かにあったはずなのに……。」

七草粥を作り、冷蔵庫を開けたら、そこにはマヨネーズしかなかつた。

私はお財布を引っ掻むと、慌てて買い物に出掛けた。

けど、ビルにも七草は売つてなかつた。

がつくりして、家に帰つた。

「…………とにかく冷静にならなきや……。
もう一度冷蔵庫を良く見た。

ん？

なんだ！ オッケーじゃん！

私は予定通りに七草粥を作つた。

なんと、冷蔵庫にあつたのは、七草入りマヨネーズだつた！

七草粥、冷静、マヨネーズ（不思議編）（後書き）

不思議編って、どれもこれも不思議はテンション盛りですけど…。七草入りのマヨネーズなら…そう思いついて、一つでっちら上りました。
そういう、だつて、スーパーで見たんですよ。もちろん、七草入りじゃないですよ？ でも、ラー油入りマヨネーズってのが売つてたんですよーええ、ホントですよー…嘘じゃないですよー…（ちよつとオレンジ色が付いてた…）。手にとつては見ましたけど、買いました…）

劉禅、クリック、矛

ね。劉禅って知ってるかい？

知らない？ でも大丈夫。

最近は便利だから、クリック一発で検索できる。

ほらこれだ。

『三国時代の蜀の第一代皇帝』

うん。その通り。

三国志では、評判はよくない人だね。

乱世に向いた人じやないけど、むやみに剣や矛を構えればいいって
訳じやない。

平和な時にこそ力量を發揮する人もいる。劉禅はそんな人だつたん
だよ。

だから…。

ねえ、そろそろ仲直りしようよ。夫婦喧嘩は犬も食わないと…。

「ふん！」

劉禅、クリック、矛（後書き）

また、『劉禅』なんて固有名詞が…。で、何それ？人の名前？なんて状態で、当然の様に、ぐぐりました。で、見つけたのが『三国時代の蜀の第一代皇帝』。へー。なんだ。で、何した人？と思ったけど、何かをしたつて訳じやなさそう。でも、この人が皇帝の間、国は安定していたみたい。じゃあ、暴君とか暗君とかじゃなかつたんでしょうね。

で、ラストはちょっと強引に転換して、へんてこりんなオチに…。

ストレッチャー、興味本位、ゲームボーイ

あいた！

私は今、ストレッチャーの上で、身動きも出来ずに、その痛みを堪えていた。

きつと背骨が折れてる。それに脊髄が粉々になつてゐる気がする。

どうしてこんな事になつたのかつて？

私にもよく判らないわ？

興味本位なのは確かだけど。でも、大した事じゃないわ？

だって、ゲームボーイを両手に持つて、両足にDOSを乗せて、逆立ちでWiiコントローラーをしただけなのよ？ ね？

うあ！ 背骨が砕ける！

え？ 破けてるのは私の脳みそ？

失礼ね！

ストレッチャー、興味本位、ゲームボーイ（後書き）

えーと、具体的にどんな状態だったのか、それは私にもよく判りませんけど…。どうして、そんな事を思いついたんでしょうねえ？謎ですねえ…。それにしても、誰が救急車を呼んでくれたんでしょうね？　いやー良かつた良かつた。

毒、スペイン、イギリス

無敵艦隊って知ってる?

そう。中世スペインの海軍ね。

当時のヨーロッパで、向かうといろ敵無しつて強さだつたらしいわよ?

けど、永遠に無敵な訳はなくて、イギリス海軍の奇策の前に敗れたのよ。

あなたがこれまで無敗だつたとしても、いつかは負ける時が来たはずよ。

誰のせいでもないわ、さ、じ飯を食べて、元気を出して。

どう? 少しは前向きになつた?

「Jの味は毒だね」

どういう意味よ。

「君の料理以外は食べられなくなる」

バカ!

毒、スペイン、イギリス（後書き）

スペインとイギリスと言えば、無敵艦隊とそれを破った国、かなあ、と思いました。で、それをどうやって毒に？　訳が分からなくなつて、カップルの話にしてしまいました。

怨恨、浪人、たまごっち

ピッピッ！

私のたまごっちは元気だ。

まだ浪人だけど、大学に受かったら一緒に行こうね。
そう声をかけ、私は部屋を出た。

頑張らなきや、そう、第一志望には彼がいるから…。

翌年、努力の甲斐あつてか、私は第一志望に合格した。

けど、彼が殺された。

刑事さんは状況を見て「怨恨だな」そう言つた。

私は部屋に帰り、たまごっちを問い合わせた。

「どうして！」

『おまえが悪い。俺からは逃げられない』

たまごっちから育つた悪魔が噛つた。

怨恨、浪人、たまごっち（後書き）

怨恨は、そのままストレートに殺人事件に、けど、それをどうやってたまごっちに結びつけよう？最初はたまごっちに悪戯された恨み、なんて話を考えたんですけど、悪戯されたたまごっちが現場に残っている、って展開は不自然だなあ、と思っているうちにこんな話になりました。怨恨、というのは変な感じになりましたけど、たまごっちが化けました。うーん、これはホラーですよね？こんなたまごっちは育てたくないな…。

最前線、竜、閑話休題

剣と魔法とドラゴンの戦い、ここは最前線。

ファンタジーだねって？ でも、私達には命懸けの現実よ。

ほら、目の前で敵の竜と味方の剣士が戦ってる。

閑話休題つて、今はダメ！ 私の魔法で援護しなきや！

ふう…。何とか凌いだわね。

で、なに？

私の魔法はどんなものかって？

何でそんな事訊くの？ あなた誰？

あ！ スパイね？

ドカ！ バキ！ えい！

危うく情報が漏れる処だったわ。

でも、なんか見た事がある人ね？

え？ 王様？

し、しーらないと。

最前線、竜、闇話休題（後書き）

剣と魔法とドラゴンの世界、ファンタジーの世界ですねえ。でも、そこに居る人たちにとつては、それは紛れも無い現実でしょう。そして、精一杯に生きているんだろうなあ、そこで闇話休題、なんて言える人はきっと余裕があるんだろうな、それとも、ちょっとずれてる？とにかく、その場に居ても、あまり緊張しないひとだろうなあ、ならば、相対するのは「おっちょこちょい」だよね！うーん。王様、思いつきり蹴られたんでしょうか？ナニカを…。

神隠し、マフィン、毒電波

財団法人神隠しと毒電波公団。

この二つの組織は、古くから対立していた。

誰かが迷子になると、財団法人は公団を責める。
「毒電波で頭がおかしくなつて身を投げたんだ」

公団も負けてはおらず、言い返す。

「そんな事はない、神隠しだ」

そつやつて責め合い、対立してきた。

馬鹿みたいだ。

まあ、おかげで俺たちは楽だけだね。

「おじょりゅぢやん。おこしにマフィンだよ? 欲しいかい?」

ほり、簡単について来る。

俺たちは、ひとをひいだ。

神隠し、マフィン、毒電波（後書き）

毎度の事ですが、訳が分からなくなつた時の苦し紛れの作り方が炸裂しました。財団法人、公団、振興財団、などなど。をくつづけて、適当に登場させて、書きながら想像しました。まあ、今回は神隠し - <誘拐 - <人さらい、で、比較的まとまつたかな?とは思いますけど…。

でも、これは怖いですね…。この人さらい、さらつた人はどうするんでしょうね?ばれてないって事は、身代金の要求とかもしてないんですよね? どつかに奴隸として売り飛ばしてる? それとも、闇の臓器売買ネットワークが…。うー。それはさらに怖いかも…。

騎士、私、女子高生

今、目の前には一枚の紙が置かれていた。

表題は『進路希望調査』

そう、今は女子高生だけど、それも三月まで。

周囲は、当然進学すると考えている様だ。

自分で言つのも憚られるが、私は成績優秀なのだ。

けど、ここはやはり素直な希望を書きたかった。なので

『聖騎士』
と書いた。

後日。 案の定、担任に呼び出された。

「期待してるんだ！ 頼む！」

そう言いながら、先生は一枚の紙を差し出した。

『黒魔術大学入学願』

うーん。 どうしよう？

騎士、私、女子高生（後書き）

ツイッタの診断メー カ h t t p : / / s h i n d a n m a k e r .
c o m / 2 1 5 9 3 で「 e l w i n g _ g r a y 最新刊『騎士と私
と女子高生』好評発売中」と出たのを頂きました。うーん。これじ
や、好評発売中にはなりそうにありませんねえ…。

畳、車線変更、ストップ

君は車線変更の正しいやり方を知っているかい？
もちろん、知ってるよね？ じゃ、やってみて。

そうそう。

まずはバックミラーで後ろを確認するんだね。

そして、次。

ワインカーを出して、周囲に知らせる。
いいぞ。

それから？

うん。 その通りだ！

顔を向け、車線が空いてることを、直接確認するんだ。

さあ、最後の仕上げだ。

おっとストップ！

ハンドルはまだ早い。

次は畳だ。 畠を忘れたら台無しだ。

畠の上に手を付いて「お邪魔します」だ。

畠、車線変更、ストップ（後書き）

畠がどうしても思いつかなくて……。畠の上に車線を引くとか、色々妙な事を考えました。結局は訳の分からぬ登場となりましたけど……。一体どこにあつたんだでしょうね？畠。

マフラー、大雨、緑茶

最近は涼しいね。

これまでは冷えた水出しの緑茶が美味しかったけど、もう、そろそろ湯飲みで熱々の新茶をいただきたい。そんな気分だね。

でも、まだコートやマフラーまではいらないかな？

あ、出掛けれるの？
待つてよ。一緒に行くよ。
どこに行くの？

ああ…。

ごめんね…。

君の瞳から零れる涙の大雨を止める事も、ぬぐつてあげる事も…。
抱きしめる事も出来ない。

もう僕は、僕の墓前で泣き崩れる君を、ただ見守る事しか出来ない
んだ…。

マフラー、大雨、緑茶（後書き）

これまた幽霊ネタですね。きっと、珍しく多くを語る必要はないかな？って感じです。でも、大雨がちょっと不自然でしたね…。

筆箱、変態、アンフェア

今、この町は久しぶりに開催されるタイトル戦を前に沸き立つていた。

もちろん、争われているタイトルは変態王座だ。

馬鹿じやないかって？

だが、この町では変態じやが聖なる存在であり、英雄だ。

優勝の賞品がまたふるつてい。

なんと、筆箱一年分だ。

意味がわからなって？ 気にしたら負けだ、ビットセセリ誰も気にしない。

種目は色々だ。

が、キングオブ変態は、やはりにらめつじやだ。

私の顔が面白すぎてアンフェア？

双子の癖に何をいつ！

筆箱、変態、アンフェア（後書き）

筆箱が困りました。もう、だから、気にしたら負けだ！って事で…。これはもう、開き直りですね…。そして、また（？）使ってしました。双子…。

調教、単刀直入、両手

「あら、田眩がしそうだつた。

「ああ、あなた。 私に調教してほしい？」

怪しい格好の妻が、妙なシナを作っていた。

「お、おまえ！ その格好はなんだ！」

妻は両手で私を抱きしめた。

「あら、体は単刀直入ねえ」

そ、それは日本語として間違つてゐる……いやそうじやなくて……。

ここは冷静に……。

きつといつもの事だ。

なら……。

「で、今度は何だ？」

「えへ」

妻が指差す先に、バラバラのホワイトジグソー。あと少しだったのに……。

ああ、田眩がする……。

調教、单刀直入、両手（後書き）

これは困り果てました。で、調教を最初に使つたら、何故だか、こんな方面に…。書いててチヨー恥ずかしかつたです。それにしてもオトボケの奥様ですね？ それにしても、体が单刀直入…。一体何の事でしょうねえ？ んー、何にしても、もう訳分からないうから、とりあえず書きながら考えよう、なんて言って、でも考へないで書くとこんな事に…。

たまゆら、windows、ストレッチャー

「たまゆらって知ってる?」
「知らないけど、調べられるよ」
「windowsなら判るの?」
「携帯でもOKだよ? 検索するだけだから
で、ちょいとぐぐると...」
「うーん。ドラマのタイトルみたいだね、でも、どうして?」

その時サイレンが聞こえ、見ると、口から泡を吹いた変な格好の
人が、ストレッチャーで運ばれて行つた。
「あの人、たまゆら友の会の人...」

ため息をつき、コメントした。
「何か知らないけど、止めるべきだろ?」

ちょっと抜けた、というか人が好い感じの彼女が、たまゆら友の会、
とこうのに誘われて、で、ふと、そういうえば『たまゆら』って何?
って思いました。なんてつもりでした。まあ、その会が怪しげな会、
というのは、そうしないと話が進まなかつたからです。たまゆら、
つてむかーしのZEXのドラマのタイトルみたいですね。それ以外
はぐくつても出てこなくて、何だかちょっと訳が分かりませんでし
た。

石けん、援助交際、羊

「僕と援助交際して下さーい！」

頭を抱えながら、とりあえず確認する。

「え…と、援助するのは私？ それとも君？」

そもそも、今、デートのつもりだったけど、違うのだろうか？

「あ！ 両方です！」

「僕の牧場の羊売るために、あなたの会社の石けんを使って洗うんです。そして、きれいな羊を売ったお金を山分けするんです！」

彼の頭の中は未だに理解しきれないけど、でも、好きなんだから仕方ない。

「じゃ、その後は政略結婚かしら？」

石けん、援助交際、羊（後書き）

これは、援助交際をどうしようかなあ、でプロットは特に思いつかなかつたので、とりあえず、真っ直ぐに援助交際を申し込むとぼけた彼を設定して、もう後は好き放題にキャラに走つてもらいました。まあ、私の中のキャラは基本的にのんびりさんで、ほのぼのキャラなんで、こんな感じのお話になりました。

オレンジジュース、寺、鳥

「よし！」

遂に手に入れた。

この液体。色も味もオレンジジュースだ。

けど、実は超強力惚れ薬で「あなたを256倍好きになります。

(当社比)」だ。

僕はこの寺の住職だけど、普通の男なんだ。女の子と仲良くしたい。

使い方は簡単だ。目の前で飲んでもらえればいい。飲めば、最初に見たものを256倍好きになる。

結構おいしいんだよ？ ゴクゴク。ほらね？
ん、鳥だ。 すずめか？

「すずめ、ラブ！」

え！ 人間以外でも有効とは聞いてない！

オレンジジュース、寺、鳥（後書き）

オレンジジュース。どうしようかと…。それに寺って？　でも、惚れ薬つしてした時点で、自分でもオチが透けて見えてしました…。せめて、途中のテンポで！と思つて、256倍とか当社比とかをかけてはみましたが…。むー。

節分、ギフト券、除夜の鐘

この街の節分はお祭りだ。

もちろん、豆まきもするけれど、一番盛り上るのは、豆飛ばしだ。
これは、もう大人気の競技だ。

そして、優勝者にはプレゼントが！

ほら、今年も始まつた。

みんなで鼻の穴に豆をつめて、鼻息で飛ばすんだ。
バカバカしいって？ 当然だ！ バカバカしい方が盛り上がるし、
楽しいじゃないか。

なんと今年は僕が優勝だ。 賞品はギフト券だ！

ドキドキしながら、封を切つた。

え？ 一家に一台、除夜の鐘セット？

ゴーン！

節分、ギフト券、除夜の鐘（後書き）

節分で除夜の鐘を貰つてもねー。随分先ですよねー。って、そういう問題じゃない気はしますが…。それにしても、除夜の鐘、無茶振りですねー。あはは。

クリオネ、石原軍団、番所

撮影の合間、セットの番所で休んでいた時だつた。

「おまえ、クリオネみたいだな」

幼馴染のあいつに突然言われた。

石原軍団の一員のあいつは正直かつこいい。

「え？」

クリオネって、流氷の天使とか呼ばれて、とってもかわいい感じだ。

思わず、頬が染まりそうになる。

けど、どうしてだらり？　あいつは一ヤーヤしてる。

その時、そつと先輩が教えてくれた。

「クリオネって、ナメクジって意味もあるらしいよ」

ぐ。　帰つたら、お仕置きだ！

クリオネ、石原軍団、番所（後書き）

えー。私としては、非常にありがとうございます…、はい。この二人、幼馴染のカップルで結婚してるという設定です。けど、番所つて…。うーん。適当に使っちゃえ、と適当にお茶を濁しました…。

ヘッドフォン、絶壁、礼拝堂

俺は、伝説のヘッドフォンを探している。

それは極上の調べを奏でると言つ。　ぜひ欲しかった。

最近、この山奥の礼拝堂に伝説のヘッドフォンがある、といつ噂を聞いた。

絶壁を上り、川を渡り、噂の礼拝堂にたどり着いた。

中に入ると、いきなり神様が現れ、期待が膨らんだ。だが、現実は厳しい。

「金のヘッドフォンと、銀のヘッドフォンと、ダイヤのヘッドフォン。おまえの欲しいのはどれだね？」

ハズレだ。 そんなものなら持っている。

ヘッドフォン、絶壁、礼拝堂（後書き）

とても苦し紛れな感じです。この人、ヘッドフォンマニア（って何それ？って感じですけど…）でしょうかね？ それにしても、金、銀、ダイヤのヘッドフォンを既に持っているなんて、どこで手に入れたのでしょうか？ むー。謎だ。

「んー。 秋だね~」

「当たり前でしょ。 もう十月よ」

「なんだい？ その言い方にはとげがあるなあ。 何が気に入らないのかな？」

「ふん。 訊かなくとも判るでしょ？」

「会社の活動は独立独歩だし、時には、私用で使っても大丈夫さ」

「だからって、常識は必要よね？」

「でも、これを使わないと、俺たち、遅刻だぜ？」

「だからって…」

「俺も一緒だし、そもそも寝坊したのはお前だぞ」

「う…。 けど、靈柩車で乗りつける花嫁って、ビーよ

えー。はい、その通りです（何が?）。この二人が新郎新婦です。その一人が結婚式の朝に寝坊して、式場まで急いでる。そんな設定です。それにしても、二人とも前日は会社にでも泊まつてんでしょうかねえ？ 忙しそうですね。

音楽室、永代供養、傘

雨が降り出した。 傘、持つてないよ。 惨めだ。
今日もマッチは一箱だって売れなかつたなあ。

シユポツ

火を点けると暖かいなあ……。

あ、暖炉のある暖かい部屋が見える気がする……。

音楽室かなあ、色んな人が楽しそうに楽器を鳴らしてゐるなあ。
いいなあ……。

あ、消えちゃつた。

はあ、こんなに貧乏だと死ぬかな?
もし死んだら、身寄りはないし、永代供養してもうれるかな……。
無理か。

貧乏だし、きっと死なないし。

だつて、僕は貧乏神だから。

音楽室、永代供養、傘（後書き）

マツチ売りの貧乏神です。どんなに寒くとも、どんなに貧乏でも死にません。何と言つても神様ですから。けど、貧乏なのに変わりはありません。ある意味かわいそうですね。けど、最近の永代供養っていうのもちょっと寂しいですね。身寄りに墓を守つてもらえないから、お墓を管理する所にお墓を維持してもらひ、つていう事らしいですか?…。

新撰組、大阪環状線、凱旋門

我々新撰組は、遠足中だ。

遠足と言つても、遊びじゃない。立派な移動訓練だ。

出発は西本願寺の屯所。目的地は凱旋門だ。

あまりに遠方なので移動手段は徒步には限定しないって規則だった。

隊士は全員、意氣揚々と出発したが、全員行方不明だ。

判つてるのは、

近藤隊長と土方副長は、大阪環状線で西郷隆盛と飲み比べの結果、

急性アルコール中毒で入院。

沖田総司は吐血し、やはり入院。

そして、山南敬介は第十三代將軍になっちゃった。

新撰組、大阪環状線、凱旋門（後書き）

なんでこんな話に…。と我ながらびっくりしちゃう。いや、お話になつてないですね…。最後の、分かりますよね？　ええ、篠姫です。全く意味不明ですね…。

夏、キミ、吸血鬼狩

今年の夏休みは大変だった。

せっかくの家族旅行だったのに、楽しむことなんて出来なかつた。
まあ、旅行先での行事を調べてなかつたのがいけないんだけど。

まさか、吸血鬼狩をしてるとは思わなかつたよ。

おかげで、にんにくやら、十字架やらを押し付けられるし…。
死ぬかと思つたよ。

全く、まだあんな事やつてたとは…。

え？ この現代に吸血鬼なんている訳がないだろつて？

キミ、それはどうかな？

僕のこの立派な犬歯はなんだと思う？

夏、キミ、吸血鬼狩（後書き）

このお題は、ツイッタの診断メーカーでもらいました。
elwing_gray 最新刊『夏とキミと吸血鬼狩』重版出来！
って事でしたけど、いやあ、これじゃあ重版どころか、返本殺到！
！って感じですかねえ。

Tバツク、勝負服、不届き

私のとなりに不届き者がいる。

「ちよつと。どこ見てるのよー。」

となりにいるのに、私のことなど少しも見ない。

「あの子の服。すごいなあ」

私だつて、今日は飛び切りの勝負服なのに……。

「もう！ 帰る！」

そう言って立ち上がると、慌てた様に私を引き止める。

「え。どうして？」

「他の子ばっか見て！ Tバツクにでもすれば良かったの？」

けど、次の一言で彼を引っ叩きながらも、真っ赤になってしまつた。

「おまえは服なんか無くても綺麗だ」

Tバック、勝負服、不届き（後書き）

「こ、これは、ねえ？ いくら見とれるのが服だけでも、きちんと彼女を見てあげなきゃねえ？せっかくのトートで、他の子を見てたらダメですね！ 彼氏失格ですね！」

お題、プレイティア、田中

ある日の、田中とのプロトコール会議でだった。
「次のお題、何にする?」

「懐かしのゲーム機。 なんてどうだ?」

「ファミコンか?」

「それも良いくけど、もっとマニアックなのがいいやさしいやつだ。」

「PC-FXか?」

「甘いな、それ、随分メジャーだぞ?」

「じゃ、なんだよ」

「プレイティアだ!」

「それ持つてたぜ」

「俺も」「僕も」「私も」

「あれ、意外とメジャーなんだ?」

「じゃダメだ」

全員がマニアだつて事には、誰も気が付かない様だ。

お題、プレイティア、田中（後書き）

プレイティアってお題をみた時は一瞬田が点になりました。「え？ 何それ？」って…。また、訳の判らない固有名詞を…。当然ぐぐりました。そして、見つけました。バンダイが出したゲーム機みたいですね。あまりメジャーにはなれなかつた様です。 それにしても、お題に『お題』ってどう言つこと?なんてのもありましたけど、今回はどう書き始めればいいのかが思いつかずに、随分と時間がかかりました…。

内需拡大、四阿（あずまや）、汽車

この庭園は、休日には家族連れが多数訪れる、憩いの場所だ。芝生の丘で子供たちが遊ぶ姿は、心を和ませるものがある。

そんな家族連れ相手のお店が繁盛してる。
小さな内需拡大って感じかな。

で、実は、林の向こうの四阿が、一部で大人気だ。

そこから見えるローカル鉄道は、全国でも珍しい汽車が走るんだ。

そう、鉄道マニアが見逃す訳がない。

だから昔はフィルムもよく売れた。

けど、今はさっぱりだ。

だって、みんなデジカメだもの。

内需拡大、四阿（あずまや）、汽車（後書き）

四阿、『あずまや』だそうです。妙に難しいっていつか、普段見ない字だなあ、と思いました。これもぐぐつて読みを調べました…。汽車と四阿は、割とすぐに絡め方を思いつきましたけど、内需拡大がねえ…。ちょっと苦し紛れですねえ。

お話をしても、オチが弱い気がするし…。むー。

赤道、ロシアンティー、義母

ロシアンティーと言えば、熱々の紅茶にジャムを落としたもの。生まれてこれまで、ずっとそう思つてきた。

けど先日、夫の母親を訪ねた時
「ロシアンティーでも…」

そう言つて義母が入れてくれた紅茶はレモンティーだった。

私の頭はハテナマークで一杯だった。
夫に聞いたところ、英國ではレモンティーもロシアンティーと言つらしい。

「へえ」

と、感心したけど、やっぱりアイスティーよね？

私たちは今、赤道直下の南国に赴任していた。

赤道、ロシアンティー、義母（後書き）

ロシアンティー、ロシアではジャムを落とさずには、ジャムをなめながら紅茶を飲む、というのが正しいのです。で、英國ではレモンティーもロシアンティーと言つらしこです。当然、全部ぐべつた結果です。うーん。勉強になりました。

少女、魔王、哲学講座

今、魔王となる為の哲学講座が開催されている。
講師は当然、現役魔王だ。

「生贊は少女、中でも美少女が望ましい」
その言葉に一人の少女が質問する。

「なぜ少女なのですか？」

「昔からそう決まっておる」

「それは理由になりません。私は、なぜ少女が有効なのか、その
理由が知りたいのです」

魔王は忌々しげに少女を睨み付けたが、少女は折れなかつた。

やがて深々とため息を突き、魔王は言った。

「だって、その方が気分が乗るじゃん」

少女、魔王、哲学講座（後書き）

elwin—oray最新刊『少女と魔王と哲学講座』重版出来
！　はい。これも診断メーカーから頂いた御代です。哲学、魔王の哲
学か、少女の哲学か…。少女の哲学つていうのもありかな、と思
ましたけど、魔王の哲学にしました。結局、魔王の趣味、といふこ
とで…。（哲学じゃないじゃん！）

旅行、キャベツ、ラブコメ

「トン

と音がして、原稿がポストの中に落ちた。

何の原稿かつて？ 「ラブコメ大賞」に応募する僕の小説だ。

一等は、なんと北海道旅行だ。

いやいや、旅行に目が眩んだ訳じゃない。

小説の内容は、少し抜けてる先輩が出会いアドタバタに、一緒に巻き込まれる後輩。

ラブコメの王道だ。

書きたかったんだ…、先輩に見てもうつ為に。

結果は努力賞で商品はキャベツ一年分だった。

けど、先輩は大賞を取った。

タイトルは「抜けてる後輩」だった。

旅行、キャベツ、ラブコメ（後書き）

自分と先輩のことをモデルに小説を書いて投稿した彼。ラブコメの王道パターンで、なんとか努力賞をもらいます。（そんな章あるのかなあ？）けど、その大賞をとったのは、なんと先輩で、先輩視点での自分との関係のことだつたって事です。えー、はい、そのトオリです。私の王道パターンです。えっへん！

それにもしても、使い道に困ったキャベツはまた賞品に化けました。一年分のキャベツって一体どうことじょうひ？

パン、白熊、雪見大福

雪の降る平原の真ん中で、真っ白な何かが蠢いている。

恐る恐る近付いてみると、なんとそれは白熊だった。

「やあ、白熊さん。何してるんだい？」

「ん？ デザートさ」

そう言い、手を差し出した。それは雪見大福の様だった。

「雪見大福？ そつちのは？」

「蒸しパンさ」

「真っ白で判らないよ」

「ははは」

ふと、妙な盛り上がりが気になつた。

「それは？」

白熊さんが二タリと笑い、雪を払つた。

「君のお父さんだよ」

それは白骨死体だった。

パン、白熊、雪見大福（後書き）

これはホラー？ちょっと違うよつな、でも珍しい動物ものですね。白熊さん、お父さんを食べたデザートに雪見大福と蒸しパンを食べてたんですね。うわあ怖い。このあと、彼はどうなったんでしょうねえ……。

罵倒、ハグ、カチューシャ

「私、カチューシャが欲しいな」

「判つた」

それは昨日のことだった。

思えばその時、彼の目は妙に輝いていた。

「お待たせ」

思いつきりハグされながら、彼が乗ってきた、無骨なトラックを呆然と見ていた。

「君がこれを欲しがるなんて、僕は嬉しいよ」

「こ、これは、なに?」

恐る恐る訊き返した。

「なにして、カチューシャだよ? 自走式多連装ロケット砲

もはや、武器マニアの彼を罵倒する気力も失い、私自身のうかつさを呪つていた。

罵倒、ハグ、カチューシャ（後書き）

カチューシャってヘアバンドだよね。と思いながらも、念のため、とぐぐつてみたら、「へ？」って感じでした。最初に出てきたのが、「自走式多連装ロケットランチャー」でした。どうやら、ロシア軍の兵器の通称の様です。で、よーし、ヘアバンドとロケット砲でお話にならないかな（どんなん？）と思って、まあ、一人の勘違いってお話だよね、と思いながら書きました。ハグと罵倒がちょっと変な感じかな…。

城、こぶ茶、アングル

「うん。いいねえ、その表情いただき」
そんなことを言いながら、カメラマンがシャッターを切る。

早く終わりたいが空氣は読まねばならない。
「このアングル、何枚か欲しいな。湯飲み、もう少し上に
無言で頷きながら、湯飲みを口にあてた。

全く、この惑星の住人は奇妙なことを考えるものだ。
こぶ茶のCM撮影にお城の天守閣、その屋根を使うなんて…。

だが、眺めは良い。それに達成感は癖になる。

そう。この惑星の夜明けは美しい。

城、じぶ茶、アングル（後書き）

はい。そうです。どうしてこうなったのか？　よく覚えてませんが、宇宙人ジョーンズです。最初は、モデルは女性のつもりで書き始めたのですが、気が付いたらジョーンズさんになつてました…。なぞだ…。で、自棄になつてCMに出てきた台詞を何箇所かにちりばめました。

口笛、入浴、長門

「ヒュー。あの子可愛いじゃん」

口笛を吹き、悪友が歓声を上げた。

「ふうん」

またか、そう思いながら適当に相槌を打つ。
俺は長門ファンクラブ会長だ。他の女に興味などない。

奴の言葉を受け流して空を見上げ、長門を思った。

が、突然、聞き捨てならないことを言った。

「入浴用の長門が好きだったな」

「実は硬いのに、あの曲線がいいよな」

きょ、きょくせん！？ 思いきり奴を睨み付け…。

「日本帝国海軍 戦艦長門」

そのまま脱力した。

口笛、入浴、長門（後書き）

長門つて…。ハルヒかなあ？と思つてぐぐると、トップは戦艦長門でしたけど、やっぱり長門有希がたくさん出てきました。ので、やはり、これは宇宙人長門と戦艦長門だよね、と思つて書き始めました。鉄板としてはメガネなのがも知れませんが、うまく絡める事が出来なかつたので、諦めました…。それにしても『入浴用の長門』って妙な表現ですねえ…。戦艦長門のプラモモデルとかのつもりで書きましたけど、妙すぎる…。

一輪車、カチューシャ、明石焼

今日、このお店のランチは明石焼定食だった。
明石焼定食って何？

そんな疑問もあつたけど、配達係の私には関係ないとthought。

けど、それは間違ひだつた。

この店には無茶なルールがあつた。

「明石焼定食の出前は一輪車」

やつと出前から戻ると…。

「四食以上なのでカチューシャを付ける」

呆然と、でも言われるがままに出前に行つた。

戻ると幼馴染の店主が私を見ていた。

「今度はなによ」

「俺への出前にはこの指輪を付けて?」

バカね。

一輪車、カチューシャ、明石焼（後書き）

うわ。またカチューシャだ…。これも結構、苦しました。そして、定食にしてしまって、出前の無茶振りルールとして無理矢理使いました。で、落とす方法がわからず、エイヤつといつものネタに…。ちょっとワンパターンになってるかなあ。

俺、君、ややこ日常

「ややこ日常？」

「何それ！似合わない！」

思いつきり言つて、酒を呷る。

「失礼ですね…。俺つて優しくんすよお？」

「そうかもね？けど、誰にでも優しすぎるのは罪よっ。」

「あなたは特別ですよー。」

「ほら、またそんなこと言つて。ホントに君はうまいわね
心臓が跳びはねたのは内緒だ。」

「嘘じやないんすけどねえ…。」

「そんなんに酔つた？奥さんに聞かれたら大変よ？や、帰りまし
よ」

切なさを抑え、想いを振り切る様に立ち上がった。

さあ、次の診断メーカーからのお題は「elwing」gravy最新刊『俺と君とやさしい日常』好評発売中！ <http://shiendamaker.com/21593>」でした。

うーん。これは、今までとはちょっと違った感じのお話ですね？伝えることが出来たでしょうか？　はい、この二人設定としては職場の同僚。私、というか彼女の方が先輩で、後輩の彼とは気の合う仲間。何かの仕事の一筋落と、祝杯を挙げていたけど、彼が意味深なことを言うので、それ以上踏み込むと、自分が戻れなくなる、そういう感じで踏みどまる彼女。この一人、このあとはどうなるのかなあ？　色々なパターンはあるでしょう。

白馬の王子様、紹介、ホームレス

「誰かいいオト」紹介してよ

思わず愚痴がこぼれた。

別に高望みをするつもりはないけど。
一緒に居て楽しい、そして私をこの現状から救い出してくれる。
そんな彼氏が欲しかった。

「何言つてるのよ、あんたそんな暇ないでしょ？」
となりの子がさもつまらなそうに言い返した。

「別に白馬の王子様を期待してる訳じゃないけどねえ」

「はいはい。いいから手を止めない」

「私たちちはホームレスで、今はダンボールの家を作ってる最中だつ
た。」

白馬のHIM様、紹介、ホームレス（後書き）

ホームレスの女の子たちでした。そろそろ寒いですねえ。昔は新宿駅の地下道なんかにけつこうたくさんダンボールのおうちが並んでましたけど…。ダンボールの継ぎ目にはちゃんとダンボールの切れ端は新聞紙をつめておかないと、風が通つて寒いんですよ！

てんこ盛り、私、瞑想

バシッ

また打たれてしまった。けど、仕方がない。
別に喜んでる訳じゃないけど…、

いや、やっぱり喜んでるのかな?
でも、マゾな訳じゃないよ?

どうしてって、今、私の頭の中はアイディアがてんこ盛りだった
から…。

もう、全然瞑想できない…。

なぜ?

何にも思い付かないから、一旦頭を空にして、新たな気持ちでア
イディアを練ろう。

そう思つたのに、座禅を始めた途端、次から次へとネタが浮かん
てきて、ちつとも頭が空にならない…。

てんこ盛り、私、瞑想（後書き）

ネタに詰まつて、ちょっとリセッタじよつ、そう考えての座禅だつたのに…。その途端に次から次へと…。ああ、メモりたいけどメモできない…。あああ！忘れちゃう！忘れないうちにメモしなきゃ！！！　あああ、嬉しいけど悲しいよお！
まあ、座禅じゃなくても、みなさん、そんなことがありますん？？

おじやかわせ、五田井、茶封筒

茶封筒を十個作ると五田玉を一つもらえる。

その程度のバイトだけど、でも、私にはそれしかなかった。

わざわざギリギリの家計をどうにか支えていた。

そのとき、玄関から呼び声がした。

「ごめんください」

行つて見ると、そこにおじやかさまが居た。何の用だひつ~.

「あなたの作った茶封筒がコンテストで優勝しました」

「え？ 封筒が？」

「茶封筒に書かれた一百文字小説がつけたんですね」

え、じゃ、私が封筒に入れた長編ロマンは…。

ねじゅかわせ、五田山、茶封筒（後書き）

うーん。おしゃかさまが意味不明です……。また作家ネタですね……。
しかもかなりグダグダです。茶封筒貼りの内職をしながら、小説を
書いて投稿した彼女。けど、投稿作は落選し、おまけで書いた二百
文字が賞を……。うーん。人生何があるか判らない！（え？そんな話
じゃない？っていうか、これはお詫になってる？）

折れた剣、乾杯、三顧の礼

「まず乾杯から」

そう言い僕らは盃を合わせた。

「で、何を企んでる?」

「この国を変えるんだ」

「ふん、やはりな。だが前回の結果は、あれだぞ?」

前回、英雄が使っていたが敗れ、折れた剣を指差した。

「あの時は策が足りなかつた。だから今度は軍師を招いた」

「誰か来てくれるのか?」

「三顧の礼では無理だつたが、最後には承服してくれた。それが

彼だ」

「ケロロ軍曹であります!」

僕は眩暈を感じながら言った。

「帰つていいか?」

折れた剣、乾杯、三顧の礼（後書き）

ペコポン星を侵略するために、今日も軍曹はがんばっています！（
かな？）ガンプラを作りながら、日々しょーもない策を練つていま
す。（しょーもない、じゃダメですね…）
うー。これはこれでグダグダですねー。意外に難しい…。

裸眼、トリアージ、ハンバーガー

私は目の前のことが判らなかつた。

つい一時間前まで、一緒に笑顔でハンバーガーを食べていたのに。
…。

けど、無理していたのか、彼は貧血で倒れ病院に運び込まれた。

付けられたトリアージ・タグは黒色。

近視が酷く、裸眼でタグの文字は読めないけど、既に死んでるつ
てことだ。

訳が判らなくて涙も出なかつた。

けど、彼は突然起き上がつた。

「あなた…。死んだんじゃなかつたの！」
「俺、ゾンビだから」

嬉しくて、涙が止まらなかつた。

裸眼、トリアージ、ハンバーガー（後書き）

うーん。ちょっと気が引けたんですけど、モンスター・カッブルにしてしまいました（推敲で消えちゃったけど、彼女の正体は吸血鬼です）最初はタグは黄色か緑色で、命に危険はない、って判定なのに死んじゃった。医療ミス、って展開を考えたりもしたんですけど、物語としてのオチがつかなくて、諦めました。

もうちょっとと長編にすれば、そんな展開も可能かなあ、とも思いましたけど、やはり、こんな半端な長さで人の死を扱うのはやはり躊躇われて、えい、っと死んでるけど死んでない、ってことでゾンビのお話にしてしました。うは！スプラッタ！？な展開にはなつてませんけど…。

H・ツチ、土下座、福沢諭吉

待ち合わせの間、俺は妄想に耽っていた。

「H・ツチな」と考えてたでしょ」

気が付くと彼女がいた。今、妄想の中で俺は彼女に…。そんな俺は土下座するしかなかつた。

「「めん！ 考えてたつていうか、妄想してたつていうか…」「なにそれ」

「今日は何でも奢るよー。な？ ほら、福沢諭吉がこんなに…」「調子いいんだから」

俺は必死で話題を変えようとした。

「な、どこ行く？」

けど、彼女は悪戯っぽい笑みで言った。
「で、妄想だけなの？」

エッチ、土下座、福沢諭吉（後書き）

あはあは。『エッチ』…。なんてストレートなお題なんでしょう？
土下座は割と素直に出ましたけど、福沢諭吉はどうしようか悩みました。『天はエッチの前に人を造らず、エッチの後に人を造る』ナンチャツテ。うは。こんなこと書くのって照れるなあ…。でも、この『天は人の上に…』って言葉、別に福沢諭吉の言葉じゃなさそうですね。福沢諭吉は単に引用したみたいですね。それにしても、このあと、この二人はどうしたんでしょうねえ…。彼、彼女を見てゴクンなんて生睡を飲み込んだら、ぜーつたに「あー。やつぱりエッチだー」って突っ込まれますね。もう決まりです。

橋、コンクリート、アーチ、おたまじやくへ

「コンクリートジャングルを離れ、山間の町に越した。

家の近くの水路ではおたまじやくしが泳いでいた。
少し歩くと、葉が濃い緑の、小やかの木があった。

「これな?」

「橋だな。ミカンの親戚だよ」

「食べられる?」

「マーマーレードにするのがいいかな?」

「私作る。」

「ママ、ママ

「よし、ママのお見舞いにいかつか
この町なら療養には最適のはずだ。
この子の為にも負ける訳にはいかない。」

「うん。」
顔を上げて、歩き始めた。

橋、コンクリート、おたまじゅく（後書き）

うーん。これ、イメージは『となりのトトロ』です。状況設定とかまるつきり違うかもしれませんけど、そのイメージでお題にそつて書いたつもりです。あのお母さん、どんな病気なのかな…。お父さん、必死に頑張ってるけど、奥さんが入院中っていうのは、辛いよね…。ああ、頑張れ！みんなも待ってるんだから、必ず帰ってきてね！

戦争、スキンヘッド、あかお

「戦争は起^レじしちゃ いけない」

あかおにがやつ言い ます。

「軍備が弱いと自分を守れないぞ?」

スキンヘッドはやつ謹きんきます。

「話しあえば良いのです」

「話しても判らな^レいときは?」

「それでも話すんです」

「話が通じなくとも?」

「誠意を持つて話せば、必ず通じます」

ぬりひょんは、訳が判らないので謹いてみました。

「戦争は起きますか?」

「戦争は絶対に起^レじしちゃ いけない」

あかおにもスキンヘッドも、虹をそろえて叫びました。

結局、みんな戦争なんてしたいとは思つて無いけれど、でも、それをどうやって実現するのか、になると意見が食い違うのかな？ 理想は大事、でも理想だけを見ると、現実を乗り切れないかな、だからって、現実への対処ばかりを優先すると泥沼に…。 理想をしつかりと見つめて現実への対処をしつかりと考えるつてことでしょうか？ まあ、言つは易し、ですけどね。

その昔（どのくらい昔かは忘れました）何かのテレビで、アメリカ軍の人がインタビューに答えて言つた言葉で「戦争は起こしちゃいけない。 だが、もし起きたら負けてはいけない」 って言うのがありました。 この言葉の前半と後半のバランスが重要なのかな、なんて思いました。

ラッキー、判決、公園

グラブを持つと、ダッシュで公園に向かった。
「ラッキー！ 一番乗り！」

あの頃は、毎日草野球だった。あれから何年経つのだろ？。

今、僕はその公園を取り壊してマンションを建てようとしている。

周辺住民は「やめて反対で、裁判になつた。

判決は住民の敗訴で、かつての草野球仲間にも罵られた。

だが、僕には計画があった。

今日、社内でやつと認可された僕の計画を披露するときが来た。

「1Fは初の草野球用ドームです。そして…」

ラッキー、判決、公園（後書き）

現実としてはどうなのか、そもそも日照権とかもあるんじや？ 救われるのは草野球だけ？ なんてことも考えましたけど、まあ、こんな発想もありかなあ、なんて無責任に思いました。1Fは高さ10メートルくらいの草野球用ドーム！ 初の全天候型草野球場！ グランドはもちろん、芝なんかじゃありません。フツーの地面です。毎日だれかがダイヤモンドをその辺の棒切れで描くんです。ああ、妄想は爆発するけれど、実現性は……。あははは。すんごい無茶振り。

Twitter、マペックト、古事記

「古事記にも僕たちは登場してるんだよ」

「え？ カエルクン、どういうこと？」

「つまりヤマタノオロチはウシクンで、僕が君を酒で酔わせて退治して、ステーキにして食べたってお話なんだよ」

「え、うそ！ でも、昔のことだし…」

「実はパペツトマペツトのHODを使って、Twitterで呟いたんだ」

「なにを？」

「ウシクンとでも美味なう

「うそ」

「すっごくたくさんの人に行き口一されてるよ」

「だから、カンバイ！」

「やだー！」

Twitter、マペット、古事記（後書き）

パペシトマペシト、懐かしいですよねえ。カルルって、まあ、肉食ではあるのかなあ？気の弱いウシクンは、いつも苛められてましたね。

護送、mixiアプリ、明日

「おまえ、プログラム作れるよな?」

もう、記憶の彼方だつた同級生からだつた。

「mixiアプリを作る人間を探して。 明日、話そう」

待合場所を指定し電話は切れた。

翌日会つたとき、奴は「mixiで人探しを手伝つて欲しい」 そ
う言った。

「検査だらうか?

そのまま護送され、とある一室に行つた。

次々と特徴があげられた。

「可愛いのがいい

「年上も好い

「検査じゃないのか?」

奴は泣きそうな顔で言つた。

「彼女が欲しいんだ」

謹送、mixiアプリ、明日（後書き）

mixiアプリってなんでしょう。ゼンゼン知らないけど、とにかくネットのmixiの関係でプログラムに違いない！ネットで検索、でどうだろう、と思って書き始めました。けど、普通の検索ではオチがつかなかつたので、個人的なことになつてしましました。

傘、牧場、神様

ここは神様牧場、様々な神様を育てている。
今日は雨の神様の出荷試験だ。

「おはよづ、調子はどうだい？」

「ぱつちりです」

この神様とは仲良しだった。 傘が必要かな？

試験は雨を「ノントロールすることだ。
まあ、彼は申し分なく合格だった。

「合格だ」

「やつた！」

突然、大雨が降りかかった。 が、僕は傘をさしていた。

「悪戯はいけないな」

「えへへ」

やんちゃな神様を小突いた。

「いつもお別れか…。」

そう考えると、少し寂しかった。

傘、牧場、神様（後書き）

神様牧場つて一体…。それは神様を育てて、必要とする盆地に送り出すんです！　毛を刈ったり、乳絞りをする訳ではありません！（きつとね…）　牧場で育った神様は、一定の年齢を超えると、テストをして、合格したら各地に旅立ちます。合格の時がお別れのときです。ちょっとやんちゃで、元気な雨の神様の誕生を喜びながらも、ちょっと寂しさを覚える彼でした。

なんぢやつて、これは設定がソートーふつとんですね。

女の子、命日、パート・シユクレ

今年もお祖父さんの命日が巡ってきた。

お祖父さんが死んだとき、私はほんの小さな女の子だったから覚えてないのだけど。

お祭り騒ぎが大好きだったお祖父さんの遺言で、命日はタルトのぶつけ合いで。

それも、丁寧に焼き上げた自家製のパート・シユクレを使うタルトだ。

彼に話したとき、「なんて勿体無いことをするんだ」そう言っていた。

けど、今年は彼の顔面にタルトをぶつけることに決めた。

それが我が家伝統的な求婚方法だから。

女の子、命日、パート・シュクレ（後書き）

これ、まずパート・シュクレってなに？から始まりました。例によつてぐぐつたところ、タルトなどの生地のこと、と分かりました。そこで、なぜか思いついたのはパイ投げでした。で、タルト投げという意味不明の展開です。でも、なんと言つても、この家のタルト投げはぶつけ合いで（愛）ですから！－ナンチャッテ－。

温泉、イアリング、サイレン

私は冒険が大好きだ。どんなことでも怯まない。

そんな私が彼と出会ったのは、とある温泉だった。私たちは部族が違つたけど、すぐに感じあつた。間もなく、私たちは結婚を決めた。

挙式の日、私たちの結婚を祝う音楽は騒がしく、まるでサイレンの様だった。

結婚の証にと、イアリングをもらつた。
いえ、イアリングだと思つた…。

けど、耳に付けようとしたら、皆が首を振つた。

皆は鼻に付けると言ひ。

Jの冒険は好きになれるだろつか?

温泉、アーリング、サイレン（後書き）

うー。サイレンがイマイチかな。部族が違つと、慣習とか美的感覚とか、違いますよね。彼女はその違いを乗り越える事ができるでしょうか??

貝塚、天氣雨、合わせ鏡

貝塚から、また鏡が発掘された。

「前回の鏡と似てますね？」

「ああ」

「セットなんでしょうか？」

「とすると、合わせ鏡をしたら何かが起きそうですね？」

「典型的なパターンだと、突然天氣雨が降り始め、風が吹き、悪魔
が出現するんだ」

「あはは。まさか！」

「じゃ、やつてみるか？」

「え……。でも、興味はありますね」

「じゃ……」

で、恐る恐る鏡を合わせると……。

ドンッ　ヒ音がし、紙吹雪が舞つた。

セイヒには『はづれ』と書かれていた。

貝塚、天氣雨、合わせ鏡（後書き）

合わせ鏡をすると、色々な事が起きますよね。そして、大抵はよくないことがありますよね？でも、たまにはハズレがあつてもいいかな。なんて…。

リコール、遺影、流行

「あ、リコールになつてる！」

「なにが？」

「ほら、前にうちで乗つてたあのスポーツカー」

「ふーん。 大変そうねえ」

「そうだな。 あの車、大流行したもんな」

「何がリコールになつたの？」

「ブレー キだよ。 ほら、場合によつて止まらないうことがあるつて

「あら、怖いわねえ」

「そうだよなー。 僕も危うく遺影になるところだつたよ

「何言つてるのよ？ あなたは関係ないでしょ？」

「なんでだよ」

「あなた、ブレー キ踏まないじゃない」

リコール、遺影、流行（後書き）

最初は、リコールが出る前に、その不具合が原因の事故で死んでしまった、ってことにしてよしかと思ったんですが、それじゃオチがかなかつたので、少し変えました。ブレーク、踏まなきや、ダメですよね！

秘密基地、台風の目、校内暴力

僕らは校内では有名な問題クラスだった。授業なんて誰も出ない、校内暴力は当たり前。けど、あるきっかけで一つにまとった。

田標は『今年は台風の目で優勝する』だ。

「行くぞ」

「おお」

そんな風に声を掛け合つと、みんなで秘密基地に移動する。ちょっと大きさだけど、他のクラスに練習の秘密を漏らしたくな
い。

え？ そもそものきっかけは何かって？

となりのクラスの女子が言つてたんだ。
「台風の目、速いのかッコいいよね」つて。

秘密基地、台風の目、校内暴力（後書き）

頑張るためにには目標、そして理由が必要ですよね？ 理由つて、つまらないと言われるようなことの方が本人にとつては大事だつたりするかな、なんて。

葡萄、パフェ、鞄

「うーん。 美味！ やっぱりパフェはいいわね！」

私はパフェが大好き。 もう、一日三食、全部パフェにしたい。
そして、もう一つ好きなものが葡萄。

けど、ナゼか葡萄のパフェはない。 それはずっと不満だった。

なので、私は極秘計画を練り上げた。

まず、喫茶店でバイトを始めた。

周囲を窺うと鞄から葡萄を取り出し、パフェに乗せた。

「完璧！」

けど、重大な見落としがあった。

「お待たせいたしました」

しまった！ 私自身は食べられない！

葡萄、パフェ、鞄（後書き）

彼女は自分で葡萄パフェを食べたかったのに。なんて間抜けな
極秘計画でしょう。それにしてもパフェと言えばイチゴ？ 葡萄
つてみないですよね？

瓦、植民地、沈丁花

この国は侵略され、植民地となつた。

精一杯抵抗した結果、出来たのがこの廃墟だ。

悔しいが、今、我々には奴らを追い出すだけの力はない。

心を引き裂かれながらも、住み慣れた町を出るところだ。

そんな時、視界の端に何かが映つた。

そこには一枚の瓦。

となりに生えていたのは沈丁花。

ふと思い出した。

「花言葉を知ってるか？」

誰も答えなかつた。誰もが疲れ切つていた……。

「花言葉は、不滅だよ」

皆の瞳に、少し力が戻つた様だつた。

瓦、植民地、沈丁花（後書き）

悔しいけど、地下に潜つて力を蓄えよう、そう誓つての脱出。いざ
れ必ず帰つて来る。その時は、侵略者を追い出すとき。心の力が
萎えそうになつているときつて、占いとか、ジンクスとかを気にし
ますよね。そして、そんなことを心の支えに頑張るのかな？ な
んてね。

チーズ鱈、師走、と

「やつぱつ、柿の種でしょ！」

「そんなことないよ。一番は裂きイカで決まりだね！」

私たちは、またつまらないことで言い争っていた。

つまり、おつまみに一番いいのは何か？　ってことだった。

「チーズ鱈も捨て難いかしらね？」

「あ、それは言えるね。 とするとサラミソーセージもいいねえ」

「師走も終わりって言うのに、私たち何やってるのかしら？」

「まあ、おつまみもいいけど、それと…」

「と？」

「君が居ないと、ね？」

「もう…」

チーズ饅、師走、と（後書き）

ま、まあ、言い争つても仲のいい一人つてことで…。突然の言葉に、
きっと彼女は真っ赤になつたに違いありません。いいなあ。ナンチ
ヤッテ。

ジレンマ、筋肉質、ハーゲンダッツ

今、俺は深く悩んでる。
これ「ハーゲンダッツ」だ。

「さつきからじりじたんだ?」

となりで見ていた友達が、とうとう尋ねてきた。

「彼女のくれたアイス、食べるかどうか考えてる」「ああ……、その筋肉質な体でアイスなんて、かつて懲りもんな

「いや、それはいいけど。アイスは好きだし」

「じゃ、食べれば?」

「でも、一日一個にしてるんだ」

「それで?」

「これハーゲンダッツなんだ」

「美味さうじやん」

「俺は五百円のカッパーがいいんだ!」

ジレンマ、筋肉質、ハーゲンダッツ（後書き）

彼女のくれたアイス、食べたいけど自分の好きなのとちよつと違う。で、食べようかどうか『脂汗を浮かべて悩んでる』なんて、ちよつと変かなあ？ 普通なら「ありがとー」ってこだわり無く食べちゃうですね？

コントクトレンズ、祝杯、命名

パリン…

そんな音が聞こえ、そっと足を上げると、そこには透明な破片があつた。

気が付くと僕の足元には女性がいた。

恐る恐る、その破片の正体を確認した。

「あの…、コントクトレンズ？」

「はい…」

彼女は困り果てていたけど、僕は祝杯を挙げたい気分だった。

だつて、彼女に一目惚れだから。

その後、僕たちは付き合い始めた。

そんな僕が命名されたのはメガネ属性だ。

どうしてって、あの日以来、彼女はずつとメガネだったから。

コンタクトレンズ、祝杯、命名（後書き）

「命名を何にしようかなあ」と悩みました。最初、コンタクトレンズもどうしようか決まりなかつたんですけど、書き出してみたり、いきなり踏みつけて割つてしましました…。

ロシアンティー、水滴、北陸

北陸は冬真っ盛りだ。

先ほど窓枠に付いた水滴はもつ凍つてゐる。 窓の外が猛烈に寒い証拠だ。

だが、僕の心は暖かな幸せで満たされている。

どうしてって？ だって、僕は新婚なんだ。

大好きな彼女と二人で、暖かい紅茶を飲むなんて最高に幸せだ。

「どうだ？」

けど出された紅茶を飲んだ瞬間、飛びあがってしまった。

「うわ！ 何これ！」

「うふ。 ロシアンティーじゃなくて、ロシアンルーレットティー
だ？」

この悪戯好きは何とかして欲しい…。

ロシアンティー、水滴、北陸（後書き）

まあ、結局じやれてるだけかも知れません。彼女、どんな紅茶を持ってきたんでしょう？それとも、ロシアンルーレット、というからには、目の前にカップが二つ置かれていて、何気なくとつてしまつたけど、もう一方なら、普通のおいしい紅茶だったのかもしませんね！

ミカエル、情報封鎖、旅籠

今日は、神様がお忍びで街に降りる口だ。
お忍びのはずだが、大抵皆知っている。

神様も少しくらいは気にしない。

さつきサインを求められたミカエル様はアイドル気分で上機嫌だった。

だが、今夜の会合は全く違う。

旅籠を借り切って行われる秘密会合だ。

その内容は超極秘で、徹底的に情報封鎖が行われている。

そこで何が行われてるかって？

それは言えないな…。

それは神様の忘年会で、ぐだぐだのオヤジ集団と化してゐるなんてことは…。

ミカエル、情報封鎖、旅籠（後書き）

神様の年に一度の憂さ晴らしですね。ぐだぐだの酔っ払いと化している神様。でも、酔っ払いの神様って、特にイメージから外れないなあ……。ま、イメージダウンを避けたい神様たちのお話、ということで。

台風の日、メッセージージ、年貢

今、僕たちは重大な対立に陥っていた。

「手向けのメッセージよ」

「何?」

「今のうちに、この台風の日の様な束の間の休息を、せいぜい楽しむがいいわ」

「言つてくれるじゃないか」

「最終的には私の勝ちは揺るがないもの」

「お前こそ今度は年貢の納め時だぜ」

「ふふ。 戯言は勝つてから聞くわ、行くわよ」

「ジャンケン、ポン!」

「うわあ!」

「ほり。じゃ、今日は燃える『』の日よ? 間違えないでね

我が家の『』番は、今日も僕だ。

まあ、休日じゃなければ、ジャンケンするまでもないんでしうけ
ど。休日は、ねえ？

剣士、演目、マルチ商法

僕は剣士だ。だが、生活の為には色々な事をする。

「さあさあ見てらっしゃい。今日の演目は燕返しだよ」
そういう技を披露すると、集まつた群衆から歓声が沸いた。

「この刀なら誰でも出来ますよ」

そう言いながら並べた刀を指差す。

刀に興味を示したら関連商品も売り込むぞ。
マルチ商法だねって？ 違うぞ。

「この刀、幾らだい？」

「ほら、早速お値さんだ。

「この刀セツト、誰かに売れば売り上げの一割を、もう少し…」

ねずみ講もセツトだ。

貧乏なお仕さんは、傘貼りの内職と相場は決まっているのかな？
傘もセットで売つてたりして？ でも、燕返しつてなんだっけ？
といきに出でたけど…。

甲子園、ロリコン、パンジー

僕はロリコンだと言われてる。
でも、実は違うんだ。

確かに小さな女の子がいると、つい見てしまう。
だってさ、やっぱり可愛いでしょ？ そのくらいは判つて欲しい
な。

大体、小さな女の子を見てる人間が全員ロリコンかつていうと、
違うでしょ？

そう。例えば、甲子園を田指す球児が全員爽やかな少年かつて
いうと違うでしょ？
それと一緒にだよ。

僕はロリコンなんかじゃない。

けど、可愛いパンジー模様のスカートを履いてる。

単なる変態だ。

田中園、ロコロン、パンジー（後書き）

パンジー、どうじょりと思いましたけど、パンジー模様のスカート
とこう事にしました。下着にしようかとも思つたんですけど、スカ
ートでいいかあ、その方が見た田にも判りやすいもんね。と思いま
した。

コンビニ、鹿島君、ハンモック

「ふああ…」

思わずあぐびが出た。

あまりに陽気がいい日の午後、食事の後に、意識を保つのは難しい。

それに、ちよつと暇なコンビニの店番なんて、人間なら誰だつて氣絶するに決まってる。

当然、人間である僕は、まるでハンモックに揺られる気分で熟睡中だ。

けど、そんな時にこそやつてくる無料な密つてのもいる。
だからって、田を覚ますのは不可能だけどね。

突然、肩叩きにあつた。

「おまえ、クビ」

密じゃなくて店長だったのか…。

「ハヤシ、鹿島や、ハンモック（後書き）

あはは。居眠りの店番ではクビになるかもせんね。でも、彼
じゃなくても、季節を問わず、お匂い飯のあとは氣絶しますよね？
ね？　……やつだと言つて。

亀、詐欺師、花道

亀と呼ばれて三十年。勤め上げた警察官。地域に密着した警察。その思いを胸に職務に励んできた。派手な立ち回りを演じたことはない。

あれだつて本当に偶然だ。

あの時、あいつは拳動不審だつた。何かおかしいと感じたんだ。だから職務質問をした。

まさか、最近話題の国際的な詐欺師だとは思わなかつた。

いい花道を飾りましたね、同僚にはそう言われる。

だが、そんな花道より、地域に密着した「おまわりさん」だつたことを誇りたい。

交番のおまわりさん、もつと親しまれてもいい存在ですよね。そんな人たちであつてほしい、それはお互いの努力が必要なのかもしれませんね。なんて、ちょっと感傷的になつてるかもしません。でも、日本の交番制度、いいことだと思ってます。

仕草、子守、同級生

高校の同級生と待ち合わせるのは久しぶりだ。

「待った？」

「いや、今来たところ」

髪をかき上げる仕草は変わらない。

「懐かしいわね。ここ」

そう。あの頃もデートで使った場所だ。

「ね、覚えてる？ 約束」

「約束？」

「そ。お互に子供が出来たら、子守するって約束」

「え！ 子供いるのか？」

「いないわ？ じゃ、次の約束は？」

「え…」

その次の約束。それは、十年経つても、どちらも独身の時は…。

その約束は、まだ有効なのだろうか？

十年目シリーズじゃないんですけど、久しぶりに会つた恋人たちです。いきなり、じゃないんでしようけど、また付き合いたい、そう思つたから「あの頃『も』『デー』トで…」です。けど、それにしても、ちょっと子守が強引だつたかなあ？

スプレー、通信簿、鉄筋コンクリート

「はあ

思わず、鉄筋コンクリートの塊の脇でため息を吐いた。目の前の灰色の壁を見ていると悲しくなる。

もう通信簿なんか気にしなくていいはずだった。

なのに、こんなことに点数を付けるなんて思わなかつた。

けど、俺の思いなんか関係無い様だ。

「後はおまえだけだ。早くかけ」

仕方なくスプレー缶を構え、思いつきり壁に吹き付けた。

『海援隊 見参！ 夜露死苦…』

「二十点。 独創性に欠ける、やり直せ」

最近は壁の落書きも大変だ…。

スプレー、通信簿、鉄筋コンクリート（後書き）

道路をぐぐるトンネルの壁、ビルの壁、そんな所にスプレーで落書きをする人たち。自分達の存在を、より美しく、鮮烈にアピールする為に、より優れた落書きを出来る人間だけに落書きを許すことにして、ある若者集団のお話？（あはは、意味不明ですね…）

喀血、選挙、校門

足が重い。

校門を前に、引き返したい衝動に襲われるが、そうもいかない。今日は生徒会の選挙で、僕が会長に立候補してるんだから。けど、どうしてこんな事を始めてしまったのだろう?

止めてしたい。

いつそ結核になつて、喀血でもすれば休めるだろうか?
憂鬱だ…。

その時、となりを歩いていた幼馴染が言った。

「頑張ろうね!」

その笑顔を見ると、何故か気力が湧いてきた。

そうだ。僕が始めたことなんだ。

そう思ふと前を向いた。

何か思うところがあつて、生徒会長に立候補した彼。けど、疲れてしまつた。そんな時、となりで元気よく励ましてくれる存在に改めて気付いた瞬間。きっと一緒に苦労しているはずなのに、まだまだ挫けてない。なら、自分も挫けるわけにはいかない。まだ頑張れるつて感じでしょうか？ なんてね。

トリアージ、婦人科、キムチチゲ

一目見た瞬間、僕は頭を抱えた。

「ほらほら、私のタグは真っ赤よ？」

彼女の付けてるトリアージ・タグは確かに赤かつた。
が、問題は彼女の顔の方がよっぽど真っ赤だつてことだ。

「熱々のキムチチゲで一杯いきましょー！」

「何やつてるんだ！　ここは婦人科で病院だ！」

「いいじゃない。　はい、あーん」

彼女が笑顔でスプーンを差し出した。

う。　この笑顔に弱いんだ…。

けど次の瞬間、僕は飛び上がった。

「あちー！！」

僕は超猫舌だった。

トリアージ、婦人科、キムチチゲ（後書き）

トリアージ、二回目です。どうしようかと思いました。赤色のタグは、すぐに処置しないと命の危険がある、つてことです。（本物ならね）

現実、歯槽膿漏、タイムカプセル

いくら年月が経ったからって、こんなことが現実になるとは考えなかつた。

え？歯槽膿漏かつて？いや、歯茎はしつかりしてゐる。

それにしても耐え難い……。毎日が苦痛だ。

だが、もう少しだ。

もう少しで中学の時に埋めたタイムカプセルが開く。
そうすれば……、あれが出てくれば、俺はきっと救われる。

今、その中身が現れた。

『千年経つても大好きだ』

「ばかね。口で言つてよ」

良かった。妻が苦笑している。
今回の夫婦喧嘩はつらかつた……。

現実、歯槽膿漏、タイムカプセル（後書き）

ねえ、本当なら、こういうことはきちんと口で言つて欲しいですよ
ね？ でも、どつかでボタンを掛け違えてしまうと、元に戻すのつ
て結構苦労しますよね？ きっと脇から見るとバカみたいってこ
とかもしれませんけどね。

コラックマ、チケット、雪女

今週は、近くのコンビニで年末福引セールだ。買い物をするとチケットが貰えて、それでくじを引けるって訳だ。毎年、この福引は楽しみだ。

と、鐘の音がした。誰かが何かを当てる様だ。

「おめでとうございますー リラックマのぬいぐるみですー！」

日焼けセットとか当たらないかな…。ぼんやりとそんなことを思った。

そして僕の番になつた。

突然、一際大きな鐘の音が…。

「特賞ですー 美白セット『雪女』、一年分ですー！」

それ要らない…。

コラックマ、チケット、雪女（後書き）

雪女とリラックマ、どう使うんだろ？。それにチケット？。訳が判らなくなつて、結局、福引の景品にしてしまいました。けどりラックマ、ゆるキャラついてこうござじょうか、可愛いですよね。

圧縮応力、メダカ、ギア

悪友が、また何かを発明した様だった。

「で、何を発明したんだい？」

「圧縮応力を使って、大きなものを小さくするんだ。

いは、このギアで操作する」

「それで？」

「見てくれ、これは何だと思う？」

「メダカじやないのか？」

「実はマグロのさ」

「え？ すごいじやないか！」

本当にすごいと思った。 けど……。

「唯一の欠点は……」

「見た目だけじや無くて、味もメダカなんだ……」

すうすうぎて、結局役に立たないのは相変わらずだ。

圧縮の度合

圧縮応力、メダカ、ギア（後書き）

圧縮応力ってなんだろう？ 良くわからないから、それで大きなもの小さく出来る事しよう！ そう決めました。それにしても、どうして「味」？ 単なる食いしん坊でしょうか？

姉、一番手、関サバ

大晦日、今年も、両親と姉の一家が住む実家に帰省した。

「さあ、ゆっくりしてね。まずはビールでも飲む？」

到着時の言葉はいつも通り。

夕飯には、私の大好きな関サバのお刺身も用意されていた。

「あんた、好きだもんね」

「うん」

夕飯が終わると、今年も子供たちが上目遣いに私たちを見る。

けど、チャンネル争いの一番手は譲れない。

「紅白ね？」と私たち。

「ドラえもん！」と子供たち。

思わず、姉妹の声が揃った。

「あり得ない！」

姉、一番手、関サバ（後書き）

あはは。自分の子供たちとチャンネル争いをする姉妹でした。でも、
大晦日はやっぱり紅白ですよねー？

用心棒、祇園、ソフトバンク

祇園の町では、戦いが繰り広げられている。

「iPhoneならソフトバンク！」

「Skypeが使えるのはau！」

「大画面のはドコモどすえー！」

皆、すごい勢いだ。

用心棒でも雇わないと、中に入るのが怖いくらいだ。

最近はスマートフォンが流行で、最新機種が目白押しした。

「楽にチャット！」

「3Dどすー！」

なんだか、すごいそうだけど…。でも、私がほしいのは
「あの…。どうやって、電話するんでしょう？」

「えー、電話するのー！」

用心棒、祇園、ソフトバンク（後書き）

ねー。最近のスマートフォン、凄いんだけど、ふと電話というか、これまでの携帯にならあつたものをちょっと捨てるかなあ、なんて…。実は、面白がって買ったのはいいんですけど、片手では使えなくて、すぐ困ります…。

幻、欲張り、乗り換え

「今、こちらの契約に乗り換えて頂きますと、大変お得です」「テレビはどうせ地デジに替えるんだし、インターネットだつてすぐ光にする。それに電話をくつつけるだけなんだ。決して欲張りなんかじゃないんだ。

それで終われば、そうだったのだろう。
けど、それじゃ終わらなかつた。

「じゃ、テレビも大きくしなきや、ブルーレイも要るわね、パソコンも…」

欲望は限りなく、私の貯金は幻と消えた。

「しまった！　私の結婚式代がない！」

幻、欲張り、乗り換え（後書き）

合わせるとトクダ！ なんて、必要ないなら、あわせなくてもいい
んですね…。

芝居小屋、桜貝、急ぎ品

芝居小屋で見かけた彼女、桜貝の髪飾りが似合つてゐる。

昨日も居たけど、今日も居る。

芝居が終わつた後、思わず後をつけてしまった。

見つかつたら、どう言い訳する?
けど、止められない。

彼女が急に角を曲がつた。

後を追い、急ぎ呟でその角を曲がつた。

と、目の前で彼女が僕を見詰めてた。観念して謝つた。

「後をつけたりして、ごめん」

けど、頬を染めた彼女の答えは……。

「昨日は、私があなたの後をつけてたの、気が付かなかつた?」

#居小屋、桜貝、急ぎ足（後書き）

うつかりするとストーカですね。でも、気になる人のあとを追いかける程度なら、昔は割と普通のことだった様な気もしますねえ……。嫌がられたら、止めなきやだめですけどね。

バンダナ、俺、おばさん

「趣味悪いんじゃない?」

「そんなこと無いわよ。これ、すぐくいけてるわ」

俺が何を言つても、彼女は自分の意見を曲げようとはしない。

「そのバンダナ、もうちょっと色が濃いほうが落ち着くと思うナビ
な」

「明るい色は元氣があつていいでしょ?」

「そのスカート、ちょっと派手過ぎだよ」

「可愛いでしょ」

ホント、人の言つことなんてまるで聞いてない。

ボソッと言つてみる。

「おばさんのくせに……」

「なんですかって?」

あ、聞いてた。

バンダナ、俺、おばさん（後書き）

結局ははじやれてるだけなんでしょうねえ。何にしても、もくちでしてしまった勢いで反応しますよな？ どうしてでしょうねえ……。

幕府、ワイングラス、剥きエビ

最近、街のグルメのお気に入りはフランス料理だ。
幕府の役人もかなりやって来るらしい。

前菜が終わると、その日のメイン料理だ。

今日のメインは滑らかな生地に柔らかな細切りキャベツを和え、
そこに薄切り肉と剥きエビをトッピングして焼いたパイの様なもの
だ。

「こちらのソースでお召し上がりください」

鷹揚に領き、磨き上げたワイングラスにワインが注がれる頃、満
足の頂点だ。

窓から料理を見た町人が一言。

「お好み焼きじゃん」

幕府、ワイングラス、剥きH&J（後書き）

幕府が苦しいかも。けど、お好み焼きってパイの類でしょうか?
うーん。ゼンゼン違うような気がしますね…。
何にしても、メリークリスマス！ イブですけどね。

ミニスカサンタ、鉄人、星の雫

今年もクリスマス恒例のカラオケ大会が開催された。
優勝者には鉄人の称号が与えられる。

この大会のルールは『一曲歌うと一杯飲む』。

出るのは、幻の銘酒『星の雫』、さっぱりした辛口で抜群の味だ。
その為か、飲んで歌つて、結局はただの大宴会だ。
日が変わる頃、ミニスカサンタのお父さんが乱入するのはお約束だ。

夜が明け、最後まで歌つていた優勝者は、お店の人へ平謝りだ。
だからこそ鉄人だ。

さあ、来年の会場はどこにしよう?

ミニスカサンタ、鉄人、星の聖（後書き）

日下部さんから頂いたお題です。ラストがちょっと切れが甘いかな
あ、この鉄人は、きっと日下部さんですね。

ミニスカサンタ、鉄人、星の聖 その一

その昔、ミニスカサンタをしたことがあった。

誰もが「女だったんだ」と失礼なことを言った。

ウワバミで、鉄人と呼ばれ、私自身仕方ないと思つてたけど…。

でも、一つだけ熱い視線があつた。

一度気付くと、その視線はいつも熱かつた。

彼と話す様になると、女である事を意識し始めた。
次第に、それが私の幸せになつていった。

その彼と、今日一生を誓つた。

星の雫の様な雪が緩やかに舞い、星空までも私たちを祝福してい
る様に感じた。

ミニスカサンタ、鉄人、星の雫 その一（後書き）

クリスマスだし、やつぱり甘めのお話を…。と思って、何とか作ってみました。星の雫、がちょっとはまりが悪いかな…。ちょつと文章が繋がっていないなあ、と思つて、編集しなおしました。

肉まん、氷砂糖、デジャ・ヴ

どこで見たんだろ？…。

全く同じものを、どこかで見た覚えがある。

単なる「デジャ・ヴ」なんだろうか？

だが、それにしてはやけにリアルな記憶の様な気がする。

それは、僕の好きな肉まんの様に見えた。
いや、肉まんだと信じていた。

けど、確かに肉の味もしたけど…。

何か不思議な味が混じっていた。

その時、目の前の妻が自信一杯に言い切った。

「やっぱり、肉まんには氷砂糖よね！」

やはり、前にも同じものを食べたことがあったんだ…。

肉まん、氷砂糖、デジャ・ヴ（後書き）

うははは。こんなデジャ・ヴいやだなあ、氷砂糖入りの肉まん。一体、どんな味でしょうね？

たい焼き、ねむい、貧乳

ねむい…。

ねむい、といつより、眠つていい…。

昨日のことを現実とは思いたくない。

じつじよひ…。

でも、お腹がすくのは避けられないし…。

部屋の隅の、たい焼きの山を見て、嫌な記憶が呼び起された。
そう。あれはその賞品のたい焼き一年分だ…。

何かつて？

とあるイベントに行つて、そこでコンテストに出場をせられて…。

優勝してしまったんだ。

貧乳コンテストに。

僕、実は男なんだけど、誰も気が付かなかつた…。ショックだ。

たい焼き、ねむい、貧乳（後書き）

あはは。訳の判らないものは賞品として誤魔化す、それが私のパターンになってしまったみたいですね…。

じんけん、操作手順、年末調整

「そろそろ年末調整しなきゃ」

「でも、面倒くさいなあ」

「どうちがやるのか、じんけんで決めましょ？」

「いこーみー。」

「「じやーんけーん、ぱーん!」」

「えー、私?」

「まあまあ、最近はネットで出来るから簡単だよ」

「どうやるの?」

「まずは[.]をクリック、で、右にスクロールして、それから[.]」

「わかんない! もう、操作手順、初めから書いてよー。」

「え? 簡単じゃん!」

「わかんないもん!」

「判つたよ……、もつ俺がやるよ……」

じゃんけん、操作手順、年末調整（後書き）

あはは。パソコン痴の勝ち？ けど、年末調整パソコンから出来たつけ？ そこはちょっとイイカゲン…。

嫉妬、舞台、ピーム

今日は、次の公演の配役を決めるオーディションの最終選考だ。今、主役候補で残っているのは一人だ。

私ともう一人。

その舞台に立つことを夢見て、一生懸命に練習してきた。彼女に負けないだけの練習をしてきた。その自信があった。

けど、選ばれたのは彼女だった。

どうして彼女なの？なぜ私じゃダメなの？
何が彼女に劣ると言つの？

嫉妬で気が狂いそうだった。

けど、監督の言葉は……。

「今度の主役は、田からピームが出せないとな」

嫉妬、舞台、ピーム（後書き）

えーと、この劇団、人間なんでしょうかねえ…。目からビームが出せる人がいるんですね…。（あははは。いい加減な設定ですねえ…）

敬老感謝の日、満願成就、雨やぐつ

自転車通学の僕は、バス停の小屋なんて入った事はなかった。
けど、あの勤労感謝の日、突然の雨で仕方無しにその小屋で雨や
どりしたんだ。

その時、そこに居た彼女に恋してしまった。
僕と彼女の通っていた学校は地区の中では敵同士だった。 だか
ら、最初はお互いに喧嘩が多かった。

けど、僕たちは付き合いだした。

手を握ったり言い合ったり…。 それからも色々在ったさ。

でも、とうとう結婚したんだ。
そう。 僕の結婚は満願成就なんだ。

敬老感謝の日、満願成就、雨やせじつ（後書き）

バス停に小屋がある様なところって、都會ではあんまりないですよ
ね。それに、大抵はすごく小さくて、小屋っていうより、単に待
合のベンチに屋根と壁がついてる。ってだけを感じかな？ そんな
ところでも、出合いつてあるかなあ？

オカリナ、一生、トランペッタ

私の父はトランペッタ奏者だった。

テンポの良いリズムで、活力溢れる音楽を創りあげていた。

そんな父の影響を受けたのか、私もいつしか音楽を志していた。
途中、挫折はあつたけれど…。

それでも音楽が好き。 その思いは揺らがなかつた。

そんな私が手にした楽器はオカリナだった。

人は一生の中で、必ず傷つき弱つている時期がある。

オカリナは穏やかにそんな人の心に語りかけ、癒し暖めることができることができる。

それが私の音楽だと信じてる。

オカリナ、一生、トランペッタ（後書き）

うーん。年末ですけど、普通のお題です。お父さんの姿を見ているうちに、元気いっぱい、音楽を志すようになった彼女、お父さんの音楽とは違うけど、でも、彼女なりの音楽を作り出せるようになった。そんなつもりです。

鍋奉行、唐辛子、海賊

新年の夕食は奮発してカニ鍋だ。

当然の様に、私が鍋奉行として取り仕切るつもりだ。

けど、カニ鍋ってどんな味付けがいいのかしら。
キムチ鍋では、カニの味が死んでしまうだろう。

子供たちも、今日のメニューがカニであることは知っている。
きっと、海賊のように一気にカニを取るひつと待ち構えているに違
いない。

ちょっと意地悪してやろうか。

カニの足、その中の一本に、じこたま唐辛子を入れておいた。

口から火を吹くのは誰だろ？

鍋奉行、唐辛子、海賊（後書き）

新年、いきなりの大当たりを引くのは誰でしょう？　子供でしょうか？　旦那様でしょうか？　それとも自分自身？

騎士、バカ、やせじい日常

どうして俺が騎士なんかになつたのかつて?
確かに前から見ると、信じられないかな。

昔は本当にバカで、ただの腕力自慢の、ゴロツキだったから。
けど、守りたいものが出来たんだ。

え、女に惚れたんだろうって?
ま、ハズレじゃないな。

彼女の生み出すやせじい日常を壊したくない。

恋人かつて?

いや、向こうにとつて俺は通りすがりの一人だつ。
それでも俺は彼女を守りたい。

バカだなつて?
かもしれない。

でも今、俺は結構幸せだよ。

騎士、バカ、やせしい日常（後書き）

元旦なので、調子に乗つて、もう一つ作つてみました。

これは診断メーカー、ラノベ出しちゃつターからのお題です。誰かのため、そんな決意をしている人が強いのかな、そんなことを思いながら書きました。そして、もちろんその想いが報われるのが一番幸せなんでしょうけど、それでも、ただひつそりと支える、そんな気持ちになつてしまふ人が騎士の世界ではいたのかな、そして、そんな優しい人には、それを理解してくれる優しい人が現れるはず、そんなことも思いながら書きました。

元旦、おみくじ、図書館

今年は受験だ。

今日は元旦だけど、確か図書館は開いてるはず。
図書館の自習室なら落ち着いて集中できるだひつ。

行つてみると、友達がたくさん居た。

それに、気になる彼もいた。

せつかく集中しに来たのに、気になつて集中できない。

ふと、彼がやつてる問題集に気が付き心臓が跳ね上がった。
それは私が本命にしてる高校のだった。

帰りがけ、神社で引いたおみくじは大吉だった。

「ガンバルゾ！」

現金な理由だけど、頑張れると思った。

三つ目です。

これは、自分で勝手に作ったお題です。ちょっと楽なお題になっちゃったかも知れません。それでも、私の展開ではおみくじか図書館がつらかったかな…。さあ、受験の人は頑張りましょうねえ、追い込みですよお。

これで、『三題嘶ざんまい』とりあえず、200話達成しましたー。次の目標はとりあえず一年間、途切れないのでの掲載。ですね。

収納庫、式典、ジャッカル

新年会では何をしようか？

去年はジャッカルのお面をつけ、半獣神のコメディで大うけだった。

だが、今年の新年会は新社長就任の式典も兼ねてるハズ。とすると、お笑いはまずいだろ？

収納庫で何か探してみようか？
が、使えそうなものどころか何もなかつた。

そして、何も思いつかずに新年を迎えた俺は苦し紛れに思つた。
「式典、中止にならないかな…」

当ては無かつた。
が、俺の願いは叶つた。

会社が倒産し、式典もなくなつたのだ。

収納庫、式典、ジャッカル（後書き）

新年から、仕事がなくなっちゃつたら大変ですよねえ。 苦し紛れのジャッカルですが、エジプト神話のアヌビスっていう神様が、顔がジャッカルなんだそうです。

幽霊、少女、吸血鬼

私は美少女吸血鬼。

最近、口クな食事にありついてない。
何か、いや血が欲しいナ。

と、美男子を見つけた。

「あ！ みつけ！」

美味しそお。

お食事は見た目も重要でしょ？

私は自分で言つのも何だけど、結構カワイイ。
男なんて、ちょっと声をかければ言いなりのハズ。

「ねね。 お茶しない？」

「え？ 僕？」

思い通り路地裏に連れ込んだ。 そして…。

けど世の中、思い通りには行かない。

「僕、幽霊だから。 血はないよ」

「ハア、お腹空いた…」

幽霊、少女、吸血鬼（後書き）

美少女吸血鬼の苦労日記。なんちやつて。吸血鬼つて、血液型の相性とかないんですかね？ A型の吸血鬼が、B型の血を吸いすぎると、血が固まつて病気になるとか？ 襲う前に血液型を確認しないと危険？ 「あなた血液型何型？」なんて…。ちょっとマヌケな感じ。

朝霧、アメリカンフットボール、カメラマン

学生の頃、成りたかったのはアメリカンフットボールの選手。グラウンドを自在に駆け巡り、タッチダウンを奪う。そんな姿を夢見た。

だが、今は戦場を駆け巡るカメラマンだ。
不満がゼロって訳じゃないけど、自分の仕事に誇りを持つてるつもりだ。

朝霧の中、戦場に動きがあつた様だ。
霧が濃くてよく見えないが、恐ろしい勢いで何かが近付いてきている。

突然、人が現われた。

「電気代、払わないと止めますよ！」

「え？ ちょ！ 待つて！」

朝霧、アメリカンフットボール、カメラマン（後書き）

戦場カメラマンかあ…。最近、テレビでよく見かける人、どうもそのイメージに合わないんだけど…。

諸行無常、クモの巣、学校

もう、お正月は終わってしまった…。

冬休みになつて、まだ一週間ほどだ。校舎にクモの巣が張つてゐつて」とはないだろ?。だが、きっと芯から冷えているだろ?な。

学校に行くのが嫌つて訳じやないんだ。

あんなに長い夏休みでだつて終わりが来た、だから冬休みなんかあつと言ひ聞だつてことも判つてるわ。時代は移りうるものだし…。ね?

正に諸行無常つてことだよね。

「ひー、ぶつぶつ言つてないで、早く宿題やこなさー。」

「はーこ…」

諸行無常、クモの巣、学校（後書き）

最初は、お年玉もつと欲しい、って話にしようかと思いましたけど、いつの間にか宿題をやってなかつた！ってお話し。ん？過去の実話でしょって？えーと、ノーコメントってことで！

ああああー！また、日を跨いでしまいましたああー！ガク。

カマキリ、髪、子豚

ある時、子豚の三兄弟が喧嘩しました。

「よし、誰の家が一番丈夫か勝負だ！」

「「「おつー」」」

長男の家は藁で、カマキリにぱつさつと壊されました。

次男の家は木でした。

けど、仙人の髪でぐるぐる巻きにされて、ペシャンコ…。

そして三男は…。

レンガを使って、とても丈夫な家を作りました。 カマキリも髪も怖くありません。

けど、人間が窓からバーナーを差し込み、三匹を丸焼きにして食べてしましました。

『じゅわわ』とまでした。

カマキリ、 子豚（後書き）

うわー、でたらめだー。むいーお話です。
でも、子豚の丸焼き…。
ちよつとおいしそー。

紫陽花、人魚姫、童子

目の前で人魚姫がプリプリ怒つてた。

「どうしたんだい？」

「酒呑童子の奴、紫陽花なんか持つてきたのよ！ 花言葉、知つて
る？ 『『移り気』とか『無情』よ？』

「で？」

「アタマきたから、アザミを叩き付けてやつたわ」

「その花言葉は？」

「『触れないで』よ！」

「あらら…。 でも、別の花言葉もあるんだよ？」

「どんなん？」

「『辛抱強い愛情』 そして『元気な女性』さ。 確かに君は元気
だな」

「俺も紫陽花持つてきたんだけどな…」

「え…」

紫陽花、人魚姫、童子（後書き）

うーん。かなりの苦し紛れです。どうやつて人魚姫と酒呑童子を
絡めると！（いや、童子って言つたら酒呑童子ですよねえ？　ね？）
おまけに紫陽花…。むふー。

白髪、地球儀、水槽

この海の向こうには何かがあるのだろうか？

行ってみたい。それは、物心付いた頃に抱いた夢だった。

小学生の頃、地球儀を片手に海の向こうに夢をはせていた。

けど、成長するに従つて現実の生活の中に埋没していくた。

頭髪に白髪が混じつていることに気が付いた時、夢を思い出した。
それは、ほろ苦い思い出の様に感じた。

所詮、俺は水槽の中の魚だったのだろうか…。

だが、家族との生活を思い浮かべたとき、この上ない満足を感じた。

白雲、地球儀、水槽（後書き）

幼い頃の夢つて、ふと思い出すと切なくなることもありますよね。それでも、自分の人生を後悔してる訳じゃない。大事なものをたくさん得た。十分に満足。そんな想いを書いて見たいな、と思いました。（さすがに、これでは書ききれてないんですけど…）

全自动洗濯機、原稿、鉄

スランプだ！

全くアイディアが浮かばない。

脂汗をたらしながら、真っ白な紙の束を睨みつけた。

が、筆は止まつたままだ。

それでも容赦なく取り立て、いや、担当者はやつてくる。

仕方が無い…。

原稿を全自动洗濯機に投げ込み、スイッチを入れた。
と、同時に担当がやってきた。

「じめん！ 原稿、完成したんだけど、間違つて洗濯しちゃって…」

が、担当はにこやかに答えた。

「鉄でござる手間が省けたわ。 前回で連載は終わりになつたの」

全自动洗濯機、原稿、鉄（後書き）

うわー、この作家さんクビですかね！ でも、連載、突然終わると、
尻切れトンボですよねえ、そんなこと、あるのかなあ…。

アメリカ、日光江戸村、紅

俺は忍者だ。

普段は日光江戸村で仕事をしている。

あ、今、「なんだ、役者か」そう思つただろ?
違うんだな。俺は本物だ。

今、活動範囲は全世界に広がっている。
俺たちの忍び装束は紅く、とても素早い。
その世界で『紅の疾風』として有名だ。

この間のラスベガス公演、あれも隠密活動の一環だ。

アメリカのハイテクと戦つたが、残念なことに惨敗だった。
次こそは十分に研究して雪辱する。

「あー、それでスロットマシン買つたんですか?」

アメリカ、日光江戸村、紅（後書き）

結局、アメリカでは、カジノで遊んだだけなんでしょうか？ 忍者
対〇〇七！いや、忍者対スロットマシン！一晩で幾ら使つたんで
しうね？

学級委員長、桃尻、三途の川

ホームルーム。

あいつは学級委員長で、偉そうだった。
けど、馬鹿は馬鹿だった。

「じゃ、今度の学園祭は桃尻コンテストだ」

「ば、馬鹿言つてんじゃないわよー。」

「良いだろ？ 男子も参加だし」

「そう言つ問題じゃないわよー。」

「良いじやん。見せつこしうぜ？？」

「あんた、一辺、死んでみる？」

「ふ。俺が三途の川を渡るとときは……」

「ときは？ なによ？」

「一緒に渡りませんか」

後から聞いて知ったけど、それは夫のプロポーズらしかった。

うーん。何だか、強引過ぎて訳がわからない展開にしてしまいました。

年末、定石、カジノ

出張でカジノにはまったくのがギャンブル三昧の始まりだった。まずスロットマシン、続けてカードゲームにはまった。

一応理系の端くれなんで、確率を計算したり、定石を探した。けど、そんなことで儲け方がわかる様なら誰も破産しない訳だ。

そう。俺はとんでもない借金を背負ってしまった。
本当に酷い目にあった。

もう賭け事はこりごりだ。

じゃ、今の趣味はつて？

それは年末ジャンボさ。

いいかい？ 宝くじには定石つてのがあってね。

年末、定石、カジノ（後書き）

あはは。ゼンゼンこりてない感じですね。宝くじの定石つて、連番で何枚か、とバラで何枚か、ってことかなあ？ 買ったことないから、判らないけど…。

糸、ゲーム機、林檎園

「今日は遊びに行こうか」

「あら珍しい」

「え！ どこ行くの？」

「林檎園さ。順番待ちの暇つぶしに何かもつて行くといこう」

「ふーん。じゃ、ゲーム機持つて行こうかな」

「ああ、パパは本かな？ ママは？」

「私は糸と針でも持つていこうかしら？」

「何それ」

「あなたたちが服をぼろぼろにするから、繕つのよ

「で、何をするの？」

「パソコンとかインターネットだよ」

「え？ 林檎園じゃないの？」

「林檎園つて名前のネットカフェだよ」

※ ゲーム機、林檎園（後書き）

普段、休日はあまり遊んでくれないお父さんが久々にどつかに行こうとします。けど、結局はパソコンでインターネット？ うーん。だめジヤン。

敗者復活、水不足、瞳

「わかったよ。そんなに言つなら何とかしよう」「ありがとうございます！」
「その代わり敗者復活戦だぞ」「はい！」

ふ。ちょいもんね。瞳にちょっと涙を浮かべれば、すぐに何とかなる。

出来ることなら何だつてやる。
うそ泣きだらうが、色仕掛けだらうが、ござとなつたら、この体で…。

とにかく何とかするしかない…。

何がどうしたって、あの賞品は絶対に必要なんだ。

水不足にあえぐ私たちの村に、一年分の「ネラルウォーター」を…

敗者復活、水不足、瞳（後書き）

あはは。またやつてしまいました。一年分の賞品…。けど、何の戦いでしうね？ もしかして、桃尻コンテスト？？ いやいやいやいや…。ナンテシ四ネ。

表札、ゴールド、電池

私の家はすゞいのよ。

屋根も壁も、その全てが金で出来ているの。
当然、表札も金よ。

それに、すぐ広いのよ?

門から玄関まで、マラソン選手で一時間ね。
途中にライオンも居るから注意が必要よ。
その代わり警備はバッチリ。

だから、門からは車よ。安全運転で一十年。当然ゴールド免許
にも金ね。

そして、家には懐中電灯。

え、どうしてって?

広すぎて、電気が通つてないの。

ねえ、電池もってない? 今、ちょうど電池が切れでて…。

表札、ゴールド、電池（後書き）

あはは。意外と未開の地なんですね？ どこなんでしょう…ライオンがいて、電気が通つてないところ…。それにしても、本当にお金持ちなんでしょうか？電池もないなんて…。意味不明です…。

妖精、猫耳、賭場荒らし

どうしようつ…。

昨夜の王様ゲームの結果、僕の使命は賭場荒らしだ。
全く無茶だ。

前回だって、猫耳をつけて競輪。なんて意味不明だった。

そもそも賭場つてどこだ？

「さ、行くわよ」

「え？」

見上げると、王様でもある彼女がいた。

「ほり、早く」

そして向かつた場所は…。

「さ、パチンコよ」

で、始めるや否や大フィーバーだ。

「ひやつほう！」

全く、笑顔は妖精の様だけど、店にとつては悪魔だ…。

まあ、僕は彼女が笑顔ならいいけどね。

妖精、猫耳、賭場荒らし（後書き）

あはは。結局、彼女がパチンコしたかっただけ、だつたりして……。
妖精がうまく使えなくて、結局いつものパターンに……。

匍匐前進、ヒント、一生

匍匐前進つて言つと、地面を這いつゝイメージがあるでしょ？でも、割と高い姿勢もあるんだよ？

「なにが言いたいの…」

だからね、第一匍匐だと、結構色々と見えるんだ。
「何よ…。 もっとヒントを頂戴よ」

そう。 昨日見えたのは、綺麗な女性だつたな。

「何それ！ もう、あんたとは一生口利かない！
あはは。 まあまあ、もうちょっと聞けよ。」

その女性は、すゞしく元気でさ。

僕は思つたんだ。

「な、なによ…」

君と一緒にいたい。 つてね。

結局、二人で一緒に匍匐前進してたんですね。 で、知つてました
？ 匍匐前進って、第一から第五まであって、第一だと、中腰より
ちょっと低い感じで、第五だと…。もう、ほとんど寝てて、どうや
つて進むんだろう？って感じです。 一般に匍匐前進って言って思
い浮かべるのは第四匍匐ですね。 あはは。マニア？ いえ、ぐぐ
つただけです！

頑固、引き潮、一石一鳥

引き潮の海は、私にとつて遊び場であり、収穫の場でもある。あさり、しじみ、それにときにはカニだつてとれる。楽しいだけじゃない、味噌汁の具を買わずにすむ。まさに「一石二鳥だ。

けど、夫はそのことを認めようとしない。

「遊ぶなら、山登りでもいいじゃないか。具なんかとつて何が楽しい」

「しじみなんて、殻は食べられないし、時々砂が混じってるし」

全く、正に頑固親父そのものだ。

「だから、俺はなめこ汁が好きなの」「え？」

頑固、弓毛潮、一石一鳥（後書き）

なめこ汁、いいですよねえ。でも、しじみのお味噌汁もおいしい
ですよね。けど、最近のつむぎの子供たちのヒットはカップスープ
です。

喪服、万年筆、冷や汗

何だろ？…。田の前に喪服を着た連中がたくさん集まってる。
みんな真剣な表情だ。

何だか、まるで葬儀場だな。
お！ いいネタ思いついた。

これは傑作だぞ。

おい。誰か万年筆貸してくれ。それに紙も！

なあ！ 誰か！ 何だよ、みんなで俺を無視して。

あれ？ あれば俺の女房じゃないか。
何してるんだ？ 何で泣いてるんだ？

何だかまるで…。

「え…」

背筋を何かが伝ったような気がした。

幽靈でも冷や汗をかくのだろうか…。

喪服、万年筆、冷や汗（後書き）

これも良くわかりません…。何だかまた、へんてこりんな、話にもなっていない様なものを作ってしましました。うひやースランプだあ。それにしても、彼は何か未練があるんでしじょうね。幽靈になつてさまよつてるなんて…。

尼さん、罵倒、ドクロ

今、うちのお寺では大激論の真っ最中だ。

何を？って言えば、次の法事に行くのは誰かってことだ。

法事はとにかく、寺の外に行けば、普通のものが食べられる。それは非常に重要なだ。

精進料理ばかりでは、いつかドクロになってしまいそうだ。

けど、大人しい奴が切れると凄いってのは本当だ。
奴が、あんな勢いで他人を罵倒するなんて…。

まあ、仕方無い。

食い物の恨みは恐ろしい。

全く、尼さんたちのダイエットには付き合いかれない…。

志村 勝、馬鹿、ドクロ（後書き）

むー。これは落ちてるんでしょうか？ 精進料理、うまく出来てくればおこしいんでしょうけど…。何だかイメージとしては苦行ですね。

扇風機、医薬部外品、鬼

本がどる！

単なる風邪なら良いが、インフルエンザだと困るな……。

医者に診てもらおうか？

だが、近所の医者になど行つたら、鬼の霍乱だろ。なんて馬鹿にされる。

止めておけ。

それにしても、随分と熱がある気がする。とにかく熱を冷まし

いや、 いつそアイスでも食べようか。
冷たいものでも飲もうか。

いつそクーラーを…。と言いたいが、うちにはクーラーはない。
そして、扇風機は医薬部外品だ。

そして、扇風機は医薬部外品だ。

扇風機、医薬部外品、鬼（後書き）

いや、当たり前ですけど…。扇風機が医薬品だつたら、クーラーは抗生物質ですね！ むー。今回もイマイチ感が漂います…。スランプだあ…。

叶わぬ恋、夜想曲、カムパネルラ

楽しい時間は、嬉しい時間も、いつかは終わる。

それは判つていたはずだつた。

だが、判つてゐると、実際にそうなるのでは全く違つた。

そう。カムパネルラは行つてしまつた。

そして私は、また一人になつた。

夜想曲だつて、二人で聴けば心が温かかつた。
でも、一人で聴くのは哀しい。

「どうして…？」

彼を求める声が零れる。 けど、誰も応えない。

つらい…。

叶わぬ恋とは思いたくない。

そう。 苦しい時間だつて、いつかは終わるはず。

叶わぬ恋、夜想曲、カムパネルラ（後書き）

何だろう？ 何だか不思議なものですね。 まあ、明日に向かって
ガンバロー！ つてことで！

少女、メイド、死んだ世界

これまで、その場所は暗く、冷たい場所だった。
活気が無く、まさに死んだ世界だった。

このままでは、この場所がなくなってしまう。
けど、それは嫌。

そんな場所でも、少女にとつては失いがたい場所だったから。

これまでだつて、色々なことを試みた。
コーヒーにおつまみを付けたりもした。
けど、名古屋じゃないせいか受けなかつた。

明日から歩行者天国も再開される。
だから一大決心をした。

少女は深呼吸すると、メイド服に着替えた。

少女、メイド、死んだ世界（後書き）

ラノベだしちゃつたーよりのーお題です。秋葉原のホコテン、今日（2011年1月23日）の午後から再開された様ですね。だから、つて訳じやないけど、廃れてしまつた喫茶店の再起のために、メイド喫茶を始めるつて、お話です！ あはは、どうでしょーねー。

一生、干菓子、戦国武将

ちょっとパサパサした、粉っぽい和菓子を知ってる？
そう。干菓子。

口の中でゆっくりと溶け、優しく上品な甘さが広がっていく。
私はお茶請けなんかには最高だと思つけど、ちょっと人気は低い
かな。

戦国武将は国を守るのに命をかけた。
彼だって干菓子の味を守るために、そして新しい味を創り出すため、
その情熱をかけてる。
その味で何百人の人に喜びを与えるんだから、すごく素敵なの
でしょ？

そんな彼と、一生を共にしたいと思つ。

一生、干菓子、戦国武将（後編）

ちょっと戦国武将が強引かなあ？ 干菓子ってあんまり人気がない
気もしますけど、お茶と一緒に食べると、結構いい感じですよね？

隣人、モアイ、合同演習

最近、町の治安が悪い。

だから町内会で防犯活動の合同演習をすることになった。

普段、あまり会うこともない隣人たちが一同に顔を合わせた。

みんなで「初めまして」なんて言い合つてる。

もう、何年も隣近所で暮らしてるはずなのに、おかしな感じだ。

何だか顔の長い男がいる。馬鹿つていうか、モアイみたいだ。
それにも彼、熱心だな。誰だ？

誰に訊いても知らない。

翌日、交番の指名手配の張り紙にその男の顔が…。

誰か気付けよ。

隣人、モアイ、合同演習（後書き）

泥棒さんを交えての、ちょっと間抜けな防犯の合同演習でした。でも、ご近所さんにも、顔を知らない人って、結構いますよねえ。犬仲間なら知ってるけど…。なんてね。

ベランダ、怪獣、やかん

やかんをこじゅると何が起きたと思つ?

何も起きやしないつて? まあ、大抵はやつだけだね。
でも、たまにすゞいことが起きるんだ。

先週、やかんをこじゅつたら、なんだか変な男が現れたんだよ。
そいつ、陽気な酔っ払いですが、一人でベランダで飲み明かしたんだ。
結構、楽しかったよ。

で、もう一回そいつと飲みたいなつて、昨日、またやかんをこじ
つたんだ。

そしたら、今度は現れたのが怪獣で、家は木つ端微塵だよ。
だから、今晚泊めてよ。

ベランダ、怪獣、やかん（後書き）

酔っ払いは、お酒を持って現れたのかなあ？ お酒を持ってきてくれたんなら、いいなあ。 けど、怪獣は困りますね。

おまじない、スパイ、スマレ

以前、私のお願ひは、大好きな彼の好みを知ることだった。けど、スパイでもない私に分かる訳が無かつた。

今の私のお願ひはもつと大胆だ。
彼と恋人になれますように、つてことだ。

世界おまじない振興財団。

この不思議な財団が私のお願ひを叶えてくれるかもしれない。

この教団のシンボルはスマレの花で、教義は投稿することだった。

毎日、自分の想いを綴ったラブレターをポストに投稿した。

まさかそれが、妖怪のおやつとも知らずに。

おまじない、スパイ、スマッシュ（後書き）

えー。文学少女ネタですね。文芸部の一人がでっち上げた怪しげな組織です。先輩のおやつを書くことに疲れた心葉くんが、樂をするために作ったのかもしません。いや、だからどうしたって？あはは。他に思いつきませんでした…。

このお題。実は「文学少女風三題斬作成」つていうところからもらいました。アドレスは <http://www20.atpages.jp/oyatsu/> です。これからは、ここからのお題も混ぜていこうかな？と思います。

洗濯機、携帯電話、ゴルフ練習所

神の携帯電話って知ってる?
すごいんだよ、話したことが何でも実現するんだ。

どんなに練習しても上達しなかったゴルフだって、この電話で
「世界で一番ゴルフをうまくして」
そう言つだけでOK。もひ、ゴルフ練習所に通つ必要はない。

服の洗濯だつて簡単。
もちろん、洗濯機なんか必要ない。
「服を洗濯して」「これでいい。

しまつた！ まだ着てたんだ！！
「今のはし！」
「違う！ 梨じやない！」
「無しだ！」
あ…。
携帯が消えちやつた…。

洗濯機、携帯電話、ゴルフ練習所（後書き）

便利な携帯ですよね。でも何故携帯？それは、神の洗濯機とか
神のゴルフ練習所の使い道が判らなかつたからです！

リポビタンロ、マリオ、門下生

ふ…。 デレの門下生か知らないが、無謀な奴だ。

けど、この対戦は長引いたな。

まあ、確かに手強い相手ではあった。

少なくとも、基本的なミスは無かつたし、戦略もあつた様だ。

それでも、私の方が一枚上だった。

いい対戦だった。 久しぶりにリポビタンロが欲しいな。

リゲインじゃない。

そう。 ファイト一発つてやつ。

しかし、これもキリがないな。 いくらでも亀が湧いてくる。

誰だらう、スーパー・マリオ・ブラザーズなんて考え付いたのは?

マリオの出でてくるゲームっていっぱいありますよね。でも、基本はスーパーマリオブラザーズですよねー。亀をビツビツと、出てきたコインを回収する。で、「ポイーン」とて音がする。私自身は得意じゃないんですけど……。でも、流行りましたねえ……。

木の机、名湯、大学

大学生の頃は若かつたと思う。
ガツガツしてた。 ゆっくり温泉に浸かるなんて考えもしなかつた。

風呂、温泉、秘湯、名湯、関係なかつた。
単に汗や汚れを落とす。それだけだつた。

全国的に有名な名湯でバイトしていたのに、一度も浸からなかつた。

木の机に酒と肴を並べて、仲間と酒を飲むのに夢中だつた。

それを後悔してる訳じゃない。 いや、多少は後悔してるかな。

もう、あの名湯には入れない。
まさか、つぶれるとは思わなかつた。

木の机、名湯、大学（後書き）

うーん。何だか妙なお話ですねえ。
落ちてないって感じもありま
す。

屋上、女王、パネクション

どうして気が付いたんだね？

でも、本当に一つの間にか、だつた。

そう。 気が付いたら、隣のビルの屋上には女王様がいた。
なんで女王様かつて？

そんな恥ずかしいことは私の口からは言えません。
けど、あれは女王様に違いない。

彼女に傳ぐ多くの男達が、途切れることなく屋上を訪れていた。

あの「パネクション」、一部を分けてもらえないかな…。
そんなことを一瞬でも考へた自分が情けなかつた。

だつて、あの男達、どう見ても酒に弱い。

■上、女H、コレクション（後輩）

あはは。酒が弱い、ポイントはどう? まあ、楽しく一緒にお酒が飲める相手って、いいですよね。

後輩、宅配便、卑弥呼

卑弥呼って知ってるだろ？

そう。 日本最古の王朝、邪馬台国の女王だよ。
でも、判つてるので、逆にそれだけだよね？

判らないことが一杯あるよね？

え？

で、この差出人が誰かつて？

ああ、会社の後輩だよ。

それよりさ、全てを知ることはないよね？

多少は謎を残した方が楽しいでしょ？

卑弥呼の謎つて口マンだよね？

この宅配便の中身？

多分、この間貸した物を返してきただんだと思いますよ~。

差出人が女性だからって、そんな目で見るなよ！

後輩、宅配便、卑弥呼（後書き）

そんなに疑われるなんて、この人、前科があるんでしょうかね？
そんなロマンは要りませんよね。さあ、白状しなさい！！

ウーロン茶、怪獣、またたび

最近、時として怪しげな咆哮が聞こえる様になつた。
どうせ山に怪獣が住み着いた様だ。

猫だつたら、またたびで、何とでもなるだらう。
けど、怪獣なんてどうすればいい?

とにかく、一度様子を見に行かなきや。

山の中で、やつと見つけた怪獣は体操中だった。

「最近、太つちゃつて…」

そう言いながら、一生懸命に汗を流してゐる。
あの咆哮は柔軟体操での喘ぎ声らしい。

その怪獣に聞かれた。

「ダイエット中なんだけど、黒ウーロン茶ない?」

ウーロン茶、怪獣、またたび（後書き）

文学少女風三題断作成からもひつたお題です。よく判らなこいつちに怪獣のダイエットの話に…。体操もいいけど、この怪獣、何を食べてるんでしょうね…。

半熟、小学校全科、蹄鉄

蹄鉄つて知ってるかい？

何も馬だけじゃないんだよ、牛の蹄にも付けたりするんだよ。

けど、どうして必要だと思つ？

「いっぱい働かせるから？」

それもある。けど、それだけじゃないんだ。

まあ、知らなくて無理も無い。

小学校全科をこなしても、そんなことはやらないもんな。

あのね、飼われてる馬は、餌の栄養が偏って、蹄がひょつと弱いんだ。
固い蹄鉄を付けないと、蹄が傷つっちゃうんだ。

わかつたかい？

半熟の蹄鉄がダメな訳が。

半熟、小学校全科、蹄鉄（後書き）

うーん。何だかダメダメな感じ。半熟の蹄鉄って何？？でも、野生の馬は栄養のバランスがいいから蹄鉄が必要ないっていうのは本当の様です。

かに、お父さん、英語

「お父さん」

「ん？ なんだ？」

「英語とかに、どっちが好き？」

「は？ … それって、迷うといいのか？」

「いいじゃない、で、どっち？」

「普通、かにだらう」

「ふうん…、ファイナルアンサー？」

「なんなんだ？ かにのどこがいけないんだ？」

「別に？ 本当にいいのかなあって、思つただけよ」

「やつぱり英語…」

「ファイナルアンサー？」

「ああ、ファイナルアンサー！」

「じゃ、英語の宿題やつとこてね！ 私はかに食べるから」「え…」

かげ、お父さん、英語（後書き）

文学少女風三題断作成から貰いました。何だかぐだぐだです。最初に全部お題が出てしまって、だらだらと余話をせてしましました。

大雪、チョコレート、春

雪はいい。降れば降るほど、大雪になればなるほど。
そうすれば春が遠のくから。

春なんて、嫌いだ…。

そう思いながら、それでも、その田が近づくと、ぞわぞわしてしまつ。

お店には特設コーナーが作られ、女の子たちが群れを成していた。

チョコレートを渡したい。

毎年思つてゐる。

けど毎年、結局は渡すことが出来ずに、春になってしまつ。
だから春は嫌い。 いえ、自分が嫌い。

けど…。

一步を踏み出したい。

今年じゃ、春を好きにならひ。

大雪、チョコレート、春（後書き）

田下部さんからのお題です。まさに、この季節のお題って感じです。ちょっと勇気が出せない女の子。だから、そつやつて過ごしてしまって、訪れる季節はどんよりしてる。なんとか、今年は春を好きになれるでしょうか？

辞世の句、かつあげ、おかし

駄目だ、抜け出せない…。

もつ、かつあげされるのには慣れたけど、でも、楽しいことじやないのは変わらない。

ああ、田の前のあいつは、余裕でおかしなんか食べてる。

俺は必死で場を睨むけど。 やっぱり、結局何もできない。

まあいいか…。

せめて、カツコイイ辞世の句でも残したかったけど…。
でも、何にも思いつかないな。

結局、最後の最後までしまらないな…。

ああ、結局、また同じか…。

「じり大貧民。 カード交換だぞ、早くしろ」

辞世の句、かつあげ、おかし（後書き）

辞世の句が意味不明ですねえ……。けど、大貧民、一度落ちるとなかなか抜け出せませんよね。

鉛筆、墨汁、パソコン

その昔は墨汁すらなくて、墨を磨りつけて、そして筆で書いたんだよね。

それでも、様々な名作が残つてゐる。

書き残したことそのものが偉業だよね。

それに比べれば、鉛筆は何百倍も楽だよね。
書き間違えても、消しゴムがある。

そのへりこにておなじく良かつたんだと思ひ。

パソコンで、ワープロを使つよくなつて、すくへ便利になつた。
キーボードにも慣れた。これはいい！ そう思つたよ。

でも、まさかパソコンが壊れるとは思わなかつた…。

鉛筆、墨汁、パソコン（後書き）

文学少女風三題斬作成から貰つたお題です。 文学少女にしてみれば、パソコンの画面に書かれても、食べられないから意味がないでしょうね。 それにしてもパソコン、壊れると大変です。まず書けないし、そのハードディスクに保存してあると、うっかりすると無くなっちゃうかもしないし。 私は、メモリカードとか、ノートパソコンに時々「コピー」します。

けど、それより最近情けないのは、「これはいい！」って思いついで、パソコンに向かつたとき、パソコンが立ち上がったころには、何を思いついたのか忘れてしまうことがあります……。 そこ、ボケつていうなあ。

隅、スパナ、きくらげ

突然、怪しげなものが送られてきた。

『神のきくらげ：食べれば神になります』

そんなもの、普通は受け取らないだろ？

配達人をスパナで殴るかもしれない。

え？ なぜスパナかつて？ 僕がたまたま持つてたからだけ。

でも、僕は受け取ってしまった。

だって食べたかった。

さつそく部屋の隅からコンロを取り出して調理した。

けど、かぶりついた時、死ぬかと思った。

ぐ、腐ってる…。

確かに、これを食べて生き残れたら神かもしれない…。

隅、スパナ、きくらげ（後書き）

スパナがいい加減な使い方ですねえ。スパナ同好会、スパナ一年分…。よくわからないですね…。けど、このきくらげどんな味なのかなあ？

洗濯機、温泉、ぶりと」

この温泉にやつてきて何日目だね。着替えがなくなつたので、洗濯する」と云つた。

洗濯機が動いている間、街に出た。

この街に来た理由?

進まない原稿を進めるため、つてことになつてゐる。

けび本当は違つ。

以前、僕はこの街に住んでた。
そして、他愛もない約束をした。

そう、このぶらとこに乗りながら約束したんだ。

一十年後もここに会おうねって。

ずっと一緒に信じたから…、想いは本気だった。
けど…。

今日がその一十年目だ。

洗濯機、温泉、ぶらり」と（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。僕は作家さんですね。生まれ故郷に戻つて、くるかどうか分からぬ人を待つている。最後の約束は馬鹿みたいな約束だつたから、けど、本気の約束だつた。さあ、相手は来るのでしょうか？それは210文字目で！なんちやつて……。

かりんとう、鼻歌、テトリス

テトリスって知ってるだろ？

そう。 色んな形のブロックを整列させるやつ。

横一列に揃った列は消える。

けど、ブロックを消せずに、ある限界を超えるとゲームオーバだ。
実に単純なゲームだ。

けど、奥が深い。 鼻歌交じりで出来るよつなゲームじゃない。

はまつてくると、一日中テトリスが頭から離れない。
おやつを見ても、かりんとうがあの細長いブロックに見えてくる。

そうなるとかなりヤバイ。

あ、せりかてヤバイ。

「 いらっしゃい。仕事しろ！」

かりんとう、鼻歌、テトリス（後書き）

あはは。仕事しないでテトリスやってたらダメですね。それはヤバイですね。

物干し竿、推理、ぶらん」

洗濯物が物干し竿で揺れている。

そろそろ取り込んだ方がいいかしら?

ふと、揺れる洗濯物を見ていて、遙かな思い出が甦った。

この家からも近い公園。あの公園のぶらん」でした約束…。
他愛もない、大切な、けど叶えることなど出来そうにない約束。

それももう、一十年も前のことだ。

その時、家の前を公園の方に向かう男性の後姿を見つけた。

まさか……。

そんな都合の良い推理が当たる訳がない。

けど、次の瞬間、私は走り出していた。

物干し竿、推理、ぶらんこ（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。 気が付かれたかも
しませんが、ぶらんこつながりです。やっぱり、人の諦めない氣
持ちが運命を作る。 それが、私のテーマですから！

物干し竿、推理、ぶらんじ もの

物干し台から少し離れた場所に、折れた物干し竿と夫がいた。物干し竿には、紐をかけたあとがあり、そして夫はひどく恐縮していた。

まつたく、何度も懲りないらしい。

周囲を見回すと、案の定、板も見つかった。
推理するまでもない。

やつ。「また」物干し竿に紐をかけて、ぶらんじをしたんだ。
もう何度も、物干し竿を壊しただるつ。

「いのぶらんじで妻と出合つたんだ」

他のことは全て忘れたくせに、それだけは忘れないらしい……。

物干し竿、推理、ぶらり』 もの（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。もつ一個作ってしまいました。（つていうか、実はこちらの方が先に作ったんですけど）ちょっと変なラストですよね。敢えて伏せてますけど、夫は認知症になってしまった、という設定です。ちょっと重いですね。で、別にこれはぶらんこシリーズ（つて勝手に決めてる?）ではないつもりですけど…。

作成、銀河系、ミイラ

銀河系は広い。 とてもなく広い。

ある日、それは空から降つてきた。
中身は大量の包帯だった。

同封の説明書によると、それは『魔法のミイラ作成キット』らしい。

試しに、近所の憎たらしいネコをミイラにしたみた。
何故かミイラにした途端すごく懐かれた。
魔法って、もしかして…？

翌日、僕は憧れの彼女を探していた。
けど、全然見当たらない。

諦めかけたその時。

「ねえ」

振り向くと、彼女が『ミイラ作成キット』を持って笑っていた。

作成、銀河系、ミイラ（後書き）

惚れミイラ？？ なにそれ…。 世界中にこの作成キットが降り注いだら、世界中がラブラブミイラに！ けど、なんだか変な感じい！（あたりまえですねー）

縁のカーテン、馬、パソコン

最近、うちのトマトを勝手に食べちゃう人がいるみたい。せっかく育てた縁のカーテンが穴だらけになっちゃって、すげへ悔しい。

だから、トマト泥棒を捕まえたいの。

けど、警備会社に頼むのは大げさだし、出来れば、あなたが見張つてくれるのが手っ取り早いんだけど……。

まあ、別の方法をパソコンで調べてくれてもいいのよ？

けど……。

結局、あなたが作ってくれた仕掛けは役に立たなかつたわね。

トマトを食べてたのは馬だったから。

緑のカーテン、馬、パソコン（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。窓際でいろいろ栽培すると、それがカーテンみたいになるのを「緑のカーテン」って言つらうございます。けど、馬が食べに来るようなところつて、どうだろ？　ダツシユ村？？

ふくらはぎ、渴望、ヒトデ

ヒトデは知ってるよね？
あの星型の生き物。

で、ヒトデって何に使えるか知ってるかい？

知らない？ そうだろうね。確かに、使い道はほとんどないね。
サンゴ礁に打撃を与えたりするから、大量発生すると駆除しちゃうしね。

でも、僕はヒトデから薬を作れないか研究してるんだ。
誰もが渴望するような、そんないい薬を作つてみせる。

だから……。

ねえ、このふくらはぎにくつつけたヒトデを取ってくれないか？

僕、怖くて触れないんだよ……。

ふくらはぎ、渴望、ヒトデ（後書き）

ヒトデを研究してゐるのに、ヒトデに怖くて、もしかして気持ち悪くて？　触れないなんて、ダメですね。　でも、気持ちはわかるなあ……。　けど、本当に何かに使えないか、使える薬が作れないか、研究がされてるっていうのは本当みたいです。

ふくらはぎ、渾脛、ヒトデ もの

「んひやうー。」

「ひー、変態ー、勝手にふくらはぎにわざわざないで！

な、なによ。そんなに悲しそうな顔して、どうかしたの?
え? チョコが欲しいの?

ふん!

どうせ、他の女の子からたーべるもんぢやない? 私のな
んか要らないでしょ!

やめてつたり…。そんなに渾脛するよつな皿で見ないでよ。

しょ、しょうがないな…。

じゃあ、このヒトデ型のチョコでいい?

え? なんでヒトデかつて?

お星様のつもりで失敗しただけよ!
追求しないで!

ふくらはぎ、渴望、ヒート ノイ（後書き）

うーん。バレンタインだし、強引にチョコの話題に…。お星様のつもりが、失敗して、ヒトデの形に…。つまり、最初っから、彼に上げるためのチョコを作つてたつてことですね！
うーん。さすがにこれはどのお題も無理矢理すぎるかも…。

スケジュール帳、将棋、味噌

皆はスケジュール帳つて持つてるかい？
もちろん僕は持つてるよ。

スケジュールは大事だからね。
僕のスケジュールの大半は将棋の対戦だ。
これでも、一応プロ棋士だからね。

ほら、こんなにびっしり。

あ！ 大変だ。 今日も対戦が入つてた。
危うく忘れるところだった。

不戦敗で、対戦成績に味噌が付くところだった。

でも、ほらね？ スケジュール帳に書いておけば大丈夫だろ？

問題は、どのスケジュール帳に書いたのか、忘れちゃうことだね。

スケジュール帳、将棋、味噌（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらったお題です。予定がたくさんあって、きっとスケジュール帳をたくさん持つてるんでしょうね。そんなにいっぱいの予定、大変ですね。スケジュール帳に書きれないほどの予定。どうやつてこなすんでしょう？

株主総会、液体窒素、寮

今、僕は会社の寮に入っている。寮には仲間がたくさんいるんだ。

そして、同じ趣味の人が結構多いんだ。だから同好会も作った。でも、社内には対立するグループがいるから気をつけないとね。

会社で親しそうに声をかけてくる人間は、半分くらいは対立グループのメンバーだ。

油断してると拉致されてしまう。

え、僕の趣味？ 僕たちは液体窒素同好会さ。

けど、驚いたのは株主だね。

株主総会のメンバーは、全員が液体酸素同好会なんだよ？

うーん。意味不明…。液体窒素と液体酸素、その同好会の対立…。
それにも、趣味が液体窒素つて、意味わかんない…。

くつ下、ボス、五十音

うちのボスはきれい好きだ。

どんなものでも、きちんと整理する。

家でも同じらしい。

だから、奥さんは掃除にとても気を使つて聞いた。

そして、災難は子供たちだ。

外から帰つてきて、ちょっとその辺にくつ下を脱ぎ捨てよつもんなら大変だ。

一日お説教らしい。

そんな彼が非常に気になること。

電話帳は五十音順にきれいに。

しかも、全てが埋まってないと落ち着かないらしい。

「誰か『を』で始まる人、知らない?」

居る訳ないじゃん。

へり下、ボス、五十音（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。『を』もそつだけど、『ん』も居ないですよね？ もうと…。

めがね、朝日、大仏

一日の始まり。朝日は眩しすぎて嫌いだった。

沈んだ気持ちで鏡を見ては「大仏みたい…」そう落胆した。
自分の容姿に自信などなかつた。

めがね属性って本当だろうか？

私でも、めがねを掛ければ変われるだろうか？

そんなことで変わる訳がない、それは分かつていた。

けど、変化は突然訪れた。

きつかけはあいつだ。

「おはよう！」

久しぶりの声だった。

一言だつたけど、でも、確かに私は変わった。

だつて、朝日が待ち遠しくなつたから。

めがね、朝日、大仏（後書き）

何でもないきっかけで、なぜか突然世界は色に満ちる。ただ眩しかった光はきらめきに。それは恋の訪れかもしませんね。ナーリンテネ。

かたつむり、ダンボール、宇宙ステーション

宇宙ステーションでは、様々な実験が行われている。かたつむりとナメクジの競争など、何の意味があるのか全く判らない。

それでも、ただ宇宙でやることに意義が認められていた。

国際的な協力で宇宙ステーションは拡大してきた。

これまで、最先端として順調に運営されてきた。

けど、不況のあおりで、人員削減の波が襲ってきた。

先日の打ち上げではダンボールと新聞が輸送された。

それは失業者のための家とふとんと言つことだつた。

かたつむり、ダンボール、宇宙ステーション（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。うーん。何かの捻りが出ないかなあ、と漠然と書き始めました。結局、何の展開もない感じ…。

ハバネロ、アフリカ、深い

ハバネロ、それは辛さの代名詞にもなっている。
けど、辛さだけならもつと辛いトウガラシは存在する。

でもハバネロは辛いだけじゃないんだ。 フルーティな香りもある。

だから人気になったんだ。

確かに僕は寒いのは嫌いだ。 暖かい方が好きだ。
けど、僕がアフリカに行くのは、そんな理由じゃないんだ。

もつと、深い理由があるんだ。

広大な自然に囲まれて暮らしてみたい。
ここでは感じられない何かを感じたい。

出来れば、きみと一緒に。

ハバネロ、アフリカ、深い（後書き） (あき)

ハバネロ、アフリカ、どう絡ませると…。最初は黄金のハバネロ！とか考えてみましたが、挫折しました。で、ちょっと強引な展開で強引につなげました。

尾長鶏、弾圧、アプリケーション

「コンピュータって便利だよね。何だって出来る。
まあ、やりたいことに対応したアプリケーションがあれば、だけ
どね。

所詮は計算機、実際には何も出来ないって思つてるかい?
ところが、そりでもないんだな。

まあ確かに、尾長鶏の料理に関しては、レシピしか出でこないだ
らア。

けど、ネットのあちこちで、とも權威があるかの様に、特定の方
向で記事を載せると……。

まじ、言論弾圧なんて簡単さ。

もつ、君の言つことなんて誰も信じしない。

尾長鶴、弾圧、アプリケーション（後編）

ありやりや、ネットに載つてる記事つて信憑性がイマイチなものが
ありますよね。インターネットは宝の山、だけど、見方を間違え
ると「みの山」。うーん。なんでこんなお話になってしまったんで
しょう…？

洗濯機、ケーブル、一升瓶

「このケーブル、何のケーブルか判るかい？」

電源ケーブルだと思ったけど、でも違うんだ。

洗濯機をつないだけれど、ピクリとも動かなかつた。

せつかく、洗濯できると思つたのに。

「ふーん。それで、私が頼んだ洗濯が終わつてない訳？」

だから、電気が使えないで、出来なかつたんだよ。

「その一升瓶は？」

「え？」「これは、その…。」

「もういいわ。私に熱燗ちうつだい」

は、はい。今、チンします！

「あら、電気使えるじゃない」

しまつた！

洗濯機、ケーブル、一升瓶（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。うーん。切れが悪いです…。

パソコン、雲隠、世界

世界で一番強いパソコンって知ってるかい？

そう。速い、じゃなくて強い。

そんなパソコン。

そのパソコンはとにかく強い。どうやつたつて壊れない。

普通のパソコンだつたら、象が踏んだら壊れる。

けど、そのパソコンはそんなことでも平氣だ。

けど最近、その最強パソコンを見なくなつた。

どうかに雲隠もしたんだろうか？

風の噂に聞いた。どうやら、とりひとつ壊れたらしい。

ハードは丈夫だつたけど、ソフトがバグだらけだつたらしい。

パソコン、雲隠、世界（後書き）

強いパソコン…。それは突然思いつきましたけど、でも、きちんと使い切れませんでした。なんだかヘンテコリンな落ちになってしましました。

天体観測、ティッシュペーパー、宇宙

今日は天文部恒例の天体観測だ。

みんなで天体望遠鏡を覗き、宇宙の神秘について語り明かすんだ。

けど、困ったこともある。

この季節、花粉に敏感な人にとってはつらい季節だ。

くしゅん。

ぐしゅぐしゅ…。

みんな結構つらそうだ。

けど、誰かが持ってきたティッシュがすごくいい感じだ。

「あ。このティッシュペーパー、すごくいい」

「ホントだ。何度も使つても痛くない」

「どこで売つてるの?」

「俺も俺も」

宇宙の神秘はどこへいった…?

天体観測、ティッシュペーパー、宇宙（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。卒業生のお別れ会も兼ねての春先の開催。それは花粉が飛びまくつての季節。鼻かんでると、すぐにトナカイさんになつてしまつて、結構いたいんですねー。

献杯、滝登り、冷え性

献杯って知ってる？ 乾杯とは違うんだよ。乾杯がおめでたい時にすることになつて、献杯つてのが出来たんだ。

そう。 つまりめでたくなこと。 お葬式とかのときにするんだ。

まさかあの人…。 そう思つたけど。

つい先日、滝登りするかの勢いで泳いでた…。 元気だったのにな…。

でもやつぱり、過ぎたるは及ばざるが如し。 だよね。

冷え性だからって、生姜とか、にんにくとか、食べ過ぎたりして。

血が回つすぐれて頭から噴出したらしい…。

献杯、滝登り、冷え性（後書き）

まあ、ちょっと不謹慎な感じ…。冷え性対策として、生姜とかにんにくって利くことは利くらしいです。あと、乾杯。最近では御出度い時にしますけど、元々は弔事の席での慣習だつたらしいです。それがいつの間にか御出度いときのものになってしまって、献杯っていうのが後から生まれたらしいです。（ぐぐつたらそう書いてありました…）

洗濯機、墨汁、シャワー

今、とてもシャワーが浴びたい。

羽根突きで大負けして、全身に墨汁で落書きされたんだ。

彼女、酷いんだよ。

はしゃぎ過ぎだと思つな…。

大人なんだから、もう少し抑えて欲しいよね。

とか×はまだいいけど『好き』とか『私の』とか、そんなこと書かないでよ。

照れるじゃん。

で、シャワーを浴びたかったけど、うちにはないんだ。

仕方ないから洗濯機に入つたんだ。

いやあ、大変だった。

子供だったら死んじゃうかも。

大人でよかつた。

洗濯機、墨汁、シャワー（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。うーん。今回ばかりはグダグダに…。

ルーマニア、真剣、白虎隊

ルーマニアには魔女がいる。

魔女たちは主に占いやまじないで暮らしてゐる。
きっと、最近は以前にも増して真剣にやつてゐると思つ。

なぜつて？

なんと魔女が職業として認められたんだ。

けど、おかげで税金はとられるし、
しかも、占いが外れると罰金らしい。
大変だね。

白虎隊は会津を守る為に戦つた。

当然、魔女たちもそんな法律に対して戦つた。
マンドリカラゴラで呪いをかけたりしたらしい。

で。

ところで、なぜきみはわら人形を打つてゐるの？

ルーマニア、真剣、白虎隊（後書き）

えー。ラストはちょっと意味不明ですね‥。何か恨まれるようなことしたんでしょうかね？でも、ルーマニアで魔女が職業として認められた、っていうのは本当なんです。

円盤投げ、山、Hンジン

僕は山奥の小さな村で生まれた。

その村の学校では円盤投げが盛んだ。何故かって？

円盤を一番遠くまで投げるものが、一番創造主に近い。そう言

じられてこらからだ。

そんなの単なる迷信だと思つてた。

けど、とうといわれは降臨した。

予想通り、彼らは円盤でやってきた。

どんなエンジンか知らないけど、遙か彼方からやってきたんだ。

何しに来たのかつて？

彼らは、円盤から降りるなじこいつだった。

「北日本文学賞、まだ間に合つかな？」

円盤投げ、山、Hンジン（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。
味不明ですね…。

円盤投げ、大分意

握手、柿、ガレット

また戦いの季節が訪れた。

今年は飛躍したい。 そう考えていた。

何のことかって？

ガレットコンテストで、優勝を目指してるんだ。

去年は柿を乗せたガレットで優勝した。

だから、今年はさらに和風で攻めよう。 そう考えた。

そんな僕を助けてくれたのが彼だ。

新メニューが完成したとき、僕たちはがっちりと握手した。
完璧だ。 そう思った。

生地も味も新しい。

さあ、いよいよ講評の時間だ。

その評価は…？

「これ、お煎餅ですね」

「あれ？」

握手、柿、ガレット（後書き）

ガレットって、フランスの食べ物ですね。 としても、お菓子としても、お菓子としても色々なパターンがあるようです。 円くて薄いもの、という意味があるそう、「じゃあ…」と思いました。

秋刀魚、絵筆、一升瓶

秋刀魚の一一番おいしい食べ方って知ってるかい？
がつと焼いて、醤油と一緒にすだちでも搾つて、お好みで大根お
ろしを添える。

シンプルな食べ方が一番おいしいんだ。

絵画だつてそりでしょ？

絵筆で何度もなぞつたりしたら、線がぼやけてしまつ。
ビシッとシンプルに決めないとね。

見ててみな。

線つてのはこいつやつて引くんだ。

えい！ どうだ！

あ、何してるんだ！

止めてくれ！ その一升瓶は取るな！

それが切れると、手が震えちゃうから……。

秋刀魚、絵筆、一升瓶（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。すつごい困ったんですけど、『田黒のさんま』を見ているうちに思いつきました。けど、この人、単なるアル中じゃん、なんちやつて。え？ 決して鉄人のことじゃないですよ。エエ。

眠気、弾き語り、スプレー

スプレーって言えば、やっぱ落書きだよね。
灰色のコンクリートにビシッと『夜露死苦』 これで決まりだよ
ね。

そして箱乗り。 尖つてこの人生。

でもさ、春先は、そう尖つてばかりもいられないよね。
お昼過ぎなんて、眠気に対抗するのは人間には無理つて感じ。
なんでそんなに眠いのかつて？

夜はバイトなんだ。

駅裏で弾き語りをするんだよ。

結構人気なんだよ？

何を歌うのかつて？

一番は「はとっぽ」かな。

恥ずかしいから、内緒だよ？

眠氣、静か語り、スプレー（後輩を）

うーん。落ちが決まりません…。

ねえ、白鳥ポート、猫じゃらし

その石ころで何するつもり?

え? ああ池ね。つてまさか、その石ころを投げるの?

そんなことしたらダメよ?

ポートが一杯いるでしょ? 危ないわ。

全く、子供ね。

ん? あの白鳥ポートに乗つてるの...
あいつ...。

何よ! ニヤニヤして! 昨日は私を口説いてた癖に!

なんか腹立つわ。

その石貸して! ぶつけやる!

あひやひや!

なにがあるのよ!

猫じゃらしなんか仕舞いなさい!

ああ、もつ、じつでもいいわ...。

それより。ね、ポートでも乗らない?

ねる、白鳥ポート、猫じゅりじ（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。ま、まあ、白鳥ポートに乗つてゐるあいつは、どっちかつていつとどつでも良くて、で、となりにいるのが本命つてつもり、なんですが、何だか全然意味不明な感じになつてしましました…。

鼻歌、会員券、かなしあり

最近、かなしありに遭つことがある。

熟睡していたつもりが、ふと田が覚めてしまつたとき。

暗闇の中で、身動きがとれなくなつてゐる。そんなことがある。

ああ、まだ…。

となりにいるはずの妻に助けてほしいけど、声も出ない。

そしてほら、どうからか鼻歌が聞こえてくる。

「会員券はどこかな～」

「美食クラブの会員券～。明日はパパに内緒でいこうよお～」

「へへ。連れてくから…。

だから、この繩と猿ぐつわを外してくれよ…。

鼻歌、会員券、かなしばり（後書き）

それ、かなしばりじゃありませんから！！ なんて…。この旦那さん、美食クラブに一人で行つてたんでしょうかねえ、そりやー奥さんだつて、おいしいもの食べたいもんね。（こんなものを投稿した日に、仲良くお出かけご飯の活動報告がありました…。あはは。いいなあ）

ワイシャツ、ティッシュペーパー、観覧車

私は花粉症なの。

もうティッシュペーパーは手放せないの。

そのところを、あなたにはよく分かってほしいの。

あなた、花粉の凄さを知らないでしょ？

高度五千メートルでも飛んでるのよ。

こんな観覧車程度では花粉から逃れられないの。

だから、私はいつでもティッシュが必要なの。
たとえ洗濯でもティッシュは捨てたくないのよ。
分かってくれたかしら？

「でも、洗濯前にポケットからティッシュは出そうよ…。」 ワイシ
ヤツが…」

う…。

ワイシャツ、ティッシュペーパー、観覧車（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。きっと、彼のワイシャツに細切れになつたティッシュがた一くさん付いてるんでしょうね！なんだか、鼻がむずむずしそう……。けど、落ちに切れがない……。

ぐじびき、焚き火、半月

今日は半月だ。

天気も晴れの予報だし、問題はない。

だから、今晚は焚き火を囲んで会合だ。
焚き火って便利なんだよ。

まず暖かい。この季節、まだ寒いから、これは重要だ。

そして、美味しい物を焼いて食べることだって出来る。
お酒の燗だつてバツチリだ。

ただの宴会だろつて？

いやいや、そう言う訳じゃないんだよ。

党の役員人事、そしてマニフェストを決める重要な会合なんだ。

え？ どうやって決めるのかつて？

もちろん、ぐじ引きだ。

くじ引き、焚き火、半月（後書き）

え、党？ 最初はくじ引き同好会って設定だったんですけど、くじ引きで何を決めるのかなあって考えているうちに、マニフェスト（なぜ？）を思いついて、じゃあ、つてことで…。うーん。そうやつて、宇宙人を代表にしたんでしょうか？ ナンチャッテ。

正座、名湯、シャワー

僕は今、正座してかちこちになっていた。

何故つて、今田にそ彼女にプロポーズしようつて思つてゐるかい。

「あ、あの……」

けび、こぞるとなると、言葉が出ない。
情けない……。

「で、次の名湯めぐりは何処?」

「へ? そ、そうだね……。道後温泉なんじどうかな
「それもいいわね」

温泉が趣味だからつて、何言つてゐるんだ。
あ? もしかして、ばくらかそつとしてる?

望み、無いのかな……。

「けび、あなたと一緒にシャワードも素敵かしつ
「え……」

正座、名湯、シャワー（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。ちょっと彼女、大膽すぎ？ 正座が思いつかなくて、とりあえずプロポーズで、と書き始めて、あとはグダグダに…。

ガーターベルト、ドイツ、金融

金融界のドンたちの今日の会合のタイトルは『ガーターベルトと円高の関係』

何よそれは？ 関係あるの？

あら、でもデータがあるのね？ それ、本当なの？

で、次のグラフは。『ガーターベルトの色とドイツ第三帝国の支持率』？

そんなデータ、どうやって揃えたの？ つていうか、そんな昔からやつてるの？ バカじやないの？ いえ、バカに違いない。

次は？『ガーターベルトの長さと夫婦喧嘩の回数』

へ。へー…。

もう一セソンチ長くしようかな…。

ガーターベルト、ドイツ、金融（後書き）

いや、いい加減ガーターベルトから離れなさいって感じですけど……。
とすると、次はなんでしょうねえ。スカートの長さと出生率?
え、関係ない? 失礼しました。それにしても、ガーターベル
トと××、どんなデータなんでしようねえ? 想像もできないけど
……。書くだけって楽ですねえ

猫の集会所、絵筆、バス

猫の集会所の見回りは僕の仕事だ。

集会所を巡つて、街中、いや、バスも使って、隣町にもいく。

その様子を描く為のお絵かきセットは忘れない。

絵筆はこだわりの十一号だ。ま、それは趣味だけどね。

あのミケ、一丁目の集会所にもいたよな。あっちのブチは隣町
でも見たな。
あれ、いつもタマがいないな……。

道の向こうの集会所かな?

ちやんと調べとかないと。

ビーハー、どんな猫がいるのか、それはとても重要だ。

僕?
僕は三味線屋だよ。

猫の集会所、絵筆、バス（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。　ああ！ひどい！猫の敵ですね！　けど、そうなると絵筆が意味不明ですね…。

清水寺、ヤンデレ、一拳両得

「私、ヤンデレの」

「うそ。君はオーラー」

ギロ。

「何か言つた？」

「なんでもありません……」

「さ、ヤンデレを治すために、清水寺で修行しましょうか？」

「え？ ああ、いつてらっしゃい」

「なによ。 私一人に行かせる気？」

「へ？」

「あなたも一緒に？ それが一拳両得ってことよ」

「な、なぜ？」

「なぜも何もないわ。 あなたも行くの！ わかった？」

「な、なんとなく……」

「じゃ。 はい、これが荷物」

「オ……」

ギロ。

「何か言つた？」

「ハイ

清水寺、ヤンマー、一挙両得（後書き）

えー、もひ無茶苦茶です。この子、絶対にヤンマーじゃないと思う。これはシンテレですよねえ？まあ、確かに病んではいるかもしれないけど……。ま、お互いそれは分かつた上での関係で、単なる旅行ですね。ヒするヒ、この子、実は意外と照れ屋？なんて……。

ウーロン茶、墨汁、またたび

墨汁ってどんな味だろう?

甘いかな、辛いかな、それとも苦いかな?

それとも、ウーロン茶みたいに、味はあまりないのかな?

ああ、考え出すと止まらない。

猫はどう感じるだろう?

またたびを混ぜたら、猫は墨汁をなめるだろうか?

あ…。でも、猫がどう感じたのか、聞くことができないか…。

ああ、でも気になる。どうしたらいいんだ!

そうか! 判らないなら、判るようにしてしまえばいいんだ!

といつ訳で。

ラー油入り墨汁。 絶賛発売中!

ウーロン茶、墨汁、またたび（後書き）

- - - - -
文学少女風三題嘗作成からもられたお題です。いや、そもそも食べたり飲んだりしたらダメでしょう。どうしてそこから離れられなかつたのかなあ。テへ。

母の日、案内、金星

郵便受けを見ると、何かの案内状が来てる様だった。長年勤めた役所も来月退職なのに、何の案内だろう？

が、次の瞬間、僕の頭の上には大きなハテナマークが浮かんだ。

『母の日振興財団 定期大会』

そう書いてあつた。

母の日なら知ってる。 と思う。

けど、振興財団？ 定期大会？

何それ？

だが、その案内をよく見て、納得した。

大金星だ。

その案内状の、理事の一覧に僕の名前が載っていた。
官僚に不可能はない。

僕の出向先が出来たんだ。

母の日、案内、金星（後書き）

『うつて、母の日から』的なお話を…。怪しげな財団の如何をつ
けたら、二つの間にかこんなお話になってしましました。

ベッド、絵筆、ジエットコースター

私の絵筆には魔法の力があった。

手に入れたのは幼い頃。クリスマス、枕元のベッド下に入つてた。

『魔法の絵筆・取扱説明書』と一緒に。

その絵筆で、説明書通りに一生懸命に絵を描いた。

絵の評判はジエットコースターの様な勢いで上昇した。
魔法の力は圧倒的だと思った。

けど、お母さんが教えてくれた。

「魔法なんかないわ。絵はあなたの力よ」

説明書をよく見ると、それはお父さんの字だった。

そう。魔法は両親の優しい気持ちだった。

ベリ下、絵筆、ジエラード・ペースター（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。 魔法の××、いつものパターンとはちょっとえてみました。 そうしてみたら、ちよつと優しいお話になつたかも？

国産、夜光虫、ハイヒール

私は、夜の街に漂う夜光虫だった。

夜光虫って綺麗だけど、何の目的もないのよ。

陽が沈むころ、赤いハイヒールを履いては街に出かけた。吸い寄せられる様に男が寄ってきた。

ドライブに行きたって言つたら、色々な車が出て來たわ。外国製のスポーツカー、時には国産の軽。

でも、誰も私自身を見ててくれなかつた。

だから、いつも満たされなかつた。

けど、あなたは私を見ていたわね。

恋に落ちたことに気が付いたのは何時だつたかしら？

国産、夜光虫、ハイヒール（後書き）

うーん。よく判らない話になっちゃいました。そもそもお話をなつてないかも…。まあ、でも、幸運な出会いがあった、ってことかなあ？ あはは。自分でもよく判らない…。

円盤投げ、セロハンテープ、醤油

円盤投げには醤油が必要だ。

だって、まず円盤を買わないとな。

それには、山向こうまで買いに行かないとね。

とすると車が要る。

車は彼女が持ってる。ならば彼女とドライブになる。

ドライブでは、途中でお茶になる。

お茶の時間にはおやつが必要だ。

おやつは絶対にお煎餅だ。

お煎餅を作るには醤油が必要る。

ほらね？

で、やっと手に入れたのがこの円盤。

さあ、思いつきり！

エイッ！

ガシャーン！

あ。

本当に必要なのはセロハンテープかな？

円盤投げ、セロハンテープ、醤油（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。うーん。醤油が苦しくて、無理に最初に出したら、こんなことに…。自分で円盤作つた方が早いかもせんね？ セロハンテープも何だかわからないかなあ…。

ポスター、正社員、尖塔

どうだい君、うちの会社に入らないかい？
このポスターに大体は書いてあるけど、詳しく説明しよ。

うちは尖塔を作る会社だ。

尖塔を知らない？ 寺院とかにある、先の尖った塔だよ。

だが、我が社の尖塔は、なんと家庭用だ。

ちょっとオーリエンタルな雰囲気を出したい家にはぴったりだ。

どうだい？ 今、我が社は、先着五名様まで正社員だよ。
一緒にオリジナルでエキセントリックな尖塔を作ろうよ。

あ…。

どうして、みんな逃げるのかなあ？

ポスター、正社員、尖塔（後書き）

どうです！一家に一つ尖塔を！夕暮れには尖塔に登つて夕焼けを見る。そんなライフスタイルがあなたのものに！さあ！で も、そんなオプションは聞いたことありませんね。

ティー カップ、墨汁、一升瓶

目が回る……。それに胃がムカムカする……。

周囲を見回すと、空になつた一升瓶が一、二、三、……。えー
と、たくさんある。

だからって、こんなに頭がガンガンして、吐き氣がするなんて変
だね。

え？ そんなに飲めば当たり前でしょつて？

だつて、あれば透明な墨汁だよ？ 飲んでも酔わないはず！
昨夜はその実験だつたんだよ。

あれ？ ここのボトル……。ここの琥珀色の液体は？

今度は紅茶色の墨汁？

じゃ今夜の実験は、ティー カップで飲まなきやね。

ティー カップ、墨汁、一升瓶（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。うーん。また墨汁を飲む話に…。って、これ、絶対に墨汁じゃないですよね？きっと材料はお米とかモルトですよね？ 酔払いの言い訳もここまで来ると、怒る以前に目が点ですよね。 それにしても懲りませんね。

瞼、ビーズ、指相撲

小学生の頃って、無邪氣でよかつたよな。
瞼を閉じると、浮かんでくるのは懐かしい光景ばかりだ。

あの頃、なぜか指相撲が大流行したよね。
お互いの手を握り、親指を立てると、相手の親指を押さえつけようと必死だった。

皆、なんであんなに熱中したんだろう？

勝つと、相手からビーズをもらえるってルールだったから?
ビーズも流行ってたね。

君とも随分とビーズのやりとりをしたよね。

でも、僕は君の手に触れるだけで嬉しかったんだ。

瞼、ピース、指相撲（後書き）

小学生のころの懐かしい思い出、その後、僕は君とどうなったんだ
しうね。お互いの道は別れてしまったのでしょうか？ 幼い頃
の思い出は切なくて、暖かいですよね…。

野良犬、名湯、エンジン

ジャパネットから注文の品が届いた。 名湯作成キット。
面白そうでしょう？

説明書によると、必要なのは野良犬、スコップ、そして信じる気持ち。

だそうだ。 この怪しさがたまらない。

元々名湯はどうでもいい。

何が起きるのか、それが知りたい。

。

この前のジェットエンジンには驚いたな。
何と膨らませた風船を束ねるだけだった。

面白かったけど、息が続かなかつたのは残念だった。

今度は何だらう？

スコップを担ぎ、野良犬を探すことにした。

野良犬、名湯、エンジン（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。エンジンが難しい……。
野良犬も訳わかんないけど……。

柿、行商人、足軽

俺は足軽だった。 いざ戦になると、前面に立つて戦った。
けど、やっぱ辛かつた。

で、足軽の権利を守るために、労働組合を作ったんだ。
戦は一日八時間。 月の残業は四十時間まで。
けど、あんまり変わらなかつた。

で、諦めて、行商人になつたんだ。
そして柿を売り歩いてるんだ。 儲かるよー。
なんで柿かつて？

柿はすごく栄養があるんだよ？

それにさ、みんな、お酒が大好きでしょ？

そ。 一日酔いには柿。

一個百円だよ。

「はい。 まいどありー」

柿、行商人、足軽（後書き）

うーん。ちょっと落ちが弱いかなあ。 戦は八時間、の労働組合、午後五時のほら貝で、その日の合戦は終了。 なんちゃってー。

石ころ、カレーライス、五十音

今日も、一人でゲームをしながら帰つた。

「石ころ」

「うさぎ」

「絵の具」

五十音順に言葉を言い合つゲーム。

但し追加ルールがあつて、食べ物は禁止だった。

「えつと…」

「ほら、あと十秒だぞ？ 九、八…」

「お、お日様！」

「なる…。あ、か？ か、か…」

「ほらほらー。十、九…」

「か、カレーライス！ つて、しまつた…」

「ぶう。失格う」

「ちえー」

「そんなにカレー好き？」

「うん。 大好きだよ」

「ふーん。 私とどつちが好き？」

「え」

石川、カレーライス、五十音（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。 幼馴染の男の子と
女の子ってイメージです。 おませさんは、もちろん（？）女の子で
すね。

宇宙、与力、雪景色

最近、夜のうちに妙な事件が起きる。川原に、重い物が置かれた様な跡がつくんだ。当然、誰も覚えが無い。

雪の降る中、与力の私も岡引たちと一緒に見張ることにした。

真夜中、何もないのに、突然、雪景色の中に跡が出来た。よく見ると、周辺に妙な形に雪が積もってる。何か透明なものがあるようだ。

不意に空中にドアが開き、何かが飛び出してきた。
どうやら、宇宙人のようだ。
何してるんだ？

「そむー、トイレが近くなつていけないや」

宇宙、与力、雪景色（後書き）

雪が降るような寒い日はねえ‥。 宇宙にでも季節はあるのかな?
UFOに乗っても寒いのかな?
UFOのヒアコンが壊れてるんですね。きっと。

ティー カップ、ステッキ、醤油

僕は今、魔法のステッキを持つてる。

これ、凄いんだよ。

え？ 言わなくとも、どんなものか判る？

まあ、誰もが気が付くかもしれない。

そう。このステッキで指示して、言うだけだ。

それで何にでも変わる。

例えば、あのティー カップには、紅茶が入ってるね。

コーヒーって言って、このステッキで指示せば、コーヒーにな
る。

ティー カップが「コーヒー」になるかもしれないけどね？

それより問題は。

今、僕が「醤油」としか言えないことだ。

ティー カップ、ステッキ、醤油（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。魔法のステッキとそれ操るお馬鹿、というか困つた人。世界中が醤油だらけにされてしまうかもせん！！

ルームキー、おっぱい、街道

街を通りの街沿いにホテルが出来た。

新物好きの私たち夫婦は、早速泊まりに行ってみた。

周辺はいつもの街だけど、一つ新しかったのはルームキーだった。それは、始めて見るカードキーだった。

夜になり、お酒を飲みながらカードキーで遊び始めた。

随分と酔つたのは確かだ……。

気が付くと、おっぱいでキーを挟むなんて話が出ていた。

けど、それは無理。

そして……。何故、そんなに酔つたのだろう?

そう。私は三段腹に挟んでみせたのだ。

ルームキー、おひさま、街道（後書き）

まあ、ホテルが出来たから、ちょっと試しに泊まりに行つてみよつ、
なんてことはしませんけどねえ……。随分と仲良しの夫婦ですね。
それにもしても、なんでそんな挟みつこになってしまったのでしょうか。
う……。酔っ払いは危険だ……。

木の机、白鳥ポート、英語

「はあ」

僕は木の机に座つて悩んでいた。

悩みは、英語で何て言つんだらう? ってことだ。

何を言いたいのか? それはデートのお誘いだ。
となりに住む外人の女の子を好きになってしまった。

彼女と二人で、一緒に白鳥ポートに乗れたら最高だ。
想像するだけで顔がにやけてしまつ。

えい、当たつて砕けるだ。

思い切つて、となりの呼び鈴を押した。

扉を開け、彼女が出てくる。この笑顔が素敵だ。

「ハ、ハロー……」

「あら、こんにちは」

あれ?

木の机、白鳥ポート、英語（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。外人さんでも、日本に住んでいれば、日本語話せますよね？ きっと…。

墨、鰐、檸檬

想像の翼を広げることはとても楽しい。
そうして生まれたのが私。

私は誰かつて？

鰐、字の通りで、体は魚、頭は虎。
そんな想像上の動物だったはず。

けど、とても強く念じながら、絵を描いた人がいた。
きっとそれは水墨画だったんだ。
だって、私は白黒だもの。

そして今、もう一匹の鰐が生まれた。

私は甘酸っぱい気持ちを感じてる。

彼を見詰めながら考える。

鰐でも一目惚れってあるのかしら？

そして…。

ファーストキスは檸檬味かしら。

墨、鯱、檸檬（後書き）

うひや。鯱の初恋話[...]。（どんな話？？）鯱同士のキスつて[...]。あの、天守閣に乗つてる金色の鯱の唇同士がががが[...]。うーん。不思議な想像です。それにしても、墨、ちょーいい加減に使つてしましました。お話的にも全く意味がない使われ方ですね[...]。

窓拭き、恐竜、またたび

私の彼は窓拭きだ。

知り合つたきっかけは恐竜だ。

私は恐竜が大好き。

曇つた窓ガラスを見つけると、恐竜の絵を描いてしまう。

大抵は慌てて消してしまう。

見つかつたら恥ずかしいから。

けど、あの日は違つた。

ふと、窓の向こうの彼と目があつた。

彼は、ガラスに『可愛い恐竜だね』 そう書いてくれた。

それが出会いだった。

恐竜を褒められた私は、またたびを『えられた猫の様になつた。

時として思う。

彼のまたたびは何なのかな？ と。

窓拭き、恐竜、おたたび（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。恐竜がきっかけの力
ツブル誕生！でも、どんな恐竜でしょう？ それにしても、変わっ
た趣味ですね？

休日、阿呆、シンデレラ

休日だけど、今日は文化祭。

我が校の伝統行事「シンデレラコンテスト」が開催中だ。

私は出場しないけれど、クラス代表のメイクを手伝いに来た。人の顔にメイクをする、っていうのは楽しいわよね。熱が入ったのも確かだと思う。

でも。だからって……。ねえ？

私は自分がメイクした人の顔を阿呆の様に呆けて見詰め続けていた。

どうして、こんなにきれいになるのかしら?
けど、嫉妬する気は起きない。

そう。シンデレラたちは、全員男だ。

休日、阿呆、シンデレラ（後書き）

あはは。人によつては、本当にきれいになりますよ？ シンデレラ
コンテストがきっかけで何かに目覚めたりして？ いやー怖い怖い。

マラソン、墨汁、電車

確かに、墨汁を使えば、書道は格段に楽になると思う。
けど、樂をすることを追求したんじゃいけないでしょ？
丹念に、丁寧に、墨を磨くことから、もう書道は始まっているはず
？

だからマラソンで行きましょう？

運動して汗をかくのは気持ち良いし、健康的でしょ？

ただ目的地に着けば良いってもんぢゃないでしょ？

だから、車で行くのは止めましょう。

せめて電車にこもりましょう。

どうして？

だって、車は酔つんだもの。

吐いてやけうかも‥。

マリソン、墨汁、電車（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。車酔いつて、つらいですよね、子供のころはバスが苦手だったなあ。

不敵、運命、雨音

最近、雨音が絶えない。

そのせいか、田の前には洗濯物の山があった。
「混沌だ…」

そこにお節介な東洋人がやつてきた。

「おはようー。って、なにこれ？」

「見て判らないのか？ 洗濯物だ」

そう言い、不敵な笑みを浮かべる。
彼は戸惑ってる様だ。

「言語化してやるわ」

「え？ いいよ」

「遠慮するな、運命だ。 洗え」

「そんな！」

だが彼は、結局洗濯に行つた。

でも気が付いているだろうか？

この私が、結局は彼の言つ通りにしてくること…。

不敵、運命、雨音（後書き）

えーと、何だかイメージがそっちに行ってしまったので、そのイメージで書きました。判る人には判ると思いますが、GOSICKのヴィクトリカと一弥くんのイメージです。私のカオス（バグ）は中々言語化（発見）出来ません…。なんちゃって。

物干し竿、馬、宇宙

僕がロマンを感じるのは何だと想つ?

それは宇宙や。決して語りつくせない魅力がある。

もう少し掘り下げてみよつか?

それは電気もガスも使わずに、そのままでは着られない服を着られるようにする。

そう。物干し竿いや、最高だよね?

晴れてさえいれば、乾燥機なんか用いじやないよね。

え? ロマンがない? 失礼だな。

じゃあ、君のロマンは何だい?

馬? それも確かにロマンに溢れてるね。

けど、おかげで、今、僕は橋の下に住んでるけどね。

物干し竿、馬、宇宙（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。　ああ！それで、電
気もガスも使わない物干し竿に凝ってるんですね？　私自身も書く
まで落ちの意味に気付かせんでした。

命名、鍋奉行、稻光

鍋を究める友の会、それがこの団体の正式名称だ。元々は、鍋になると鍋奉行をやつてしまつ、そんな鍋好きの同好会だ。

けど、最近は究めることの目的が変つっていた。

今日も、不穏な雰囲気が溢れてる。

各自で持ち寄った具材を、思い思いのタイミングで投入していく。味は食べてのお楽しみだ。

だが、最近は楽しみより不安が大きい。

稻光に、具材が垣間見えた。

誰だろ? 最初に始めたのは……。

その瞬間、それは『闇鍋』と命名された。

命名、鍋奉行、稻光（後書き）

稻光で照らされる得体の知れない、食べ物かどうかも判らない何か…。きっと、最初は普通の鍋だったんだろうなあ、どうしてそんなことに？ それは謎です！（考えてません！）

窓拭き、キャンピングカー、太陽

今日は快晴。

この最高に気持ち良い太陽の光を余すことなく取りこむんだ。
だから、窓をピカピカにしちゃおう。

そう考えると、窓拭きも良いものでしょ？

けど、因果なもので、私たちは天気が怪しい方がよく出かける。
突然、庭で大きな音がして、キャンピングカーミたいな車で飛び
出していく。
全く荒っぽい。

私たちは竜巻を追いかけてる。
最初は竜巻なんて知らなかつた。

けど、一緒に追いかけている内に、それは一人の夢になつていた。

窓拭き、キャンピングカー、太陽（後書き）

文学少女風三題断作成からもったお題です。ツイスターって映画をなんとなくイメージします。竜巻のデータをとつて、その発生の予測をする、そんなことに情熱を燃やしてゐる人たちのお話だったかな？

ミルクティー、れんほー、紫

最近、れんほーさんは大変かなあ？
出る杭は打たれる、つていうことかもしれないね。
色々な予算を縮小したもんね。

ま、実際にその効果が出るのは何年か先かもしないけど。
でも、目立っちゃったからね？

今頃、顔中、いや体全体が、青じろいから紫になってるかもね？
仕方ないね。

そう言つ僕が何をしてるのかって？
何も変わらないよ？ 当口から、優雅にミルクティーを味わつてた
よ？

だつて、宇宙人だもん。

あ、寄付？ お母様にきことくよ。

ミルクティー、れんほー、紫（後書き）

うーん。「れんほー」つてお題をどうしようかと思つたんですけど、今、こんな使い方しか思いつきませんでした。どこまでを必要とするのか、その判断は非常に難しいものがあると思います。そして、災害対策、想定する規模をちょっと上げると、突然、とんでもない費用が必要になるんだろうなあ、津波対策は想定外、というのは何となく理解できるけど、原発の方は、聞けば聞くほど頭に来るのはなんででしょう？だから、原発はダメだ、もまた極端だとは思ひますけど…。はあ。

かたつむり、絨毯、クーラー

かたつむりって動くのが凄くゆっくりだね。
でも決して停まらない。確実に進んでく。
スピードじゃないんだ、継続すること。
少しづつ、それが大事だよ。

そして、どんよりとした曇り、雲つて憂鬱だよね？

でも、上に出てしまつと、それは青空の中の真っ白い絨毯。
とっても爽やかなんだよ。

捉え方次第、だよ。

いきなりクーラーなんてダメ。

昔はクーラーなんて無かつたんだから。

よじづ、「うちわ、そして風鈴で十分。
まずは気分から、ね？」

かたつむじ、絨毯、クーラー（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。うーん。お題から、お詫ががつまく思いつきませんでした…。

ねじれで、ヒョウモントカゲモドキ、掛け軸

僕のおじさんは骨董品を集めるのが趣味だ。

だから、おじさんの家には山ほど骨董品がある。当然、床の間には掛け軸がかけてある。

不思議なことに、その掛け軸に描かれてくる絵は、時として変化する。

そして、その絵はとてもリアルだ。

本当にリアルなんだ。

そして、ある時、絵が変わるんだ。

昨日までは、ヒョウモントカゲモドキの絵が描かれてた。

けど、今は鳥だ。

トカゲは絵の外、庭でコオロギを食べてた。

さすが、魔法の掛け軸。

では、おばかが前回になら前に寝ますー。（うへ、十分におばかです
が…）

ワイシャツ、絵筆、大学

昨日、どきつい赤絵の具を付けた絵筆を彼の服に押し付けてしまつた。

だから、彼の服を洗濯させてもらつた。

彼の着ていた服を洗濯する、そう思つだけで胸が踊つた。

そして洗濯したワイシャツを手にすると、大学に向かつた。

彼と話せる。理由はある。
けど……。

何て言つ?

あ。居た……。

「あ……、あの……」

まっすぐ見ることも出来ない……。

ふと、彼が随分とそわそわすることに気が付いた。
見上げた彼の顔が赤いのは氣のせいなのかな。

ワイシャツ、絵筆、大学（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。ちょっと進行がスムーズじゃないかなあ？憧れの彼のワイシャツを間違つて汚してしまつた！とんでもないことを！けど、チャーンス！

遺跡、護衛、喜色満面

やつと見つけた。

長い間、ずっと探し求めていたものに間違いないだらつ。
震える手で、手にしたものを見にかざす。

いや、私は喜色満面の笑みを浮かべているだろう。
この遺跡から、こんな貴重なものが出てくるなんて、予想外だつ
た。

さて、これをどうしよう?

いや、それより、こんなものを私が持つてると知られたら大変だ。
護衛を雇わないとな。

護衛は…、この子供たちでいいか。

そう。奥さんから、俺様のへそくりを隠さないとね。

遺跡、護衛、喜色満面（後書き）

うーん。どうして、遺跡からへそくりが出てきたんでしょう。しかも、ずっと探し求めていた、だなんて、自分のへそくりを探し求めていたなんて、何だろう？ よつぼど、部屋の中が散らかって、何がどこにあるのか判らないってことかな？

かに、キャンピングカー、ストーブ

おとなりの庭にキャンピングカーが停まっていた。
確か、昨日はそんなのは無かった。何を始めたんだろう?
まだストーブが必要な寒さ。キャンプは早い、と思ひ。

それはともかく、私を除け者にするのは許せない。

「何を始めたの?」

「今日はすごいですよ」

「何がよ」

「どんな人でも、あなたでも無口になる魔法です」

「失礼ね」

「そして美味です」

それは本当だった。

皆、無口だった。

かにの食べ放題、もうしゃべつてる暇などなかつた。

かに、キャンピングカー、ストーブ（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。このお話も、とあるイメージで書いてます。「お隣の魔法使い」シリーズのイメージです。判つていただけました??メアリーとツクツクさんの会話のイメージなんんですけど……。うーん。再現は出来てないかもしだせん。

けど、キャンピングカー、結局意味不明ですね……。ストーブもおざなりだし……。

諸行無常、ライブ、ルームシェア

うん。 すっごくよかつた！

今日のライブ、調子良かつたし、お客様もノリノリで、すっごく盛り上がった。

大成功だった。

早くおうちに帰つて祝杯をあげたい。

今、私は気心の知れた昔からの友達とルームシェアで住んでる。こんないい日は、やっぱり仲のいい友達と喜びを分かち合いたい。

「ただいまー！」

バタバタバタ！

「お、おかえり……」

諸行無常ってどんな意味だっけ……。

部屋だけじゃなく、彼もシェアしてたなんて知らなかつた……。

諸行無常、ライブ、ルームシア（後書き）

うーん。これは……。どうしてこんな展開にしてしまったんだしょつ……。やっぱり、諸行無常がそんな発想を呼んだのかな？ それについても、私についてはとても珍しい展開ですね。

正座、ケーブル、ジェットコースター

ジェットコースターは乗りたくない。
だって、心臓が持ちそうにない。

けど、ジェットコースターは勝手に始まり、終わってくれる。
ケーブルで引っ張りあげられて、ぐるぐる走り回つてお終いになる。

ある意味では楽かもしれない。

でも、今回はそうはない。
目の前で、息を殺している人たちに言わなければ……。

僕のとなりでじっと待ってる人のためにも。

改めて正座し直すと、精一杯の言葉を絞り出した。

「お嬢さんを僕にください」

正座、ケーブル、ジェットコースター（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。えへへ。皆さん、経験はありますか？緊張しますよね？心臓たいへんですよね？でも、そういうことを乗り越えてこそ、の幸せですね？さ、がんばってね！

イヤリング、わさび、パンジー

もう、季節は春。花壇に花を植えたいな。
色とりどりのパンジーは、明るくて好きだけだ、今年はどう?
もつと可愛らしさを感じの花がいいかな?

そう、あなたがくれたこのイヤリング。
この花が可愛くて、とっても好きなの。

実は、そんな花を知ってるの。

え? 私が似てる? 照れるからやめてよ。

それは、わさびの花よ。
白くて、可愛くて。それでね、美味しいの。
少し辛味があるけど、いい香りよ?

食べたいの?

じゃ、覚悟を決めてね?

イヤリング、わさび、パンジー（後書き）

な、何を食べるんでしょうね。って、花わさびですよ、花わさび……。
この季節、ちょっとした彩りにもいいし、さわやかな辛さで美味しいんですよ？ どうして覚悟がいるのかって？ さ、さあ？ 他にも何かあるのかもしません、うんうん。『ゴクリ』……。

かたつむり、ケーブル、バス

「そんなにゅうくりじゅ、意味無いよ
ケーブルの上をゅうくりと移動するかたつむりを見て、そう呟いた。

諦めなければ、止まらなければ、いつか目的を達成できる。
そんな夢を持つてたときもあった。

だが、それじゃダメだ。

到着しても、ビリじゅ 意味が無い。

走り出すバスには、無理にでも飛び乗らないといけない。

順番はとても大事だ。

でも、疲れたな…。

そんな時の、彼女の言葉。
「あなただけ、を目指して」

その言葉が僕を救った。

かたつむり、ケーブル、バス（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。自信を失っているときこそ、周囲と自分を比べてしまい勝ちです。そんな時に、自分を立ち直らせた彼女の言葉。救いの言葉が胸にしみこんで行く。ちよつとほのぼの？

狸、知床、縁

冬は流氷が有名だけど、春には緑に覆われる。

それは、命のきらめきが光り輝く季節。

魚を捕らえるクマ、ワシ。 それに精一杯に生きている。
そう、ここは知床。 多様な命が息づく世界遺産の地。

この地に住み始めて、自然の素晴らしいを改めて感じじるよつこな
つた。

もちろん、キツネもいる、そして…。

「ねえ、私たち、狸になれるかしら?」

「俺が狸親父つてことかい?」

「違うわよ。 狸つて、一度ペアになると、生涯変わらないのよ

狸、知床、縁（後書き）

うーん。かなり強引な展開ですよね。狸がつまく思いつかなくて、
Wikipediaを見たらそんなことが書いてあつたので、無理矢理そこに
話を持ち込みました。

猫の集会所、ティッシュペーパー、ストーブ

皆、冬は好き?
私は大好きよ。

雪が好きなのかって?

いいえ。冬になるとストーブを点けるでしょ?
すると、ストーブの暖かさを求めて、猫が集まつてくるでしょ。
まるで猫の集会所みたいにね。
猫好きには堪らないわ!

え? 猫なら春の方がいっぱい居るだろって?
まあ、確かに、ね。

けど、ティッシュペーパーが山ほど必要なのが
だって、外を歩き回った猫は花粉だらけなのよ!

それでも、ついなでちゃうのよ。
もう地獄よ。

うー。目が痒い。

猫の集会所、ティッシュペーパー、ストーブ（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらったお題です。うーん。ちょっとお話の焦点がぼけてる感じですねえ…。落ちが無い…。

偶然、ナイキ、乙女

世の中、何事にも原因があるのよ。
単なる偶然なんて、ありえないのよ？

私のジャージ、アディダスなんて無いでしょ？
全部ナイキでしょ？

それは私がナイキが好きだからよ。

そして私は、自分の好きなことは徹底的に追求するのよ？
今は、乙女ってだけじゃ生きていけないから。

ね、判る？

土砂降りの雨、こんな夜遅く…。

しかも、ここは私の家から歩いて一時間よ？

もう！ 「やあ、偶然だね」 な訳ないでしょ！

会いに来たの！

察しなさいよ！

偶然、ナイキ、乙女（後書き）

うーん。ナイキが意味不明ですね。それにしても、プリプリ怒つてるみたいでけど、きっと照れてるだけですよね？ね？

正座、お父さん、英語

私たちはこの国に歸じてもつておかなければいけないわ。
そう、世界に飛び出さなきゃね。

その為には、英語は欠かせない。
はるお。 はあわいゆつ。 あいむふあいん！
うん。 いい感じね。

けど、それだけじゃダメよ。
日本人として心はしっかりと持たなきや。
だから、座禅よ？
姿勢を正して正座して、気持ちを静かに、自分に誇りを持つて！

さ、行きましょうか。
「うん。 お父さん！」

ボカ！

何度も言えども判るの？ 私はママよ！

「だって、オカマジyanー！」

正座、お父さん、英語（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。う。うーん。意味不明なことに…。

夏、私、百鬼夜行

この季節、人はみな浮かれ出す。

降り注ぐ陽の光に、突き抜けるような青い空。

確かに、開放的な気分になるだろう。
が、それは陽光が輝いている間だけ。

陽が落ちれば、より深い闇に包まれる。

そんな闇の底から、この世ならざる者が生まれる。

そう。百鬼夜行だ。

亡者は、みなこの世に未練を残してゐる。
その未練が果たされない限り浮かばれない。　何度も現れる。

何度も、だ。

夏の福引でハワイ旅行を当てたい……。

それが私の未練だ。

夏、私、百鬼夜行（後書き）

診断メー^カ、三題嘶メー^カからのお題です。『私』が最初に福引を引いたのは何時なんでしょうね？ それでも、この魑魅魍魎の『私』は毎年、福引を引きに来るんですね。つてことは、その商店街でのお買い物もするんでしょうね！ うーん。でも、それは判り難いですよねえ。

洗濯機、携帯電話、シャワー

あんたなんかに番号を教えるんじゃなかつた……。

大体、今日のデートを何だと思つてるのよー。

彼が予約した豪華レストラン。 彼はスピードビシッと決めてる。 私だつて、出かける直前に入念にシャワーを浴びたし、一番の勝負服。

どうこいつとか判る?

しかもよ? 彼がその言葉を発しそうとこいつ、正にその時。

そん時よ。 あんたが私の携帯電話を鳴らしたのはーで、何かと思えば。

「洗濯機のスイッチビijo~」 ですって?

ふぞけるなー! もー!

洗濯機、携帯電話、シャワー（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。あはは。彼が必死にプロポーズの言葉を口にしようとした、正にその時。「洗濯機の使い方が判らない」って電話。「何してくれるのー!」って気分になりますよね?

ラブレター、たらじ、リコーダー

いたい！

ぐわーん ぐるんぐるん

何これ？

何でこんなものが降ってくるの？

もしさ、あなた、私を思いつきり馬鹿にしてるのかしじゃ。

私は魔法使いよ？ それも最強の。

そう。これは杖よ、笛じゃないわ。

でも、さうね。リコーダーを吹けばコンテストの賞は総なめよね。

そして、この美貌！

学校では、下駄箱を開けるたびにラブレターの洪水が押し寄せるのよ。

なのよ。

ビビッジのくせに。

私の頭にたらじを降りせるなんて！

私はドリフじゃない！

ラブレター、たらい、リコードー（後書き）

ライトノベルお題ジエネレータからもつたお題です。えー、これは『よくわかる現代魔法』に出てくるキャラをイメージしました。主人公、たらいを降らせるしか能がない（？）魔法使いなんですよ。芸人もびっくり。あははは。（でも、元ネタを知らないと、何にも判らないし、落ちてないかも…）

秋刀魚、セロハンテープ、ジェットコースター

あら、どうしたの？

その顔、酷い顔ね？

ジェットコースターから放り出されたの？ なんてね。

え？ 隅に言われた？

秋刀魚みたいに瘦せてる？ 安物？

もう。 そんな馬鹿なことを言う人は相手にしないの。

でも、私は知ってるわ。

あなたは強くて優しい人。

あの日、助けられてから、私はあなたを……。

まあ、スカートを留めるのにセロハンテープっていうのはちょっとアレだけどね。

そうね。

あなたが秋刀魚なら、私は大根おろし。

ずっと一緒よ。

秋刀魚、ゼロハンテープ、ジェットコースター（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。ちょっと色々と強引ですが、なんとかラブストーリーに！ 悪口で秋刀魚って言うかなあ？ 「あんたつて秋刀魚ね！」 意味わかんない…。たはは。それにしても、大根おろしはムードないですねえ＾＾；

青、執筆、時計

今、僕の顔は真っ青に違いない。

いつもなら、これだけ追い詰められれば、言葉が浮かぶのだが……。

ちらり、と時計を見る。

あと一時間。が、相変わらず原稿用紙はマッシロだ。

物語は決まってるのに……。

でも、一文字たりとも浮かばない。

視点を変えよう。執筆が進むかもしれない。

そうだ、題材を目の前にして書けば、きっとうまく書ける。
あの人の体を持つてこよう。

きつといいお話が書けるぞ。

だつて、あの人の顔はもう真っ青だ。

青、執筆、時計（後書き）

三題廻で10のお題、色の1からもらったお題です。うーん。ホラー？ ホラーってよりはブラックかなあ？ スランプの作家が、状況を想像する事が出来ずに、実際に事件を起こしてしまった。そして、それを物語にしようとして……。かなあ？ 何だか、設定としてはありきたりですねえ。

ワイシャツ、将棋、宇宙

私の仕事は将棋を指すこと。

将棋は、とても奥が深い。

たった九×九の盤上での戦いだけど、そこには深遠な宇宙がある。

それにしても、この対局は難しい。お互いの宇宙が似てる。
交流戦だから、予想すべきだったのかも知れない。
けど、好い勝負だわね。

あ、やなの見つけちゃった。

相手のワイシャツ、ボタンが取れかけてる。

なんで、朝、気付かなかつたんだろう。

ああ、集中できない……。

「王手」

「え？」

むー。夫は全く容赦が無い。

ワイシャツ、将棋、宇宙（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。棋士の夫婦のお話、
とこいつで…。ちょっと宇宙が強引かなあ？

歩く、要請、カーテン

これはちょっと違つかしら?

探し始めてみると、イメージ通りって意外とないものね。何が? と言えばカーテン。

今、新しい部屋に付けるカーテンを探してる。もつと簡単に見つかると思ってたけど……。

今日は朝から歩き回ってる。

歩くと、色々な小物が目に付いて、つい色々買つてしまつた。けど、本命のカーテンがまだだつた。

ふと、爽やかで明るい感じの一枚に目を留める。

「これ、いい感じよね」

そう。彼からの要請は明るい部屋、だ。

歩く、要請、カーテン（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の1からもつたお題です。新しい部屋に付けるカーテンを探してる、彼からの要請は明るい部屋。二人で住む部屋なら、二人で探せばいいのに、どうして一人で探してるんでしょうね？ その辺の設定が思いついてないなあ……。自分の部屋だけど、彼が良く遊びに来る？ 書き始めたときのイメージは新婚の新居に付けるカーテンを探してるってイメージだったんですけどね……。

印鑑、鈴、電車

出会った頃は近くにいた。

朝、カバンを手にしたときに鳴る、鈴の音が聞こえるくらいに。私たちが離れるなんて考えもしなかった。

だが、常に予想は裏切られる。

電車で何時間もかかる距離に離れてしまった。
もう鈴の音は聞こえなかつた。

でも、心の声は……。

そう信じたかった。

けど、連絡も途切れてしまった。

それでも、想いは途切れなかつた。

やっと触れ合える距離を手に入れた。

必要だったのは想いを言葉にする勇気。

そして印鑑。

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。離れ離れになつた幼馴染、近くに居たころには信じられないようなちよつとしたことで、関係を失いそうになつてしまつた、このままではきっと失つてしまふ。その先を想像したとき……。

罪、セロハンテープ、〆切

紙が破れたのなら、セロハンテープで直せる。
けど、心の傷は……。

これ以上、傷付けあいたくなんてない。

それは判つてゐる。

けど、一度ずれた関係が元に戻せない。

素直になれない罪には、不安という罰が科せられた。

一言。

そう、たつた一言で変われる。

この一言に〆切はないと言じてる。

でも、お互に不安な時間は、いずれ〆切を作るかもしれない。
素直になれば答へは決まつてる。

勇気を出さう。これ以上罪を重ねること止めよう。

罪、セロハンテープ、〆切（後書き）

三題廻で10のお題、ブラックの1からもったお題です。一度こじれた関係つて驚くほど修復するのが難しかったりしますよね。そして、近くに居れば居るほどその傾向が強いかも。でも、勇気を持つて素直にならないと、どんなに近くに居る人でも、失うことが……。

かたつむり、怪獣、バス

プロポーズを待つ間って、どんな感じ？

彼のためらいが、かたつむりの進み具合を見る様で、もどかしいかしら？

でも、私だつて舞い上がつてゐるから、そんな余裕なんかないわ。照れまくつて、バッグを何回も持ち替えたりするんだわ。

きつとね。

人間はそう。

じゃあ、怪獣はどうなんだろう？
やつぱり照れるわよね？

手にしたバスや電車を何度も持ち替えたりするのかしら？

そして、照れくわに身をよじりながら東京タワーを引寄せざるの！

かたつむり、怪獣、バス（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらったお題です。あはは。怪獣のプロポーズ。がおーーぎゃ おー！って言いながら、恥ずかしがって後楽園でジタバタ。そして、東京タワーをぐちゃぐちゃにして。うーん、ちょっと展開が強引（いや、そういう問題じやない気もしますけど）だったかな？

オリンピック、日本刀、コンビニ

なんですか？

私がちょー楽しみにしていた極上プリンを食べた？
何でことするのー！

おいしかった。じゃなーい！

この辺のコンビニじゃ売つてないのよ？

今すぐ買つてきて。

山向こうのコンビニにならあるからー！

さあ、早く行かないと、包丁投げるわよー！

何ですって？

怖い？ 当たり前よ！ 今の私は日本刀より切れるわよ？
スパツと切られたらくなかったらさつと行く！

そうね。

オリンピックコードを超える勢いで買つて来たらキスしてあげ
る

オリンピック、日本刀、ハムレ（後書き）

ひやー。包丁投げたら危ないですね。日本刀がちょっと強引かなあ？うーん。ちょっと最近、強引な展開が目立ってるかも…。ちよーツンデレ？

サッカー、ステッキ、電車

スポーツは得意だつたな。
割とサッカー馬鹿だつたよ。

今でも歩くのは好きだよ。

一駅くらいなら、電車なんか使わずに歩いてる。

だが、あの場所で、あのとき起きたこと。
あれ以来、スポーツは止める事にしたんだ。

後悔してるかって？

とんでもない！ 感謝してるんだ。

君と一緒に居た。
だから、君を救うことが出来た。
それが僕の誇りだし、悦びだよ。

これは動きの鈍い足を助ける為、だけじゃない。

そう。 このステッキは僕の勳章なんだ。

サッカー、ステッキ、電車（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。うーん。ちょっと重いですね。何かの事故に巻き込まれて、彼女をかばって傷を負った彼。でも、そこにいたことで彼女を救えた。だから、そのことを後悔したことなんてないよ。って、ちょっとかっこよすぎっ。

広告、アホウドコロ、台風

彼に関する印象つてこうのは、あまつこいものじゃないと語り。判りにくいのよね。

いつそ広告でも出せばこいのよ。

それでも、私以外には判らないかもしれない。

まるでアホウドコロみたいなの。

この、台風の中の様な日々をやつたりと漂っている。

それは落ち着いてる。 と語り。

けど、一ノ瀬、ところのも確かににあるかも。

アホウドコロて絶滅しちになつたんだよね？

彼は私が守りたい。

けど、じつやつて一ノ瀬チンの彼に気付いてもおりまつ。

もう、私はこんなに彼が好きなのに…。周囲は彼のよさに気が付かないだけ。けど、彼の二ブさも相当なもの。必死にアピールしても気が付いてくれない。でも、きつといつか振り向かせて見せるつてつもり。（ライバルが少ないのが唯一の救い？ナンチャツチテ）

ベルンダ、名湯、醤油

次の醤油？ またその話？ こんな温泉に来ても醤油なの？
もちろん、望むところよ。

基本としては濃い口。 一汁が原点ね。
で、たまり程じゃないけど、少し大豆を増やすの。
で……。

あら？ あなた顔が真っ赤よ？

もう湯あたり？

思い出の名湯なのに具合が悪くなつたんじゃバカみたいよね？

ベルンダにでも行きましょう？ 夜風が気持ちいいわ。

ああ、懐かしいわ。

もちろん、忘れる訳ないでしょ。

この場所で、あなたの夢が一人の夢になつたの？

ベランダ、名湯、醤油（後書き）

文学少女風三題断作成からもったお題です。さよと遠まわしで
しょうか？ そう、かつて、ここにベランダで、プロポーズされて、
一緒に夢を追う様になつた。それがおいしい醤油を作ること、つ
ていうのは判りにくいし、不思議ですね…。うわー無理無理だー。

黄、確認、鼻

今度こそ、合格してみせる！

そう大見得を切ったものの、大丈夫かな？
このままじゃ次回の検定も黄信号かもしれない。

スランプだなあ……。

だからって、放り出す訳にはいかない。

よし。 基本から確認しなおそつ。

まず、においの伝達は……。

ん？ 何だか、とつても好い匂いがする。

ああ、リラックスするなあ。

そうか、彼女が何かをアロマを作ってくれたんだ。

僕がスランプだって、よくわかるな。
さすがインストラクター。 鼻が利くよね。

黄、確認、鼻（後書き）

三題廻で10のお題、色の2からもらったお題です。うーん。良くわからなくなつて、無理やりアロマ検定を受けようとしている男の子を応援する、アロマインストラクターの恋人つてことです。うーん。お話として、終わつてない感じ…。

物干し竿、ハンセン、ハンジン

ねえ、これ、画期的だと思わない?

なんと、雨の日でも洗濯物が乾くのよ?

しかも、ゆっくり洗う暇がない人の為に、自動で洗濯するオプションもあるわ。

まあ、このオプションにはコンセントが必要なんだけど……。

でもでも、洗濯物を乾かすのには、コンセントは必要ないわ。
専用のエンジンが付いてるから。
乾くのが、すぐ早いのよ。

え? そんな洗濯機はもうあるって?

これは、洗濯機じゃないのよー。

これは世界初、全自动の物干し竿よー。

物干し竿、ハンヤント、ハンジン（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。うーん。ちょっと苦しいかも…。最初は雨の日でも乾く物干し竿、からの出発、そして、脱水、洗濯へと機能を追加していくた、全自动物干し竿！　いやー。落ちが弱いかも…。

聞く、計画、奪回

私は自分の人生の計画を作つて、計画に従つて生きてきたわ。もちろん、最初から完璧な計画なんてないわ。だから、人の意見を聞くべきところは、きちんと聞いて採りいれてきたわ。

けど、あるとき、計画が大きく破綻してしまったの。

もつ、元々の計画通りの人生を奪回することは難しいと思つ。まったく、あいつに出会つたおかげで大変よ。

何が正解か、さっぱり判らない。

とにかく飛び込むしかないわね。

ふふ。でも、これが恋なのね。

聞く、計画、奪回（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の2からもらつたお題です。元々の計画には恋は入つてなかつたんですね。そしてきっと、予想外の相手に恋してしまつたんですね。でも、元の計画通りの人生ではなくなつたかも知れませんけど、でも、より素晴らしい人生になるはずですね。

麦、からくじ、うなぎ

麦って言つと、どんなイメージ？

お米の代わりに食べるには、味に馴染めない人もいるかしらね

でも、全然別の使い方があるのよ。

どんからくじかつて？ ちょっとした発想の転換ね。

そして、何か美味しい食べ物が一緒だと一層引き立つわね。

そう。 焼き鳥でも、ほっけでも、あさりバターでも。

そうね、ちょっと贅沢するのなら、うなぎなんかもいいわね。

もうわかったでしょ？

そ。 きりつと冷えて、程よい泡立ち。

へへ。 生き返るわよね！

麦、からくつ、うなぎ（後書き）

うーん。ちょっと（いえ、大分？）苦しいかなあ。お話にはな
つてないし。でも、これから季節にはビールはとってもおいし
いですよー！ でもでも、とにかく！ お腹の周囲には要注意！
です。

たけのこ、ダンボール、バス

あ……。

ふと、荷物をダンボールに移す手を止め、ノートを手にした。
それは交換日記だった。

「こんな所にあつたのね」

きつかけを得て、思い出が、まるで雨後のたけのこの様に溢れて
きた。

それは、幼馴染が恋人に変わった瞬間の記憶だった。

気がついた時にはとなりにいた。
高校のときに、一歩近づいた。

卒業後、バスで一時間の距離が開いた。

一度は途切れてしまった。

けど今、その距離を……。

思わず笑顔になると、荷造りを再開した。

たけのこ、ダンボール、バス（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。あはは。想定としては、私の王道パターンですね。幼馴染から恋人に。高校卒業のあと、進路の違いから一度は距離が開いてしまう。けど、どんなに淡くなることがあっても、想いが消えることはなかつた。きっかけは偶然だったのでしょうか？ それとも、意識して行動を起したのでしょうか？

略奪、雀、ベルト

略奪することは俺たちの仕事だ。

だが、決して無差別に略奪する訳じゃない。
難しい標的から盗んでこそその高い技術だ。

この泥棒選手権のチャンピオンベルトに懸けても、恥ずかしい盗
みはしない。

日々の暮らしが精一杯、そんな人たちから雀の涙程度の金品を巻
き上げる。

そんな恥ずかしいことをしたら沾券に係わるつてもんだ。

そして、盗んだんじゃ意味がないものがある。

人生の宝。

それは正々堂々と、だ。

「お嬢さんを、私に下さいー!」

略奪、雀、ベルト（後書き）

三題廻で10のお題、ブラックの2からもらつたお題です。泥棒たちの暗黙の掟、盗んでいいものは限られてる。そして、人生の伴侶は盗んだりしたら意味がない。なんて、どうからそんな話に？

視覚、心靈写真、水槽

この水槽では、きれいな魚たちがいっぱい泳いでる。その魚を見ようと、大勢の人たちが訪れる。

休日など大変な混雑になる。

写真を撮る人もたくさんいる。

条件は十分に整っているはずだ。

なのに、今まで一度も心靈写真が撮れたってことはない。

最近のカメラは視覚的なものしか写らないんだろうか？
けど、それは昔から変わらないはず。
他では時々心靈写真が撮れるらしい……。

なの[元]どうして？

僕は、もう二十年以上も[元]こ[元]いるの[元]。

視覚、心靈写真、水槽（後書き）

もう、ずっと幽霊の僕がここにいるのに、誰にも気が付いてもらえない。脅かそうって訳じゃないんだけど、自分では一生懸命に、みんなのカメラに向こうと努力しているのに、なのに、だれのカメラにも写らない。明日こそは！　なんて燃える幽霊さんでした。

天体観測、ケーブル、宇宙

天体観測つてのは、普通は星を見に行くんだよね。
でも、僕は違った。

星を見なかつた訳じゃない。寧ろ、とてもよく見た。
彼女の語る蘊蓄を聞きながら。
今、彼女は宇宙にとりつかれでいているから仕方ない。

他の人間はとっくに逃げ出してる。

僕は彼女にケーブルで縛られてるから逃げられない。

逃げ遅れた訳じゃない。

逃げる気なんてないさ。

いつか彼女の興味が僕に向く。その日を信じてるから。

このマニアぶり、ちょっと怖いけどね。

天体観測、ケーブル、宇宙（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。今、彼女の興味は宇宙のことでいっぱい。その前はきっと別のことだつたんでしょうね。彼女はきっと天性のマニア（オタク？）で、興味をもつたことは徹底的に調べる。そんな彼女が大好きな僕は、彼女のそばで彼女が語る色々な蘊蓄を聞き続けるんです。いつか、彼女の興味が自分に向く日を信じ、そして恐れながら……。

赤、睡眠、名簿

はーら、眠れえ、眠れえ。
うーん。

僕、まだ力が足りないのかな。

あの人間たちなら睡眠不足で、もつと簡単かと思ったけど、違うのかな？

あ！ すごい！ 次々と眠らせていく。
すごいパワーだ。

やつぱり僕がまだ未熟なんだ。
このままじや、また赤点だ……。

え？ 何してるのかって？

妖精、春のうたたねコンテストだよ。

でも、うまく眠らせないと出来ない。

けど、あの教授がすごいんだ。

出席名簿が終わらないついで、全員が夢の国だもの！

赤、睡眠、名簿（後書き）

三題漸で10のお題、色の3からもらったお題です。春の妖精は、人間を眠らせる競争をしてるんですよ、きっとね！だから、春は眠いんです。ええ、人間には逆らえません。けど、その妖精よりすごい力をもつてるのが大学教授です。中でも数学の教授は強烈なパワーです！もう、一瞬で熟睡です。（うわーごめんなさい）

これはね、魔法の虫眼鏡、エンジン

これはね、魔法の虫眼鏡なんだ。
どんな魔法かつてこいつとね、探しもののが見えるんだよ。

例えば、この車。動かないよね?
で、この虫眼鏡で見ていくと。
ほら、エンジンが真っ赤に見えるでしょ?
つまりエンジンが壊れてて動かないんだよ。すいじでしょ!

エンジンが壊れてるのはすぐわかる? 騙されてるって?

そうかなあ?

じゃ、この石ころを見てみよつか?
あれ? 何か字が書いてあるな。

ん? 好き?

これ、もしかして、きみが書いたの?

メモ、虫眼鏡、ハンジン（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。魔法の××シリーズ（？）です。石ころにラブレターでも書いたのでしょうか。うーん。かなーり強引です。

見る、織物、左利き

彼女は、家にある機織を使いたいと言つた。

なぜか、機織りの最中を覗いちやだめ、と言つた。
はて、鶴を助けた覚えはないけどな？

「見るくらい、いいじゃないか」と言つたら。
「覗いたらコロス」そう言われてしまった。

けど、彼女はかなり苦労している様だった。

「もう！ なんでこんなところ…」

「さー！ 届かない！」

すゞしい文句。

きつと左利きなんだ。

そつと覗く。

思いつきり『好きー』とか織つてる。
やはり左利きだ。

しかもツンデレ。

見る、織物、左利き（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の3からもったお題です。うーん。ラスト、意味が分からない感じはありますね。左利きもかなりいい加減な使い方です。きっと、世の中の大半のものは右利きが基準で作られてるから、使いにくいかも？なんて勝手に想像しました。

討ち入り、青龍、メリークリスマス

「ちょっといいかしら

え？

どうして君は、そんな凶悪な刀を持つてゐるのかな？

それって、青龍刀って奴だよね？

目が怖いよ？ 討ち入りでもするの？

危ないなあ、僕に向けないでよ。

「このワイシャツ、このキスマードはなに？」

あれ？ なんだろ？

「とぼけないで！

いや、ほんとだって。

「なによ

それ、僕のワイシャツじゃないな。

「あれ？」

あれ？ じゃないぞ！

「えつと……」

で？

「えへ。 メリークリスマス」

誤魔化すな！

討ち入り、青龍、メリークリスマス（後書き）

三題廻りお題作成からもらったお題です。ちよつと強引すぎる奥様ですね。さて、誰のワイシャツなんでしょうね？　でも、とほけるってことは、何かヤマシイことがあるんでしょうか？　それにしても、こんな強引な展開で誤魔化そくだなんて、よっぽど困ってる（アイディアにつまつてる）んですね。でへ。

印鑑、虫眼鏡、英語

「これからは国際社会、英語が必要なのは分かつてゐるわ?
だからって、こんなに教材がいるの?」

「はい! これが最低限の教材になります
そうなの?
仕方ないわねえ。」

「では、じに印鑑をお願いします」

「ちょっと待つて? ジの虫眼鏡でよーく見るわね!」
「え!」

「どうしたの? 読まれたら不味い」とでも書いてあるのかしら?」

「い、いえ……」

「あら? ジの隅つに少しく何か書いてあるわね?
「そ、それは!」

「ふーん。やつぱ止めるわね!」

「えー!」

印鑑、虫眼鏡、英語（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。わ！　また虫眼鏡？
さすがに魔法の虫眼鏡の連続はダメだよねえ、と思いながら書きました。
ちょっと虫眼鏡が弱かつたかなあ？　それにしても、何
が書いてあつたんでしょうねえ？（いいかげん）

欲望、咳、準備

「でも、最近は咳がひどい。

別に血を吐いたりする訳じゃないから、大丈夫だね」

でも、体には気を付けていたい。

なに年寄りくさいこと言つてるんだって？

だって、僕にはやりたいことがたくさんあるんだ。諦める気はない。

「やったことないなによっ？」

よくぞ聞いてくれました。

まずはこれからだね。

この車両が今月一杯で引退だから、その前に写真を撮らなきゃ。そして次は……。

ああ、欲望は限りない！

「単なるツヅジヤん！」

欲望、咳、準備（後書き）

三題廻で10のお題、ブラックの3からもったお題です。テツの人が、何時、何を追いかけているのかはよく判りませんけど、時々、駅のホームの端でカメラを構えてる人たちがいますよねえ。まあ、好きならしじょうがないですよね。それにしても、確かに体は基本ですかね。

会員権、優しさ、肉球

ねえ、あなた。会員権を買つてくれない?
私、とっても欲しいのよ。

「またかい? 今度は、何の会なんだい」

「うふふ。内緒。じゃダメ?」

「まあ、いいや」

その優しさが大好きよー!

「幾らなんだい? あまり高いのは勘弁してくれよ
そんなに高くないわ? 百円よー!」

「安いな。それなら、自分で買えばいいじゃないか
あなたに買って欲しいのよ。

「もちろんこじよ」

ヒーツも可愛いくのよー

実は、もうあなたの分も買ったの。

ほり、肉球愛好会よー。

会員権、優しさ、肉球（後書き）

三題嘶お題作成からもらつたお題です。えーと、単に甘えてるだけかも知れません……。肉球愛好会ってなんでしょう?? それに百円って。どこのスーパーの会員の入会金より安い!

窓拭き、呑湯、五十音

最近、女子寮のお風呂が改築されて、とても気持ちがいい。
お湯そのものは変わらない。

でも、見晴らしがよくなつて、断然気分がいい。

けど最近、男子の様子が変なの。

ん？

あれ？ 何でこんな時間に窓拭きしてるの？

まさか、覗き？

当番は五十音だし。あれは、せつと黒野くんね？

ひい！

「わ！ きみだったのか」

何してるの？

「みんなが、窓から呑湯が見えるっていつもから」

何それ？ もう、ガキねえ。

一人でオトナの遊びをしまじょーか？ ね

窓拭き、呑湯、五十音（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。ダメですねえ、覗きなんかしてる男子はもつとびしつと怒らないとね！ そういう。だから、本当は、ラストは「覗きを先生にばらされたくなかったら、私と付き合つて」でしょー。え？違う？

金、閉鎖、隣人

昔はよかつたな。

僕も氣前がよかつた。

もう、友達だろうが、隣人だろうが、知らない人でも接待してたよ。

でも、景気が悪くなると、あつといつ間だね。

右肩下がりなんてやさしいもんじゃないね。崖から落ちちゃう

だよ。

あのとき作つたいらんな組織は、ほとんど閉鎖しちやつたよ。

今では、この服が唯一の思い出だね。

もう、くすんじやつたけど。

あの頃は、金ぴかだったのに。

え？

そんな無駄なお金を使うからだつて？

じもつともです。

金、閉鎖、隣人（後書き）

三題廻で10のお題、色の4からもらつたお題です。バブルかなんかで羽振りのよかつた人が、バブル崩壊などで破産したってどうでしょうか？まあ、服を金ぴかにするくらいじゃ破産はしないかもしれませんけどね。

黒、カプセル、財布

「タイムカプセル、あなたは何を入れるの？」

「記念硬貨でも入れようかな」

思い出の品つてことね？」

万博、一人で行ったのよね？」

あなたつたら、お財布失くすから、色々私が払ったのよね？
「変なこと覚えてるな」

あら、大事よ？ あなたにお財布を預けたらダメって判つたもの。

だから、あなたのお財布は私のカプセルに入れて。

「なんで」

あなた失くすし、預かつてあげる。

「おまえ、お腹、真っ黒だろ」

いいじゃない。 お小遣いはあげるわよ。

黒、カプセル、財布（後書き）

三題廻りお題作成からもらつたお題です。彼のお財布をタイムカプセルに自分のタイムカプセルに入れてしまおうとする彼女。別に取り上げるつもりじゃないんです。単に、将来、彼と結婚する気満々で、彼がうつかり失くさないように預かってあげるって……。あはは、すつごい無理がありますね……。

星座、座、獣、猫じゅり

夜空に広がる星を見ていると、ロマンチックな気分になるよ。
ほり。あの星座をみて、じゅりさよ。

「あれはなんなの？」

「あれは怪獣座だよ。

「なにそれ？ そんな星座、なにじょう？」

僕が考えた星座だもの。

で、となりの星座、あれは離怪獣なんだ！

「なあに？ まさか私ってこと？」

うん。その間にあるの、あれは猫じゅり座。

すんだ。

「何それ、猫じゅりしなんてこやつ

じゅあ……。

代わっこの指輪、受け取ってくれない？

星座、怪獣、猫じゅりじ（後書き）

文学少女風三題断作成からもったお題です。どんな展開でしう?
?まあ、結局は夜空を見ながらのプロポーズってはずなんだけ
ど、むちゅくちゅすきて、意味不明かも……。

開る、移動、クーラー

これから季節、クーラーがなことすりへ辛いこと感づ。

それにしても、なんでこんなに暑いんだらつ?

移動性高気圧とか、台風とか、そんなもののせいだらつか?

けど、~~世は~~こんなに暑くなかった気がする。

きっと、コンクリートだらけのせいだらつな。

それにしても暑い。

夜も暑くて、寝付けなくてさ。 辛いんだよ。

せめて、オフィスはもっと快適にしてくれないと。

こんなに暑くちゅうつづけるのもできない。
仕事あるしか無いじやん。

眠る、移動、クーラー（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の4からもつたお題です。結局、昼間、冷房の効いたオフィスでお昼寝したい、ってことでしょうか？ダメ ジャン。

踏切、今の気分、彫刻刀

少し前に彫刻刀なんかを手にしていたら、今、僕はここに居なかつたかもしれない。

本当にどん底だった。

少しずつだけど、前を向けるようになつてきた。
今は視線を上に向けることだって出来る。

ふと、満開の桜に気付いた。

途端に何年も前の記憶があふれでた。

少し前だつたら落ち込んだだろ？。

今の気分は落ち着いている。

だが、この苦しい愛しさは久しぶりだ。
彼女は今、どうしてるだろ？？

この踏切、懐かしいな。

あ。 今の人は……。

踏切、今の気分、彫刻刀（後書き）

三題漸お題作成からもったお題です。えー。判る人には判っちゃうかも知れません。『秒速5センチメートル』の貴樹くんが、そのラストで感じたかな、という想いのつもりです。何年たつても消せない想い、というものある。なんてね。この三題漸ざんまいでの秒速関連のお話を書いたのは初めてですねえ。

緑のカーテン、馬、バス

バスに乗つて隅から隅まで見たけれど、この町は、とっても緑が多いわね？

どうやら、緑のカーテンを着けてないのはつりだけよ。

という訳で、家でも緑のカーテンを作らない？
結構すずしくなるみたいよ？

今年はエアコン使うのは控えなきやね。
つていうか、これからはなるべく控えなきやね。

それに、にんじんとかを育てればお隣のお馬さんにもあげられる
しね？
いいと思わない？

え？ うふふ。

確かに、カーテンより木陰の方がキス向きね？

緑のカーテン、馬、バス（後書き）

文学少女風三題断作成からもつたお題です。方向性が見えなかつたので、強引に恋愛方面に急展開してみました。緑のカーテン、臺とかを壁とかに這わせると、緑も増えるし、水も循環して、本当にすずしくなるみたいです。

軍隊、ネクタイ、穴

今日は穴掘り大会。

競うのは、深さ、均一さ、きれいさの技術点。そして、何と言つても形の美しさの芸術点だ。

現役はもちろん、軍隊経験のある人は穴掘りは得意だ。きりりとネクタイを締めて、整然と掘つている。だが、塹壕のつもりで掘るせいか、芸術点が低めでいつも優勝を逃している。

僕の狙いはもちろん優勝だ。

銀のスコップをもらひ込んだ。

銀のスコップを持った子供は幸せになるっていうじやん。

え？ それはスプーン？ うそ……。

軍隊、ネクタイ、穴（後書き）

三題廻で10のお題、ブラックの4からもらつたお題です。うーん。ネクタイがちよつといい加減な使い方だつたかなあ。軍人さん、きりつとネクタイを締めてそつだから。ねえ？スコツップとスプーンの勘違いは、ちょーごーいんですね。それにしても、全国穴掘り大会っていうのは本当にありますよ！ 本当は30分でより深い穴を掘る、という競技らしいです。そして、優勝の副賞は金メツキのスコツップだそうです。

パフェ、林間学校、未完

去年の林間学校は楽しかった。
もちろん、与えられた課題は全てこなした。
未完のまま放置するなんて、あり得ない。

だが……。

あの場所で気が付いたことがある。

それはずっと放置している。

どうすればいい？

いや、判つてる。どうすればいいのかは判つてる。
でも動けない。

情けない。

向かいでパフェを食べる人をじっと見た。

「どうしたの？ 目が怖いよ？」

そう言いながら微笑んでる。

昔から変わらない優しい笑顔。

さあ、勇気を出すんだ。

三題嘶お題作成からもったお題です。未完がかなり弱いかな、とは思いますが……。ええ、パフェを食べてる人が誰なのか、なんで目が怖いのか、それは判りますよね？ そうです。単に緊張しているんです。その彼に気が付いているのかいないのか、それでも、彼を見詰めてにこやかに笑う彼女。はい。またまたやつてしましました。あはは。

鉛筆、キャンピングカー、大学

僕は馬鹿でかいキャンピングカーを持つてる。
けど、一人じゃ寂しい車だ。

寂しい？ 当然だ。 勇気を出せなかつたんだから。

彼女と知り合つたのは大学のサークルだった。
親しかつた、と思う。

ずっと変わらない距離感。
その距離感に安心してた。

いや、臆病だった。

彼女が鉛筆で『さよなら』と書いたとき、書き直すべきだったの
だろうか？

無反応な僕を置いて、彼女は行つてしまつた。

まだ間に合うだろうか？

素直になりたい、そう思つた。

鉛筆、キャンピングカー、大学（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。鉛筆がかなーり強引ですねえ。最初はキャンピングカーで傷心旅行つて感じで書き始めたんですけど、うまく繋がらなくて、ちょっと方向転換を……でも、まだちょっと不自然かなあ？ さあ、彼は素直になれたのでしょうか？ 間に合つたのでしょうか？

銀、調査、布団

銀のスプーンを持つて生まれた子は裕福になれると言つ。

本当だらうか？

だから、私は調査することにした。

ただ、私の方向性は普通とは違う。

どうやって、生まれる前の子供にスプーンを渡すか？
逆子だったら大変では？

そんな疑問を感じた。

裕福になれるかどうか、はいいのかつて？

だつて、そんなことは重要じゃない。

今、そんなに裕福じゃないけど幸せだもの。

となりで、同じ布団で温もりを分かち合つ。
そんなあなたに出会えたから。

銀、調査、布団（後書き）

三題廻で10のお題、色の5からもらつたお題です。あはは。どうして、こいつの展開になってしまったのでしょうか？最初はじゃあ、銀の布団は？とか金のスプーンは？なんて、考えたんですけど、そつちの方向はお話が浮かびませんでした。なので、こんな話に、疑問を感じる方向性がちょっとずれてる彼女でした。まあ、布団がちょっと強引かな、とは思いましたが、まあ、許容範囲かな？と……。

釘、単語帳、手作り

ね。 手作りって素敵でしょ?
心がこもってるもの。

「うん。 手作りのお菓子はすくへおこしこんな

あら、食べるものばかり?
お勉強は? 頑張らないとね?

「もちろん頑張つてゐるわ、単語帳だつてほり

その単語帳も手作り?

「これは隣のクラスの女の子こもりつたんだ
何ですつて!

「な、なんだよ」

私どこいものがありながらー。許さないわー

「な、なにそれ

これは、手作りの人形よ。

心をこめて、この五寸釘で打ち付けるのー

「さあ、一

釘、単語帳、手作り（後書き）

三題廻るお題作成からもらったお題です。もちろん、お人形は「わら」で出来てるんですね。浮氣ものは天誅です。くらえー！五寸釘！ つて直接刺したら血が出ますね。（もはや、意味不明）まあ、彼は海よりも深く反省して、一度と浮氣をしないでしよう。

木の机、鉛筆、味噌

スチールのデスクは、表面が平らなのがいい。
下敷きなしで書き物をしても引っかかつたりしないから。
とても実用的だ。

でも、やっぱり硬質っていうか、温もりがないよね。
その点、木の机っていうのは、風情があつていいよね。

けど、「デコボコ」するのが困りものだ。

尖った鉛筆なんか使うと、紙に穴が開いたりするから。

でも、そこが味噌だつたんだ。
僕も、そして彼女も同じことに困つてた。

それが僕たち最初の共通の話題だつたんだ。

木の机、鉛筆、味噌（後書き）

文学少女風三題廻りからもらったお題です。味噌、この使い方は、漢字の味噌を使うことはあまりないかなあ、とは思いましたが。ちょっと強引でしょうか？ 昔の学校にあつた木の机、木目のごつごつが引っかかるって、結構抜けちゃうんですよね。テストの用紙とか……。

叫ぶ、権威、中身

「この物語のどこの部分がダメだといつの？」
ダメだと言つなら、ダメな部分を明示して欲しい。

こんな批評じゃ、中身の何がダメなのか分からぬ。
もう！ 直接本人に訊くしかないわ！

窓を開け、お隣に向かつて叫ぶ。

ちよつとー

「なんだよ

この物語、何がダメなのよ！

「だつて、全然ダメだよ」

あなたは文芸の権威かも知れないけど、せっぱり判らない！

「だつて、これ、俺たちだろ」
そ、そうよ。

「なら、ハッピーエンドじゃなきゃダメだ」

バカ。

叫ぶ、権威、中身（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の5からもつたお題です。そうですね、彼女が書いた小説、それに幼馴染が意味不明の批判的批評を付けた、その理由は……。あはは、素直にならなきやねえ？

ターゲット、エレベーターガール、ハードカバー

私はエレベーターガール。

そして操るのは人生のエレベーターだ。

色んな人が乗ってる。

当然、それぞれ行き先は違う。

例えば、あのハードカバーの本を食い入るように読んでいる人。
あの人はノーベル賞行きだ。

そして、あそこでそわそわしてゐる人。

最近、ろくな物語が書けない作家だ。

近いうちに盗作がばれて牢屋行きになるみたい。

私？

自分の行き先は、自分では分からぬの。

でも、ターゲットは決まつてゐる。

それは、あなたのとなり。

ターゲット、エレベーター・ガール、ハードカバー（後書き）

三題嘶お題作成からもらつたお題です。あはは。最後は結局、そういう方向で！人生のエレベーター、アップダウンが激しそうです！

猫の集会所、キャンピングカー、猫じゅらし

猫つていいよね。

だから僕のキャンピングカーはすごいんだ。

この車には猫の「はんがいっぱい積んである。

そして、猫と遊ぶ為のおもちゃだって何でも揃ってる。

猫じゅらしなんか一十個はある。

もちろん、猫用の出入口もある。

そう。この車は、どこででも猫の集会所になる様に出来てるんだ。

そして、猫と遊ぶんだ。

あ、あのアメシヨー、凄く可愛いな。

家に連れて帰つたら、彼女は喜んでくれるかな?
僕の猫好きは彼女のせいだから。

猫の集会所、キャンピングカー、猫じやらし（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。またまたかなりの強引さです。猫好きの彼女と一緒にすごすうちに自分も猫好きになつた人、家に連れて帰つたら、つてことはもう、結婚してゐるのかな？

救援、定期券、初歩

僕が所属しているサークルは面白いよ。
まず、名前がすごい。名前は『救援同好会』。
ほら、面白そうだろ？

救援好きの集まり。楽しそうでしょ？

入会して、まずは救援の初歩を叩き込まれるんだ。
そして、救援の為の道具を入れる為のかばんも買いつ。
高くはないよ？たったの十万円だよ。

そして、徳の高い司祭の講話を受講するんだ。
司祭様の講話は一回二万円。

因みに、一年間フリーのありがたい定期券は百万円。

お得でしょ？ あみもどり？

救援、定期券、初步（後書き）

三題漸で10のお題、ブラックの5からもらったお題です。いやあ、何が救援なのやうつて感じですけど。　すみ講でしょうかねえ？ちよつと定期券が苦しいかなあ……。

歯科、高齢化社会、ファミコンチャンプ

かつてのファミコンチャンプはどうしてるかな?
既に相当の老人だらう。

私だつて相当の歳だ。

総入れ歯一歩手前で、歯科通いや。

たからなのか、うまく発音できない言葉もある。
だがチャットなら問題ない。

だからネットは得意だ。

オンラインゲームでは自称中学生で、皆信じてる。

今日もパーティで狩に出発だ。

「おまたせ～」
「行こうか」

が、ここにも高齢化社会は浸透していた。

その自称小学生のプレイヤーが、実は年上だとは……。

三題嘶お題作成からもらつたお題です。ねー、オンラインゲームつて相手の年齢なんて分かんないですよね。パソコンの前で「おつと、入れ歯が」なんてやってたりして。私？私は、まだソロマデは行つません、ええ。ホントだつてば！

ティー・カップ、馬、ゴルフ練習所

昔は貴族の趣味と言えば乗馬と決まっていた。馬に乗り、柔らかな田差しを受けながらロットン・ロウを巡る。

帰つてきたら、みんなで優雅にお茶会。ティー・カップはウェッジウッド。

けど、いつまでも同じことだけでは進歩が無い。だから、新しいことに田を向ける様にしたんだよ。で、見つけたのがゴルフなんだ。

きちんと練習する為に、会員権も買ったんだ。今日もゴルフ練習場に行くんだ。

今日も居るかな？

愛付の子、可愛いんだよな

ティー・カップ、馬、ゴルフ練習所（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。あはは。結局、お目当では女の子なんでしょうかね？ うーん。貴族つて振りはどこかに活きてるのでしょうか……。あはは。ティー・カップ、「ロイヤル・コペンハーゲン」の方が一般的には有名かなあ、とも思いましたけど、まあ、イギリストてことにしたので「ウェッジウッド」で！へへ。トーゼンぐぐりました。

紫、信頼、中学校

中学校に通つてゐる頃は、誰も信頼してなかつたかな。
そして、もっと尖つてたと思つ。

私としてはとても真面目に、そして頑固に、一人で突つ張つてた。
勉強の競い合いま、クラスメートとのバカ話さえも、氣を張つて
た。

でも、いつの頃だらう。私の尖つた角が丸くなり始めたのは。

それにしても田が回る。
どうしてだらう?

「おまえ、顔が紫色だぞ」

「めんなさい。もう、そんなに飲みません。

あなたと一緒に、つこ安心しちゃつて……。

紫、信頼、中学校（後書き）

三題嘶で10のお題、色の6からもらったお題です。うーん。結局、ただの酔っ払い？しかも一日酔い。落ちへの展開が弱いなあ……。でも、彼女の尖った気持ちをやわらかくした人、そんな人と共に歩む人生を手に入れた。だから幸せなんです。ええ。でも、酔っ払いの「もう、飲みません」は絶対に守られない。ええ、それは自信があります。

豊穣、朝食、アイテム

去年は凶作だった。食べるものなんてほとんどなかった。
朝食の食卓にならんでいたのは、その辺の雑草だった。
よく生き延びられたと思つ。

だが、今年は豊穣の季節になるはず。

なぜって、タカラさんで買った魔法のアイテムがあるからだ。
早速使ってみよう。

まずは、ボトルの中身を頭にスプレーします?
妙な使い方だな。
で、次は?
えっと、フランジでよくマッシュサーバージ?

それを毎日繰り返す?

なにこれ?

あれ?

あ！ これ親父の養毛剤じゃん！

豊穣、朝食、アイテム（後書き）

三題嘶お題作成からもらつたお題です。う。うーん。苦しい……。
神様の種、悪魔の球根（なにそれ？　思い付きにもほどがあるつて
感じですね……）、くらいがよかつたかな？

ジーンズ、将棋、宇宙

将棋盤の上には宇宙がある。
自分たちの宇宙をぶつけ合ひ、それが対局だ。

あいつ。また、あのジーンズ穿いてる。
俺の部屋から奪つていったジーンズを。

何かゲンでも担いでるんだろうか?
確かに、この間の対局では惨敗してしまったけど。

今日はそりはいかないぞ。

「「お願いします」」

なあ、何で毎回そのジーンズなの?

「これ、好きな人にもらったの」
そう言って、にっこり。

え!

いや、あの、その、ええ?

「はい。 手手」

ひきょうだ!

ジーンズ、将棋、宇宙（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。あはは。冷静になつたときの強さ、はどうなんか知りませんけど、こんなにも動搖して、まともに考えられない様じや、そりゃー負けますよねえ。毎回、これでやられてるんでしょうか？でも、彼女、部屋に来てるんですよ？きっと、彼女も必死に心の動揺を隠して頑張ってるんですよ。

泣く、海岸、香辛料

サークルの仲間で来た海。

私たちは海で泳いだり、パラソルの下で休んだり。

その海岸で、彼らは一生懸命に料理を作ってる。

ホントに単純なんだから。

「男のカレーって食べたいな」

って言つただけなのにね。

彼らは真剣だ。そして本格的なカレーの様だ。
ルー以外にも、色々な香辛料を使つてる。

どれどれ？

う。

これ、本当にオイシイ。

あいつってば驚いてる。

カレーってこんなにおいしいのかって……。

泣くな！

私、カレーは、苦手なの！

泣く、海岸、香辛料（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の6からもらったお題です。あはは、どうして彼は泣いてしまったのでしょうか？ けど、じゃあ、今度からあなたが作ればあ？ って言いそくな気が……。うわー、きっとツンデレだ。

出会い系、社会、クリック

出会い系頭って言つのは色んなことが起きるの。
よくあるでしょ？

出会い系頭で運命の彼との出会い。

大抵はぶつかって、こうぶのよね？

学生のこりは図書館がメインね。

社会に出ると、駅が重要なポイントよね。

特に、乗換駅がお勧めね。

という訳で、この乗り換えガイド。

お安くしておきますよ？

どうですか？

明日にでも運命の出会いが起きるかもしれませんよ！

そんな魅惑の乗り換えガイドが、クリック一発であなたのもの。

はい。まいどー！

出会い頭、社会、クリック（後書き）

三題嘶お題作成からもったお題です。うーん。何の通販でしょう？単なる時刻表だったりして？出会い系の恋。うーん。ロマンですね！（出会い系の事故はいやですね）

円盤投げ、推理、またたび

投げられた円盤を追いかけてきたら、道の真ん中にまたたびがあった。

円盤投げで遊ぶのも忘れて、またたびに見入ってしまった。
なんでこんな所にまたたびが？

不思議に思つて、さうに近づいた。
すぐくいこまたたびだ。

僕はひたすら推理し始めた。

なんでこんなところにまたたびが？
そもそも、こんなに良いまたたびはそうないぞ？

このまたたびは素晴らしい。

ああ……、いいまたたびだ。

え？ なんでそんなに拘るのかって？

僕、猫だもん。

円盤投げ、推理、またたび（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。むう。全体的に意味不明ですね。ご主人様とじやれていた猫が、ふと見つけたまたたびに心奪われる。それだけですね。（なにそれ）

法律、交換、葉

これは何の葉だらう? お茶か何かだらうか?
でも、違う感じだ。

だつて、お湯につけてみたけど、ろくな味がしない。
すゞくいいものだつて聞いたんだけどな。
変だな。

なんでそんなものを持つてるかつて?

玄米茶と交換したんだ。
詳しく述べ前に、その人はどうか行つちやつたけど。

でもね。いい気分になるよ。

何でいうんだらう、もつ全てがどひどもいいや。
けど、いい感じ。

え? 法律に触れる?

じんなにいい物なのに?

ああ、田が回る。

三題漸で10のお題、ブラックの6からもらったお題です。うーん。
何だから知らないですねえ……。きっと、大麻ですね。油に溶かして
お料理に使うなんて方法もあるらしいですねえ。Wikιってほ
んとに何でも載ってる。（本当かどうかの保障はないんですけどね？）

法律、交換、葉 その一

法律に触れるつてことは知ってる。
けど、私にはこれしかない。

残された全てとの交換で手に入れた大麻の葉。

最後の瞬間くらい、望むものを感じたい。
深呼吸して粉を吸い込む。

あはは。頭がぼうっとしてきた。
そろそろ見えるかな。

突然ドアが開き、彼が現れた。

「おい！」

ほら見えてきた。

久しぶりね。

「何だそれは！」

何よ。幻覚の癖に泣きながら怒らないでよ。
最後くらい、優しくしてよ。

「バカ野郎！」

あれ……？

幻覚じゃないの？

三題廻で10のお題、ブラックの6からもらったお題です。一つ目
が自分でもよく分からぬ感じになってしまったので、強引にもう
一つ作つてみました。結局、葉っぱは大麻ですね。彼を裏切つ
てしまつた彼女、けど、失つて気が付いた大事なもの。全てに絶望
して、せめて幻覚で彼を感じよつとしたけれど……？ うーん。ち
ょーっと強引ですよね……。

富田林、法螺貝、双子

大阪と和歌山を繋ぐ町、富田林。

その旧家の跡取り娘として生まれた。

跡取りはもう一人居た。

そう。 私たちは双子。

どちらが跡を継ぐのか争つてた。

昔からの法螺貝職人。 繼ぐことに魅力はなかつた。

けど、家を継ぐなら、幼馴染の彼をお嬢さんにもらえる。
妹の狙いも同じだ。

好みまで一緒じゃなくてもいいのに。

けど、あっけなく解決した。

結局、妹がお嬢さんをもらい、家を継いだ。

そして私は、双子のお兄さんへと嫁ぐことになつた。

富田林、法螺貝、双子（後書き）

三題嘶お題作成からもらつたお題です。うーん。法螺貝が意味不明な使い方になつてしましました。双子も、使い方としては決まりパターンかなあ……。

木の机、将棋、パソコン

パチン。

駒が盤上で小気味良い音を響かせる。

木の机に置かれた盤の向こうで、彼女が皿を白黒させていく。

パソコンを使えば、色々な相手との対局もできるけど。
やはり実際に駒を動かさなきゃ実感がない。

それに彼女だって、十分手強い。
決して氣は抜けない。

それでも、この対局に関しては、僕の勝ちだろう。

王手。

「あちや。　ねね、もう一局！
いいよ。

将棋でくらい、優位に立ちたい。

家に帰ると、彼女の王手にメロメロなんだから。

木の机、将棋、パソコン（後書き）

文学少女風三題斬作成からもつたお題です。彼女と自分では、将棋の腕では自分が上だけど、彼女との対局はやっぱり楽しい。でも、将棋を離れると、彼女に頭が上がらない。そんな感じ？この二人、結婚してるのかな？

縁、観光、窓

このホテル、すっごく見晴らしがいいのね。窓の外には素晴らしい景色が広がってるわ。

海の方を見ると、海も空も青くきらめいてるし。ホテルの庭は、きれいな芝生の縁がまぶしいわ。

とにかく、すゞくきれいよね。

「嬉しそうだね」

ええ、あそこに見える島、有名な観光地なんでしょう？ 行ってみ

たいわ。

「素敵だね」

せっかくの新婚旅行なのよ？ 行きましょうよー。

「あ、是非」

「でも……」

「でも、なに？」

「でも、締切り、今日なんだ」

縁、観光、窓（後書き）

三題廻で10のお題、色の7からもらつたお題です。新婚旅行で、すこしきれいな景色を田の前にして、一人で見に行きたくてうずうずしてるけど、でも、締切り間際で、観光する暇のない旦那さんは、缶詰状態です。でも、奥様は担当編集者？ じやなきゃ、となりの部屋に担当編集者がいたりして。ちょっとそれは勘弁してほしいですね^ ^ ;

境界、七草粥、月下氷人

「七草粥も終わつたな」

「そうね。 おいしかつた?」

「ああ、けど去年は味なんか判らなかつた」

ふふ。あの頃は話もしなかつたわね。

「僕たちの間には、境界線があつたよね」

「そうね。 どうしてああなつちゃたのかしらね。
好きでいる、その努力を忘れてたのかな
努力がいるの?」

「そう思う。 嫌かい?」

「ううん。 素敵だと思うわ。」

「それを、配下の仲人を引き受けて気が付いたんだ」

つまり。

あなたの配下が、私たちの月下氷人になつた訳ね。

境界、七草粥、月下氷人（後書き）

三題嘶お題作成からもらつたお題です。月下氷人つて仲人の意味だそうです。知らなかつたあ。で、かなーり強引に。ちょっと冷めた関係だつた夫婦が、お互ひへの想いを再認識するつていうつもりのお話にしました。けど、展開が入りきつてない感じ……。む。むずかしい。

鉛筆、お父さん、宇宙

すいじだ。

「なに？」

「これだよ、この鉛筆はすごいんだよ。
すく滑りかに書けるんだ。

削らなくていいこ。

それに、あとどれだけ書けるかも判るんだ。

ほり、この透明な部分を通して、芯がどれだけ残ってるか判るん

だ。

「……」

こんな便利な鉛筆は、宇宙のじきを探しても他にならない。

「それで、それ、いくじしたの？」

安かつたよ。

僕はお父さんだからね。父の日の翻訳で、たつたの千円だった
んだ！

「それ、五百のボールペン」

鉛筆、お父さん、宇宙（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。人のいいお父さんが、父の日に妙なものをゲットしてしまいました。まあ、本人が満足してるのなら……。いやいや、でも、やっぱり人を騙すのはいけませんよね？

喜ぶ、泣く、田記

田記をつむぐと色々なことが判つて来る。
いや、忘れなくなる。が正解かな？

普段は忘れてしまつてゐる。
そんなことを田記を読んだ瞬間に思に出すんだ。
とても鮮明に。

喜ぶよつな」とばかりじゃない。

悲しく、辛いこともある。

そんなときは生きる氣力が低下してしまつ。

けど、そんなことも含めて、全てが僕なんだ。

そして、大半は妻と共通の記憶だ。

だから忘れるなんて不可能だ。

だって、どんな記憶でも、それは僕たちの絆だから。

喜ぶ、低く、日記（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の7からもらったお題です。あはは。書いておかないと、忘れちゃうことってありますよね？ けどねえ、二人の絆だつて言うなら、日記に書いてなくとも、覚えていて欲しいなあ。ほらほら、そのあなた、結婚記念日、昨日だった。なんてこと、ありませんか？ え？ わたし？ いやー、どうでしょ。

スイッチ、桜、ロック

桜の季節は過ぎてしまった。

あんなに好きだったロックのビートでさえ、

今ではただうるさいばかりだ。

ロックのビートに詠っていたのは何時だったろう。
想いは真剣だった。

けど、こや想いを告げようとするべく、僕の口はスイッチが切れて
しまった。

もう、手遅れだ……。

ふと、彼女の言葉が蘇る。
「後悔はしないと約束して」

今さら、だらつ。

けど後悔したくない。それは約束だ。

顔を上げたとき、ロックのビートが聞こえたように感じた。

スイッチ、桜、ロック（後書き）

三題廻りお題作成からもらったお題です。雰囲気だけ？自分に正直になろう、そう決心した彼。さあ、その後はどうなったんでしょうね？

くつ下、絨毯、月

昨夜、夢を見た。

とても素敵な夢だった。

夢の中では、魔法の絨毯に乗つて空を翔んでいた。
好きなところに行けた。

世界中を飛び回った。

最後には、お月様の「さあさん」にあいさつもした。

本当に素敵だった。

でも、本当に行きたい所にはいけなかつた。

幼い頃は、クリスマスの朝、欲しい物がくつ下に入つてたりした。

けど、もう私は大人だ。

それに、欲しいのは物なんかじゃない。

あの人とのなりに居たい。

そう言える、私自身の勇氣だ。

文学少女風三題断作成からもらったお題です。素直になれる勇気、それさえあれば、きっといつか。望み、望まれる関係になる。なんてね。ちょーっと夢見てる感じですね。

陥落、筆圧、ページ

私は氷の女王って呼ばれてる。

美人だけど決定的に冷たい視線。
私が睨めば、誰もが目を逸らす。

そう信じてた。

けど、あいつ。

思いつきり睨んだのに、柔らかく微笑んだ。

心臓が跳ね上がり、私が目を逸らしてしまった。

以来、教科書のページをめくる手は震えるし、
筆圧もコントロールできずに、ノートはびりびりだ。

こんなにあつけなく陥落するなんて、自分でも信じられない。

けど、このままなんて嫌。

ひとつとあいつを陥落してみせる。

陥落、筆圧、ページ（後書き）

三題漸で10のお題、ブラックの7からもらったお題です。ギロつて睨んでやつたのに、意外な反応。突然の反応に対応できずに、自分の方が目を逸らしてしまった。そんなことは初めて。それは恋の始まり。でも、彼女は基本的に前向きですね。それにしても、ねえ？ 彼はどうして微笑んだんでしょう？

ドラ息子、人形、高校

高校の頃、僕の学校には人形がいた。
正確には人形じゃない。よく出来た人形のようにきれいな女の子だ。

けど、最初は本当に人形だと思った。

現実とは思えないくらいにきれいな人形だと思った。

けど、近付いていく僕を向くと、
いきなりアカンベーをしたんだ。
僕がどれだけ驚いたか判るかい？

でも、きっと遺伝なんだと思う。

僕のドラ息子は、とんでもなく突拍子が無い。
そして、何かって言うとアカンベーだ。

絶対に母親からの遺伝だ。

ドラ息子、人形、高校（後書き）

三題廻るお題作成からもらつたお題です。あはは。いきなりアカンベーをするなんて、きっと、彼女もずっと待ってたんですよ。で、急に近付いてきたんで、パニックして、アカンベーを……。うーん。変なの^_^；

からあげ、ティッシュペーパー、月

今日はからあげ振興財団の会合だ。
どんな会合かつて？

ま、あつきたりだよ。
みんなで、からあげを食べながら、ビールを飲むんだ。
いいでしょ？

今年はお月見も兼ねてるんだ。
お月様では、うさぎさんが餅をついてる。
いいでしょ？

でも、徹夜になるから、ティッシュペーパーが必要だよね。
夜明けごろは、鼻水が止まらない。

あれ？ 本当に止まらない。 どうして？

なになに？ 魔法のティッシュだつて？
かめばかむほどはながでる。

ヤメテヨ。

からあげ、ティッシュペーパー、月（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。だいぶ苦し紛れですね。でも、からあげにビール。いいですよね。飲めば飲むほど飲みたくなる。魔法のビール。ん？これは普通？ 飲めば飲むほど腹が出る。魔法のビール。あ、これも普通？ あはは。魔法のティッシュは迷惑なティッシュですね。

茶、未熟、辞書

「全く未熟ね。そんなんじゃ、黒帯なんて夢のまた夢ね」「えへ。難しそぎますよ。

「なに言つてるの。あなたの辞書にはやる『反つてないの?』

でもお、恥ずかしいですよ。

「だめねえ。じゃあ、私がお手本を見せてあげるわ」

はい。

と、誰かが通つた。

「お兄さん! かつ! こわね。学食でお茶でもどう?」

す、素早い!

しかも、なんてストレートな。

たすが逆ナンパ黒帯。

つて、それ私の彼なんですけど!

あ! じり! 鼻の下伸ばすな! バカあ!

茶、未熟、辞書（後書き）

三題漸で10のお題、色の8からもらつたお題です。逆ナンパの黒
帯……。もう、意味不明ですね。それにしても、彼女がいるのに、
逆ナンパされてホイホイついでいつたらダメですよねえ？学食で彼
の背後に立つて「なーにーしーでーるーのー？」って言つてあげ
ましょー！（意味不明）

お米、新天地、沙羅双樹

お米には色々な種類がある。

普段は気が付かないかもしないけど、本当に色々だ。

でも、さりに新しいお米を作りたい。

その願いは、常にある。

だから、お気に入りのお米を持って新天地を目指す。
何か違うものが実るかもしれない。

そんな期待に胸を膨らませて、種をまいたのは去年のこと。

諸行無常の響きあり。

沙羅双樹の鐘の音。

世の理とは常に無常なるもの。

まだまだ、色んなことに挑戦したい。

けど、実ったのは、僕の子供だった。

お米、新天地、沙羅双樹（後書き）

三題廻るお題作成からもらつたお題です。もう一一体、なんのタネを
まいてるんでしょうね！－お米が生まれたりしたらどうするつもり
！？（うーん。意味不明です）ま、まあ、お互いにきちんと向き合
つてゐるなんなら、口でなんと書おうといこんですけどね？

星座、カレーライス、東京タワー

あなたも星を見るかしら？

今、あなたに見える星座は何かしら？

日本では、ほら、東京タワーのてっぺんから手を伸ばしたら届きそうよ。

す、ぐくきれい。

ね。 どうにいるの？

どうかに、いるよね……？

覚えてる？

二人の最後の食事を。
カレーライスだったわ。

私が作つた何の変哲も無いカレーだったけど、とても嬉しそうだった。

あれから十年。
あの笑顔を忘れない。

あのとき一緒に見上げた星空。
星に誓つたわよね。

必ず帰るつて。

ね
。.

星座、カレーライス、東京タワー（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。うーん。何だかちょっと物悲しい雰囲気になつてしましました。けど、きっと、このあとすぐに……。ええ、絶対に帰つてきますよ。だって、二人ともそう願つてるんだから。ね。

書く、説教、爪

ねえ、その癖、止めなさいよ。
ねえってば、聞いてる?

ああ! もう! だから止めなさいってば!
私だって、好き好んでこんなお説教してる訳じゃないのよ。
分かってくれるかしら?

あなたにはきちんととして欲しいから。

伸び過ぎたら、書くのに邪魔なのは確かよ。
でも、邪魔ならきちんと切ればいいのよ。

だから……。

あ! こり! 止めなさいって!

だから! ビ�してもつてこいつなら自分の爪を噛みなさい。
自分の爪を!

なんで私の爪を噛むのよ! -

書く、説教、爪（後書き）

三題漸で10のお題、動詞の8からもらつたお題です。あはは。結局は一人でじゅれてるだけだつたりして？

あはは。それにしても、このお話で、ちょうど一年経ちましたね。途切れそうで途切れずに、なんとか繋いでくることが出来ました。これからも、なるべく続けて行きたいと思います。だって、結構、この三題漸を元に膨らましてお話を作るってことが出来そうだし^b

スズラン、原子力発電所、ツナ

奴の昼食はツナサンド。

九州産つてことだつたけど。

それは水揚げされたのが九州つてだけ。

どこの海で捕れたのかしら。

どこか原子力発電所の近くに居たかもね？

他にもヤマメ、たけのこ。
たくさんある。

すぐには効かない。
ジワリと溜まる。

けど、気が付く頃には手遅れね。

あの取り澄ました顔に恐怖が浮かぶのはいつ?

歪んでるのは分かつてる。
けど、決して許さない。

いずれスズランの根でも齧るわ。

もつ、生きるのに疲れたから……。

三題廻りお題作成からもらつたお題です。うーん。時流には乗つてゐ
かも知れませんが、怖いお話ですね。その辺で売つてる食品も、実
際にどんな素性か、よく分かりませんよね。彼女は復讐を誓つたん
ですね。何があつたのか、それは考へてません（あはは、いつもの
ことですね）そして、その復讐を果たしたら、彼女は自分自身も…
…。彼女自身、それがとても歪んだことだとは判つてゐるけど、そ
れでも、絶対に許せなかつた。うーん。何があつたんでしょう。

木の机、シルクハット、ジェットコースター

転校直後、不安に震えながら木の机に座つてた。

そんなとき、彼が「大丈夫だから」そう言ってくれた。

彼はローブを着ている訳でも、シルクハットを被つている訳でも。勿論、魔法の杖なんて持つてなかつた。

でも、それは魔法だつた。

嘘みたいに落ち着いた。

微笑すら浮かべて、心から安らげた。

けど、そのときの私はまだ知らなかつた。

そのうち、私の心臓が。

彼を見かけるたびに、ジェットコースターに乗つた様に暴れてしまつことを。

木の机、シルクハット、ジェットコースター（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。初めての出会い、彼は私を安心させてくれた。とても安らぐことが出来た。それなのに、気がつくと、彼と一緒に居ると落ち着かなくなってしまった。勿論、いやじゃない。けど、近くに居る、そう思うだけで気が遠くなりそうになる。もどかしくも、不安で、そしてとても幸せな時間がやつてきた。

衝撃、ペア、追加

もう、いい加減うんざりだ。

俺が何をしたっていうんだ？

眞面目に、仕事をしてきただけだ。

なぜこんな仕打ちを受けてるんだ？

県庁、ペアクリエート係。

なぜ俺がこんなことを？

『二十八歳、女性。 希望は高収入で優しい人』

相変わらずの要求だ。

だが、俺には関係ない。 全く忌々しい。

もう、衝撃も受けない。

また追加だ。

『二十六歳、女性』

ん？ 見覚えのある顔だな。
あ、隣の幼馴染じやないか。

え。

『県庁勤めの、眞面目な幼馴染希望』

衝撃、ペア、追加（後書き）

三題漸で10のお題、ブラックの8からもらったお題です。あはは
幼馴染希望！　いやー、なんでこんなお話になつたんでしょう？　最
初は双子ネタに逃げようと思つてたんですけどねえ？

慕情、煎茶、トマト

私はトマトが大好きなの。
サラダにしてもいいけど、鶏肉のトマト煮なんてあつたかくて最高！

アイスじゃ慕情をくすぐるのは無理だけど、あつたかい料理は人の心を惹きつけるよね。

思わず好きになりそうでしょう？

え？ せうやつて彼を落としたのかって？

うふふ。ちょっと違うわ。

最初は暖かいお茶を飲むつもりだったの。彼が煎茶を好きなのを知つてたから。

でも私は、つこビールを……。

たまには酔つた勢いっていつも必要でしょ？ ね？

慕情、煎茶、トマト（後書き）

三題廻りお題作成からもらったお題です。酔つた勢い……。それは素直になる勇気を出すためでしょうか、それとも、単なる考え方なし？？ いえいえ、単なる飲兵衛です。

からあげ、キャンピングカー、ジェットコースター

僕はキャンピングカーのキッチンでからあげを作つてた。
占い師に言われたから。

「キャンピングカーでからあげを食べるのが吉です」

分厚いサングラスに大きなマスク。
お告げも、格好も怪しかつた。

でも僕は信じた。
藁にもすがりたかつたから。

が、待つ身はつらい。

いつそジェットコースターから放り出された方が楽だ。

そのとき、彼女が来た。

彼女を見て、思わず笑顔になつてしまつた。
だって、彼女がサングラスを握りしめてたから。

からあげ、キャンピングカー、ジエットゴースター（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。お題としてはかなりおざなりで突拍子もない使い方になってしまった感じです。けど、彼女は妙な変装をして、ずっと彼を待っていたんでしょうかね？吉っていうのは、どちらにとっても吉なんでしょうね？まあ、どちらにとっても吉なら、それが一番ですけどね！

黒、競争、暖房

戦いは勝たなければ意味が無い。

競争じゃない。お互いを高めることが出来ればいい。
そんな腑抜けたことは言わない。

汚い？ 腹の中が真っ黒？

何が悪い？

勝てば官軍。

負け犬の遠吠えは聞こえない。

暖房が良く効いた部屋でくつろぐ。
その為なら、どんな手だつて使うぞ。

あれ？ 点かないぞ？

灯油が切れる？

「買つてくれればあ？」

俺が？

「勿論」

俺は疲れ切つて帰つて來たばかり……。

ああ、もう判つたよ。

全く、お前にだけは勝てないな。

黒、競争、暖房（後書き）

三題漸で10のお題、色の9からもらったお題です。暖房は、ちょっと季節はずれですねえ。でも、勝負になんかならないほど頭が上がらないって……。何か弱みでも握られてるんでしょうかね？それは、惚れた弱み。ナンチャツテー。あはは。使い古されてるパターンですねえへへ；

単刀直入、ハンバーガー、ウェスタンラリアット

俺様のウェスタンラリアットは無敵だつた。

向かうところ敵無し。

どんな相手だろうと、木つ端微塵に粉碎してきた。

だが、世界は広かつた。

あんな所で昼食をとらなければよかつたのかも知れない。

俺は木つ端微塵に粉碎されてしまった。

単刀直入に言おう。

あれには敵わない。

もう。立ち向かおう、そんな気力さえ起きない。
完敗だ。

しかもお得だ。

ハンバーガーでさえ100円なのに、スマイルは0円。

あの笑顔に、俺のハートは粉々だ！

単刀直入、ハンバーガー、ウェスタンラリアット（後書き）

三題嘶お題作成からもったお題です。あはは。お得つて……。それにも、ハートが粉々つてことは振られちゃつたのかなあ？そ

マラソン、日溜まり、東京タワー

マラソン。それは気力の戦いだ。

そして、自分に勝つことが出来る人間だけが戦いに参加できる。

今、僕はゴールを見据えてひたすら走ってる。

苦しい。練習のときは、また別格の苦しさがある。

ゴールはずっと見えてる。

そう。

あの東京タワーの真下がゴールだ。

見えるのに中々近付けない、それが焦りを呼ぶ。

焦るとペース配分が狂う。

それは危険だ。

けど僕の、ゴールは違う。

僕だけの、ゴール。

それは、あの日溜まりの花のような笑顔だ。

マリソン、日溜まり、東京タワー（後書き）

文学少女風三題断作成からもったお題です。ゴールに待つてゐる人がいる。だから頑張れる。彼女の笑顔を見たくて、そして、走りきつたら、今日こそ！ なんてね。

残す、グラフ、芯

同じ失敗はしたくない。

だから、必ずデータを残すようにしている。

おかげで、仕事で連続の失敗はほぼない。

だから、みんなは誤解してる。

「しっかり芯を持つてるんですね」

「強いんですね」

違う。 弱いから必死になってるだけ。

が、仕事はまだいい。

きちんとデータが、グラフがあれば、なんとかなる。

けど、未だに取り戻せない失敗がある。

データなんて判らない。

好きな人を疑う。

どうすれば、その失敗を繰り返さずにすむのだろう?

残す、グラフ、芯（後書き）

三題廻で10のお題、動詞の9からもつたお題です。うーん。人間関係は難しいですね、信じたい、けど、相手を思つ気持ちが強いほど、不安が大きく、信じる強さが失われてしまう。そんなこともあるかなあ？ 多分、お互いの努力が必要なんだろうなあ、なんてね。

カクテル、風呂、明け暮れ

思えば若かつた。 そう言つことなのかもしれない。
あの人のそばに居たくて、毎日通つたカクテルバー。

あの人に進められるままに、ただ飲み続けた。

目的はあの人。

あの人も、誰かと親しそうに話すのを見るのは苦痛だった。

でも、そんなことに明け暮れている日々なんてあっけない。

中途半端な関係なんてのは、突然終わる。

銭湯の前で、手をさすりながら呟く。

「湯冷めしちゃうよ」

あの人のアパートにお風呂がないなんて知らなかつた。

カクテル、風呂、明け暮れ（後書き）

三題嘶お題作成からもったお題です。七夕ですけど、直接の関係はないですねえ。この二人はぼろなアパートか何かで暮らしてるんでしょうね。でも、二人とも仲良くお風呂に行く関係なんですね。いいですよね。お互いに好き。つて^_^ ; (突然、なんでしょうね……)

秋刀魚、シルクハット、ストーブ

あなたはストーブに何を期待するのかしら？
おもちを焼くの？

それに秋刀魚も？ 食い意地がはつてるのね。
でも、それはストーブじゃ難しいでしょ？
秋刀魚を焼くなら、七輪じゃないかしら。

でも、秋刀魚が好きなのね。 へえ。

けど変ね。

あなたはシルクハットなんて被つてないけど、魔法使いなの？

だって、私は秋刀魚なんか好きじゃないのに。

今は焼こうと思つてる。

え？ 私がストーブに期待すること？
もちろん、あなたとの暖かい関係よ。

秋刀魚、シルクハット、ストーブ（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。うーん。落ちへのひねりがイマイチな感じですねえ……。それにシルクハットも強引だし……。

圧迫、花束、舵

踏み出すべきなのは判る。

それは今？ それともまだ？

だが、精神的な圧迫は日に日に強くなる。
けど戸惑いも強い。

本当に、僕は踏み出せるのか？

ふと、恐ろしい未来が心をかすめる。

一步も踏み出せず、一片の花さえ残らない花束を抱えて朽ち果てる自分。

そのままじや、そうなる。

手に入れてもいいものを失つことを恐れて躊躇してもダメだ。

彼女がやつて來るのが見えた。

とにかく。

僕の人生の舵取りは、僕がやらなきゃいけないんだ。

圧迫、花束、舵（後書き）

三題廻で10のお題、ブラックの9からもらつたお題です。ええ。告白を躊躇う、怖がる彼。踏み出さなければ何も得られない。判つたから出来る、なら誰も悩まない。そして、それでも前に進むことが出来た人が何かを得られる。つてことでー。

ファミコンチャンプ、狐、獅子

「この勝負、あいつにとっては不運だった。
あいつは、まるで狐につままれた様だった。

完膚なきまでに叩きのめした。

獅子はうそを倒すのにも全力をつくす。
それが礼儀だ。

「だから言つたら？　俺はファミコンチャンプ。
俺に勝とうなんて、無理だね」

「判つたわ。　じゃ、これで勝負よー。」

「ふ。　無駄なことを。　って、それはー。」

「そう、囲碁ソフトよ？　いざ勝負！」

ファミコンに囲碁？　何それ！

狐につままれた様な気分つてこんな感じかな。

「アリバハチャンプ、狐、獅子（後書き）

三題断りお題作成からもらったお題です。狐につままれた、で落としてしまいました。けど、この一人、どうして勝負してたんでしょね？　その日のご飯当番を決める勝負。最初はそんな設定だったんですけど、どつかにいつちやいましたねえ……。

石ころ、鈴、バス

私が石ころだつたら、何も感じなかつただろうか。

あの人気が、私など見ていないと知つたとき。
私の中で何かがされた。

迫り来るバス。 きつと止まりきれない。
それでいい。 これで私は石ころになれる。

早く楽になりたい。

どこから鈴の音が聞こえた様な気がした。
酷く悲しい音。

次の瞬間、バスは通り過ぎ、石ころに成り損ねた。

「ばかやううー！」

私の腕を引っ張つて泣き叫ぶ、アンタが本当のバカよ。

でも、バカ同士も悪くないかな……。

石川、鈴、バス（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。助けてくれたアンタ、誰でしょう？でも、その顔を見ながら、ふと、この人と一緒になら、生きていくのも悪くないかもしない。なぜか突然そんなことを感じた彼女。つて意味不明な感じですねえ……。

白、流行、椅子

今年の流行は何かしら?

流行の最先端を行く、それも捨てがたいわね。

けど、十分に納得したい。

うーん。

ピンクは可愛らしい感じでいいわね。

青は、ちょっと個性的だけど、でもオトナの雰囲気かしら?
それなら、赤にすれば、情熱的で印象に残るかもしね!

何にしても、椅子に座つてカタログばかり見ていても決まらない
わね。

え? 最初?

それは勿論、白よ。

彼の色に染まるため? ちょっと違つわ。

二人で協力して、未来を描くためよ。

白、流行、椅子（後書き）

三題廻で10のお題、色の10からもらつたお題です。あはは。はい、そうです。ウエディングドレスを選んでる最中の彼女の思いです。男の人用つて、種類はあんまりないですよねー。

渡り鳥、積乱雲、チーズ

積乱雲は嫌い。 梅雨が終わった頃。

積乱雲が浮かび始めるとい、彼は出掛けてしまう。

待つてゐる、そんな言葉もくれず、居なくなつてしまふ。

渡り鳥じゃないけれど、夏が来ると私の許から飛び立っていく。

けどチーズは好き。

おこひたで、チーズにワイン。

なんて始める頃に、彼が帰つてくる。

夏の間、思いつき飛び回つて疲れきつて帰つてくる。

待つてゐる、とは言わないくせに。

私が待つてることを知つてゐるのね。

ちよつとじやることと思つた。

渡り鳥、積乱雲、チーズ（後書き）

三題漸お題作成からもらったお題です。夏になると、どつかに行ってしまう彼。けど、冬になるころには、必ず帰つてくる。約束はなしけれど、それはお互いの暗黙の了解。そのうち、きっと約束が生まれる。けど、一方的に待つ、今は、ちょっとあいつがずるいと思う。なーんてね。

緑のカーテン、日溜まり、ゴルフ練習所

今年も暑い。

日溜まりなどに立つてたら、途端に熱中症で倒れてしまいそうだ。

けど、うちは大丈夫だ。

だって、緑のカーテンがあるから。

省エネで、涼しくて、しかも野菜まで採れる。

もう、元気いっぽいだ。

という訳で、今日もゴルフ練習所通いさ。

スパークンと思いつきりボールを飛ばすと、とても気分もいい。

けど、家に帰ったとき。 そんな気分は吹き飛んだ。

やられた……。

泥棒だ。

緑のカーテンはエコだけど、防犯的にはダメな様だ。

緑のカーテン、日溜まり、ゴルフ練習所（後書き）

文学少女風三題断作成からもらったお題です。あはは。そつなんですよ。緑のカーテン、窓とかの前をさえぎっちゃうから、そこで泥棒さんが何かをしていても見えない。防犯的にはイマイチなことがあるらしいです。

飛ぶ、役員、実際

「うちの学校の生徒会は怪しい。」

彼らはいったい何をやっているのだろうか？

生徒会とは名ばかりで、実際は何かの秘密組織じゃないのか？

なぜそういう思うのかって？

何せ、役員が全員怪しい。

書記が字を書いてるのは見たことがない。

会計は数字が苦手だ。

副会長は空を飛ぶ。一瞬もどこかに飛んでいった。

怪しいだろ？

え？ 会長？

会長には言葉が通じないんだ。

人の話を聞かないとか、そんなことじやない。

まあ、怪獣だから仕方がないけど。

飛ぶ、役員、実際（後書き）

三題嘶で10のお題、動詞の10からもらつたお題です。うーん。
怪獣じや致し方ない。でも、他の人たちは、本当に人間なのかなあ
?

礼拝堂、国旗、鬼太郎

最近、鬼太郎がおかしいんだ。

信じられるかい？ 每朝のお祈りは欠かさないんだよ。

日曜日には礼拝堂に通い、聖書を読み上げてる。

そして、肌身離さず十字架を持つてるんだ。

絶対に変だよ。

あれ？ 珍しい車だな。

異国の国旗を掲げた車がゆっくりと走ってくる。

おや？ 鬼太郎がすごい勢いで走っていくぞ？

あれれ？ その後を、猫娘がプリプリ怒りながら付いていく。

なるほどね。

お化けには学校も、試験もないけど。

三角関係はあるのかな？

礼拝堂、国旗、鬼太郎（後書き）

三題嘶お題作成からもったお題です。鬼太郎は異国のクリスチヤンに恋しちゃつたんでしょうかねえ？ やっぱり、それはお化けなんでしょうか？ それとも人間？ それにしても、訳のわからない展開ですね……。

ベランダ、温泉、太陽

僕のうちには素敵なベランダがある。

何が素敵って、あのベランダにいると癒されるんだ。温泉にでも行けば、体の疲れはとれるかもしない。けど、あのベランダはもつと凄いんだ。

優しく茜色に染まる夕焼けを見ていると、とても落ち着くんだ。そして、心の内側から力が湧いてくる。

そんな時、いつの間にか、一人増えてるんだ。となりの家のベランダから、彼女がやつて来てる。

朝日のような笑顔の彼女が。

そう。僕のもつ一つの太陽。

ベランダ、温泉、太陽（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。幼馴染の彼女と、いつの間にかベランダでお互いの欠片を交換し合つていた。そして、一番お互いを理解して、愛しむ様に…。なーんて。ワンパターンですねえ＾＾；

最後、膝、ホツチキス

僕の膝は笑つてた。

とても大事な大会だから。

優勝賞品が欲しいのかつて?
そうじゃない。 大体、魔法のホツチキス一年分つて、何の冗談
だ?

優勝したら告白する。

大会は僕自身との戦いの前哨戦だ。

でも思い通りには行かない。

結局、優勝出来なかつた。

悔しかつた。

告白は、僕の本当の戦いは不戦敗……。

そんな僕の前に彼女が現れた。

彼女の笑顔に導かれ、素直な気持ちを出すしかなかつた。

けど、驚いたことに、最後は完全優勝だつた。

最後、膝、ホッキキス（後書き）

三題漸で10のお題、ブラックの10からもらつたお題です。結局、こんなお話に。自分自身に弾みを付けるため、何かを達成したら、その勢いで！ けど、それが出来なかつた。自分で課してしまつた条件に阻まれ行き詰つてしまつ。でも、結局は素直な気持ちを出してしまつた。一番大事なことは、お互ひが素直になることだから。

ロシア、ハ拳、かまび馬

かまび馬って害虫ではない。

けど、好きっていう人も居ない。

見かけたら追い払いたくなるよね。

でも、ハ拳でも追い払うのは難しい。

まあ、虫だから仕方ないけどね。

なんで嫌われるのかって？

まあ、ほら、ほにゃらりコオロギだもんね。

それって、国でも同じかもね。

ロシアって嫌なイメージが強くない？

でも、イメージばかりでしょ？

本当は違うと思ひ。

きっと、いい国だよ！

だって、ウォツカ美味しいし！

「そこかよ、酔っ払い！」

ロシア、ハ極拳、かまび馬（後書き）

三題漸お題作成からもらつたお題です。うーん。ハ極拳が相当無理やりですねえ……。転換もむちゃくちゃだし……。はあ、ちょっとスランプかなあ？ とにかく、三題漸ざんまい、一応400話を突破したことを契機に、不定期更新に切り替えようと思ひます。もうちょっとと他のお話づくりに時間を作りたいな、と思ひまして……。でも、止める訳じやないんですよ？だから、きっと、多分、一週間に一遍くらいは更新するんじやないかなあ?? あはは。ではー。

鉛筆、温泉、五十音

私は今、どこに居るんだろ？

生まれた所は温泉街だった。

そこは閉ざされた場所の様な気がした。

だから、抜け出すために必死になつた。

机にかじりつき、鉛筆をなめ、必死に勉強した。

そして、自分で選んだ世界に飛び出した。

その生き方は間違つてなんかいない。

けど、何かが足りない気がした。

学校で習つた五十音は完璧に覚えた。

勉強だから、当然だ。

けど、いろは歌の心を感じる余裕があれば。

違う可能性を夢見たのだろうか……。

鉛筆、温泉、五十音（後書き）

文学少女風三題嘶作成からもらつたお題です。私の場所はここじやない、そんな思いで必死に勉強して、前を向いて、前だけを向いて生きてきた。けど、ふと振り返ったとき、それ以外の人生の可能性に関しても、つい考えてしまつた。つて感じでしょうか？ それで、彼女は、自分の人生を後悔なんかしてはいられないんですけど、ね。（そんなの、書いた人のつもり、でしかないから、分からないですよね……）。なんだか、よく分からぬお話になつてしまいましてた……）

石原軍団、水茶屋、変質者

石原軍団つて凄いよ。

もう、モテモテ。ずーーっとモテキだよ。

だから、街中に出掛けると大変だよ。

周囲の嬌声が凄くて、僕たちの会話が聞こえないんだよ。

ああいうのを、黄色い悲鳴っていうんだよね？

休憩に水茶屋とかに行つても、やけにサービスがいいのも特権だね。

ああ、でもね。

調子に乗つて僕の役どころを教えると途端に喧引いりやうんだ…

⋮。

どうしても知りたい？

仕方がない。じゃ、教えてあげる。

「僕、変質者担当なんだ」

石原軍団、水茶屋、変質者（後書き）

三題廻りお題作成からもらつたお題です。久しぶりです。お題自体はずーっと前にもらつたものです。ちょっとむちゃくちゃでした。変質者担当ってなんでしょう？ 本当の変質者じゃないんでしうけど……。やっぱり、変質者コンテストか何かにすれば良かったかなあ？

野良犬、絨毯、大学

「なあなあ、あれ何？」

「あれは、犬だよ」

「それは見れば分かるさ、随分とえらそうじやないか？」

「昔は野良犬だつたらしいけど、今は本当に偉いんだよ」

「何がだよ。ご主人様の帰りでも待つのか？」

「それは違うけどさ。あ、ほらほら、今の見た？」

「ああ、絨毯に上がる前に足の泥を払つたな。頭が良いんだな」

「な？ 偉いだろ？」

「いや、だからって……」

「ワンワンー（静肅に！）」

「だからって、何で犬が大学教授なんだよ！」

野良犬、絨毯、大学（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらつたお題です。うーん。最初は大学を卒業してるんだよ。くらいを考えたんですけど……。それにしても、野良犬がちょっと弱かつたかなあ。

時代小説、笑顔、桐生一馬

俺は桐生一馬。 クールで、パワーみなぎる男だ。
え？ 知らない？

まあ、所詮は闇の世界に生きる人間だからな。
一般人には縁が無いかもしれん。

おい、だからって時代小説で探すんじゃない。
さすがにそんなに古い人間じゃない。

にしても、はぐれ者を束ねるには、力だけじゃダメだ。

包容力つてのが大事だ。
俺の笑顔が人を惹きつけるのさ。

そう。 貴重な笑顔だぜ？
特別に披露しよう。

むむむ……。

あ、貴様！

俺が苦労してるので、なぜ笑う！

時代小説、笑顔、桐生一馬（後書き）

三題嘶お題作成からもらつたお題です。うーん。よく判らない……。
桐生一馬って、『龍が如く』っていうゲームのシリーズの主人公で、
まあ、いわゆる極道の人らしいです。いやあ、それはいいんだけど、
そんなキャラをどう使えと？？ なんだか半端な、苦笑い状態です
……。

UFO、ボス、大学

どこの大学にでも変な同好会はあるけど、うちはずーい。
UFO同好会。名前は普通だね。

幾つかのグループがある。

まずはUFOの秘密を研究するグループ。
UFOの呼び出しが研究するグループ。
そして、宇宙人に関するグループ。

これが一番変なんだ。

地球上に来ている宇宙人を探すのが一つ。
でも、色んなバイトをして地球の生活を調査する活動がメインなんだ。

変だろ？

まあ。会長が宇宙人だからね。

名前はジョーンズ。通称、ボス。

UFO、ボス、大学（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。うあ、こう来たか！
なんて……。ボスをどう使おう？ と考えながら書いていたら、途中でこんなリストになってしましました。うーん、ろくでもない、
すばらしき世界！

祭日、ピアサーバー、菊

菊つてきれいだよね。

近くのお寺で、時に開かれる菊の品評会は楽しみだったな。

うそ。

家内ともその品評会で出合つたんだ。
野菊みたいに可憐で、一目惚れだつたよ。

最初は、休田は一人で菊の品評会巡りだつたな。
そ。 趣味も合つてたのや。

そのうち映画にも行くなつた。

ま、休田になると出かけてたよ。

今はどうがつて?

ほとんど家に居るよ。

必需品は、土田は一升瓶、祭日はピアサーバー！

俺も一緒。 今でも趣味は一緒だね！

祭日、ピアサーバー、菊（後書き）

三題廻りお題作成からもらつたお題です。ほーほほほ。いいですねえ。
おうちでビアサーバー！けど、そんな極楽では、すぐにおなかがビ
ア樽なんて地獄に墮ちるかも……。たはは。
祭日の使い方がイマイチだつたんで、ちょっと捻りなおしました。
落ちの雰囲気もちょっと変わったかも？

物干し竿、キャンピングカー、またたび

今度はどこに行こうか？

海がいいかな、それとも山かな。

キャンピングカーがあるんだから、宿は気にしなくていい。

いつでも、どこでもいいんだ。

食事も出来るし、トイレだってある。

それに洗濯機だってあるんだよ。

乾燥機があるから物干し竿も必要ない。

とにかく、どこに行っても、全然困らないよ。

だから、どこに行こうか？

「 もう。 キャンピングカーって、まるでまたたびね

ちょっと違うかな。

君と行くことが、僕のまたたびだよ。

物干し竿、キャンピングカー、またたび（後書き）

文学少女風三題断作成からもひつたお題です。うーん。物干し竿とまたたびを絡ませるはすゞく難しいです……。ちゃんと出来てないですね……。

物干し竿、キャンピングカー、またたび その一

各地をキャンピングカーで旅するのが俺の趣味だ。
気ままな旅だ。

またたびの実もある。
食べれば、又、旅が続けられるから。
しゃれじゃないよ。ホントだよ？

ま、気の持ち様かも？

それにして、今回は変な連れがいて洗濯物が溜まるのが早い。
晴れてる今の内に、干さないとね。

「へりー！ 僕の刀をそんないと使つなー！」

「長くて丁度いいんだ、物干し竿に」

「物干し竿って言つた！」

「そう言えば、おまえ誰？」

「俺は佐々木小次郎だ！」

物干し竿、キャンピングカー、またたび その一（後書き）

文学少女風三題断作成からもらつたお題です。最初に作ったのが、どうも納得がいかなくて、もう一つ作ってみました。物干し竿、佐々木小次郎の刀が確か、そう呼ばれてたんだよねえ、と思ってそれを軸にしてみましたけど。うーん。まとまりが悪い感じです……。けど、またたびの語源、そんな説もあるらしいですよ。イヤホント。けど、やっぱり相変わらずまたたびがうまく絡みません……。

カーニバル、ラケット、菊

今年もカーニバルが始まる。

毎年恒例の優勝のほうびが俺のねらいだ。
それは好きな子に告白できる権利。

因みに今年のお題は卓球だ。

今年こそ、野菊の様に可憐な彼女に告白する！

興奮でラケットを持つ手が震えてる。

だが、奴が居る。 奴は強敵だ。
そして何故か昔から好みが同じだ。
まさか奴も？

負けてたまるか！

と、何とか気迫で優勝をもぎ取った。

けど忘れてた。

カーニバル、ラストの決まり文句を。

それはいつも「『めんなさい』だ。

カーニバル、ラケット、菊（後書き）

三題嘶お題作成からもったお題です。カーニバルも辛かったです
が、菊が使いどころが全く思いつかずに、先日と全く同じ使い方に
なつてしまいました……。うーん。

緑のカーテン、虫眼鏡、熱湯

緑のカーテンってエコだよね。

けど、カーテンは、やっぱ開け閉めしたい。

で、作った電動開閉式の緑のカーテン。

虫眼鏡で隅々まで見ても、どこにモーターが付いてるか判らない。
すばらしい出来だ。

けど、節電ブームで却下された。

で、次のプランだ。

自分で電気を作る。但し冷却用に大量の水が必要。

海水はダメ。すぐ熱湯になるから。

そう。原子力緑のカーテン。これで完璧。

ガガツ！何の音？

あれ？ガイガーカウンターに反応が……。

緑のカーテン、虫眼鏡、熱湯（後書き）

文学少女風三題斬作成からもらつたお題です。ちよ。ちょっと危ないです。緑のカーテン、原子力を使って何をするんでしょうねえ？お湯を沸かしてお茶を入れる？ うーん。我ながら危ないお話です。

コーヒー、ノストラダムス、クラリネット

うわ。なんだこりゃ。

で、僕のクラリネットはどうだ？

けど、すごい惨状だな。

一升瓶、ビール瓶、ワインボトル。あ、これは焼酎？

うわあ、これは幻の大吟醸じやないか。

これ、本当に前一人で？

酒くさいぞ？

コーヒーでも飲んで田を覚ませよ。

え？ 何だつて？ 予想できなかつた？

まあ、ノストラダムスだつて、外した予言はあるからな。

でも。 何が予想外？

え？

「クラリネットが予想外に高く売れたから、お酒飲み過ぎちゃつた」

口ros。

コーヒー、ノストラダムス、クラリネット（後書き）

三題廻りお題作成からもったお題です。クラリネット、困りました。
結局売り飛ばしました。そして、コーヒーを使つために深酒を……。
うーん。良いお酒は本当においしーですよ！

マクソン、セロハンテープ、緑茶

もう限界。これ以上は無理。
なんでマクソンなんかに挑戦したんだわ！」

ああ、咽がカラカラ。

と、突然、煙と共に白いひげのお爺さんが。

あちやー。また神様だ。
どうせ役に立たない。

「金のセロハンテープ、銀のガムテープ。そして、鉄の緑茶。
どれが欲しいかね？」

また訳のわからないことを。

けど、ここはやっぱり。
緑茶ちよーだい！

でも……。あれ？ ちよとも飲めない。ビニシして？

「言つたじやん。鉄だつて」

やつぱり役に立たない。

マランソン、セロハンテープ、緑茶（後書き）

文学少女風三題廻作成からもらったお題です。うーん。ちょっとグダグダですね。セロハンテープが何の意味もないですね……。それにして、現れた瞬間に諦められてる神様つていつたい何でしうね？どうしてか、今回はそんな神様になってしまいました。

公園、雪、笑う

雪はきれいだ。暖かい部屋から見てればね。だが、寒空に震える身には、ただ冷たいだけだ。

笑うつて、どんなことだつただうつ。

今、それがどういうことか思い出せない。

どうして？

いや、当たり前だ。俺が悪い。

どうして？

この公園にも、様々な記憶があるけど。
もう、取り戻せない。

後悔の涙と共に、思いが零れた。

「すまない……」

と、傘が差しかけられた。

「今度だけよ」

彼女の顔は苦笑い。

その顔に本当の笑顔を取り戻したい。

そう決意した。

公園、雪、笑う（後書き）

えー。何かクリスマスっぽいのを……。そう思つてお題を設定してみたのですけど、書いてみたら、湿っぽいお話になってしまいました。もひとつストレートに公園で雪だるまでも作つて笑い転げる、そんなお話でも良かつたのかもしませんが……。ま、まあ、こうして、改めて誓えれば、それはとても強くなれる、ってことで！

公園、雪、笑う その一

寒いなあ。布団から出たくないなあ。
けど、パパに起こされた。

「外を見てごらん?」

「あ。 雪!」

「雪だるまでも作るか?」

「うん!」

私は着替えると走り出した。
が遅い!
「早く!」
パパったら、笑うばかりで動くの

公園は一面の雪。

「うわあ! クれい!」

誰の足跡もない。

「一番!」

「じつち見てごらん?」

素直に振り向いた私がバカだった。
直後、私の顔面に雪球が直撃した。

ホント、パパって幼稚なんだから。

でも、私は笑顔だった。

公園、雪、笑う その一（後書き）

ところ訳で（？）、無邪気に雪で遊ぶ（じゃれあつてゐる？）パパと娘のお話（にはなつてない？）です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2622m/>

三題嘶ざんまい

2011年12月25日15時45分発行